

画報 風俗奇譚

第15集
8月号

縛悦女体縄歓男性写真とデブ読み物特集

目で見る風俗絵巻・内外古今の貴重文献満載



Miss 1880

画報風俗奇譚

第15集・8月号

目で見る風俗絵巻

昭和36年8月15日発行 昭和35年1月17日第3回郵便物認可
週刊17号（毎月1回15日発行） 昭和35年8月30日国鉄光局特別扱承認証883号

定価 180円

★表紙の絵は、クリノリン（ハチ腰）、
 コルセット、毛髪、ハイヒール、皮
 靴など、いくつものフェチズムを
 同時に含有した珍しい絵である。



女の胸を締めつけるコルセット
 ——クリノリンの魅力がある！

編集者手帳

暑い、とにかく暑い。7月
 8月といえば、一年じゅうで
 一番暑い季節なのだから、や
 むをえない。しかし、暑いか
 らといって、雑誌を作るうえ
 に、少しの気のゆるみも許さ
 れない。本誌が、その暑さを
 吹きとばす、一服の清涼剤の
 役目を果たさねばならないか
 らだ、戒心して読者の期待に
 こたえたい。

画報風俗奇譚 8月号

定価 180円

昭和36年8月5日印刷

昭和36年8月15日発行

発行人 高倉

印刷所 刊行会印刷部

発行所 文獻資料刊行会

東京都千代田区神保町1の35

振替東京 42494

電話 (291) 2430番



そこには 甘い陶酔があり 美しい交歓がある
 静かななかにも 激しく 音もない燃える炎がある

ふたり責め



背中合わせ

トゲの出ている板を間に 背中合わせに縛られた男と女 衣類も破れて トゲが肌を刺す〈田上恵子・え〉



裸にむかれた豊満な乳房にモグサが置かれて火がつけられる 小さなお灸でも
乳房は女の最も敏感な個所だから この劇痛は 耐えがたい〈古正英生・え〉

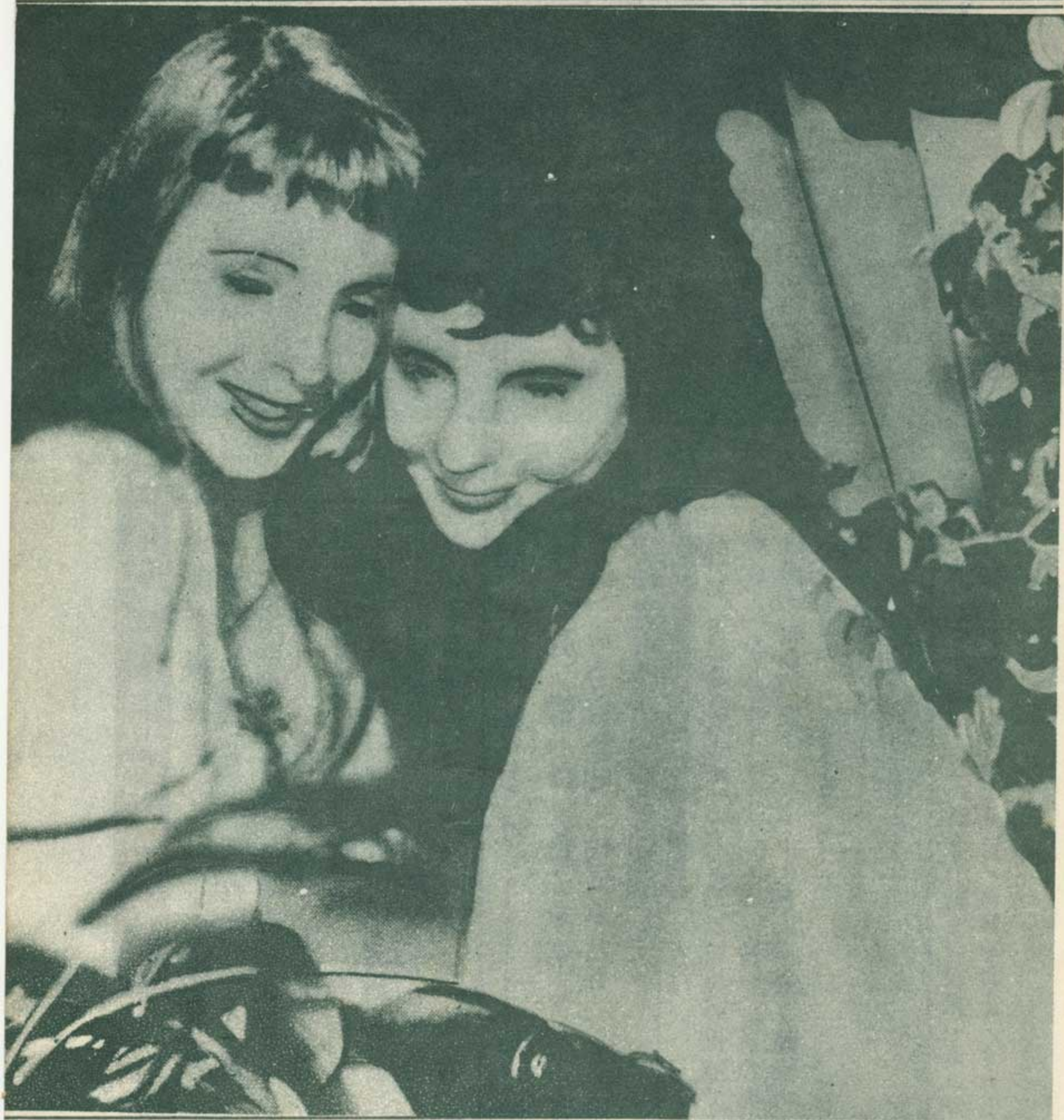


乳房に灸を

柱にふたり

六尺ふんどし一本の男と全裸の女が
柱にゆわかれて 加虐の時を待つて
いる ひっそりと (田上恵子・え)





レスボスの花ひらくとき 甘いムードの音楽
がわき起こり すすしのにおり満ちあふれる



グラビア 魅縛縄飲の姿態

- | | | |
|-------------|------------|-------|
| 岩場の縛姿(三) | セーラー服縛姿(元) | (モデル) |
| 慕情の姿態(四) | 木の股しほり(三) | 西牧えり子 |
| ある受縛のポーズ(五) | 無防備な状態(三) | 村上ユキ |
| クサリでつなぐ(六) | あばら家の前で(四) | 望月まり子 |
| セロファン包み(三) | 縛飲の姿態(五) | 島崎ユカ |
| ネグリジェ一枚(三) | 女の切腹絵巻(天) | なぎさ純子 |
| さか立ち足吊り(三) | 岩陰で縛られて(四) | 貴島さよ |
| 喜びと苦痛と(三) | カゴの鳥(三) | 真咲みどり |

SMふたりプレイ.....エクスプロ提供(六)

- (色刷り) 乳房に灸を.....古正英正(四)
- (口絵) 背中合わせ・柱にふたり.....田上恵子(三)

グラビア 男妖の園

- たたずまい.....(三) 暗黒の世界で.....(六)
- 野原にひとり.....(三) 首つなぎの男ふたり.....(六)
- 受縛のなかの渾.....(四) クサリ胴締め.....(六)
- 男ふたり.....(五) (モデル)
- 渾一本のポーズ.....(天) 霧島茂樹
- ボクは犬だ.....(三) 南郷次郎

男の楽園.....夜の物音・新しい奴隷・高いカケ・ローマ風の個人風呂・水泳を禁止・オリンピックの訓練.....(七)

女装紳士録④.....(八)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 柱背中抱き.....田上恵子(三) | 態の陶酔.....田上恵子(四) |
| 受縛の陶酔.....田上恵子(四) | 姿の陶酔.....田上恵子(四) |
| 溪流さかさ吊り.....江馬美久(五) | 責めの姿態.....江馬美久(五) |
| 女にふんどしを.....江馬美久(五) | 肌を焼く火.....小田利美(六) |
| 肌を焼く火.....小田利美(六) | もだえるバイク.....小田利美(六) |
| もだえるバイク.....小田利美(六) | 放心のポーズ.....田上恵子(五) |

尻打ち3態(写真と絵).....(九)

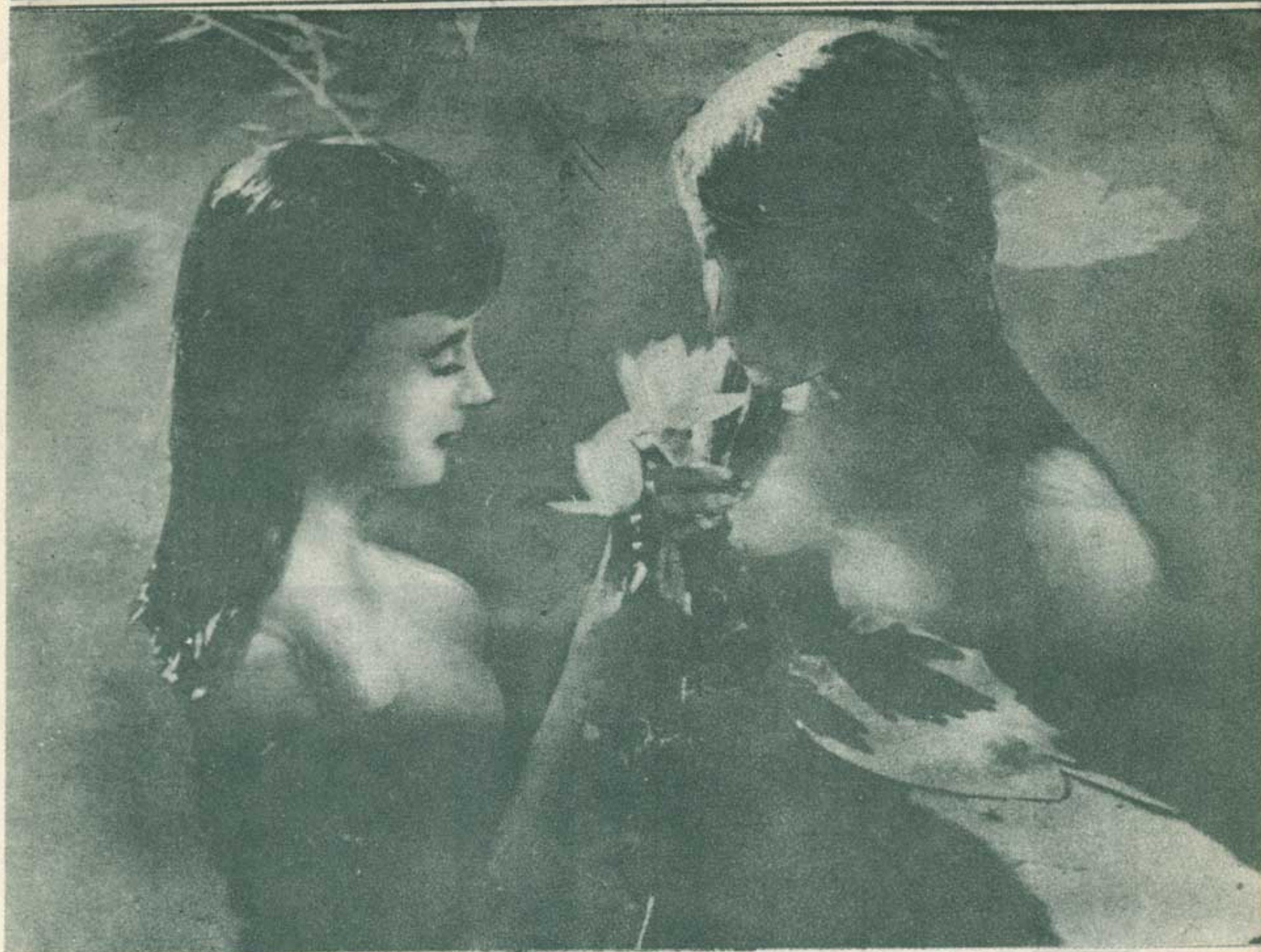
千春という女.....番場多計夫(三)

- 人水族.....栗橋慎吾(七)
- 木偶と木偶使いと.....古正英生(七)
- 三日月街道.....雨妙院一太(二)
- 赤木恵子・え(九)
- 田上恵子・え(九)

諸国責めばなし.....男責めの巻最終回.....小田利美・え(三)

- ☆読者の広場.....(二)
- ☆編集手帳.....(二)
- ☆代理部ご案内.....(三)

グウェンドリンの降伏.....(九) ション・ウィリー 谷貫太・抄訳



レスポスよ

甘いかおり満てる花よ

心しびらす豊饒の酒よ

けがれなき乙女子ふたり

手をとりて 肌をいだきて

ひたすらに すべてを忘れ

そこに 愛の姿を見いだす

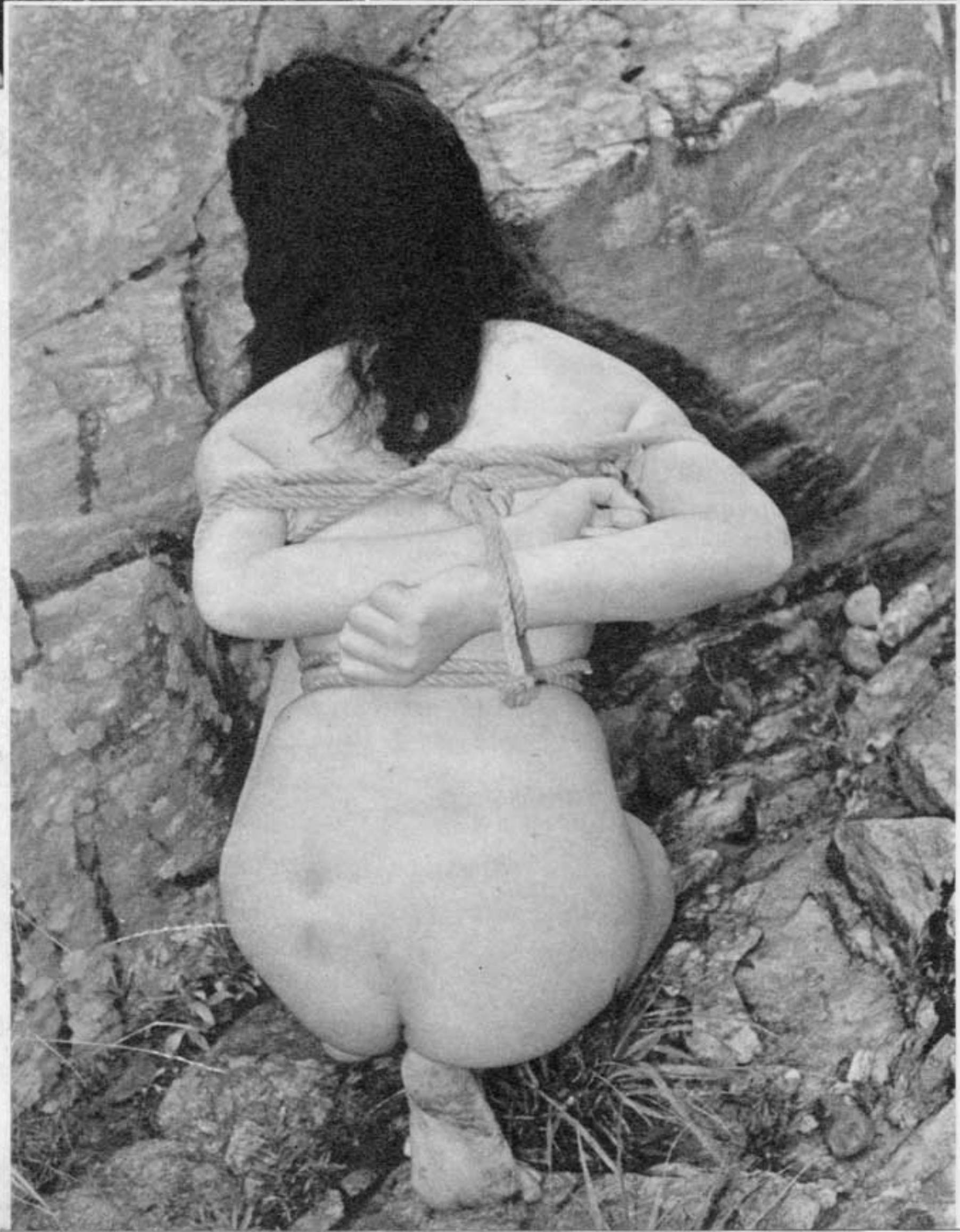
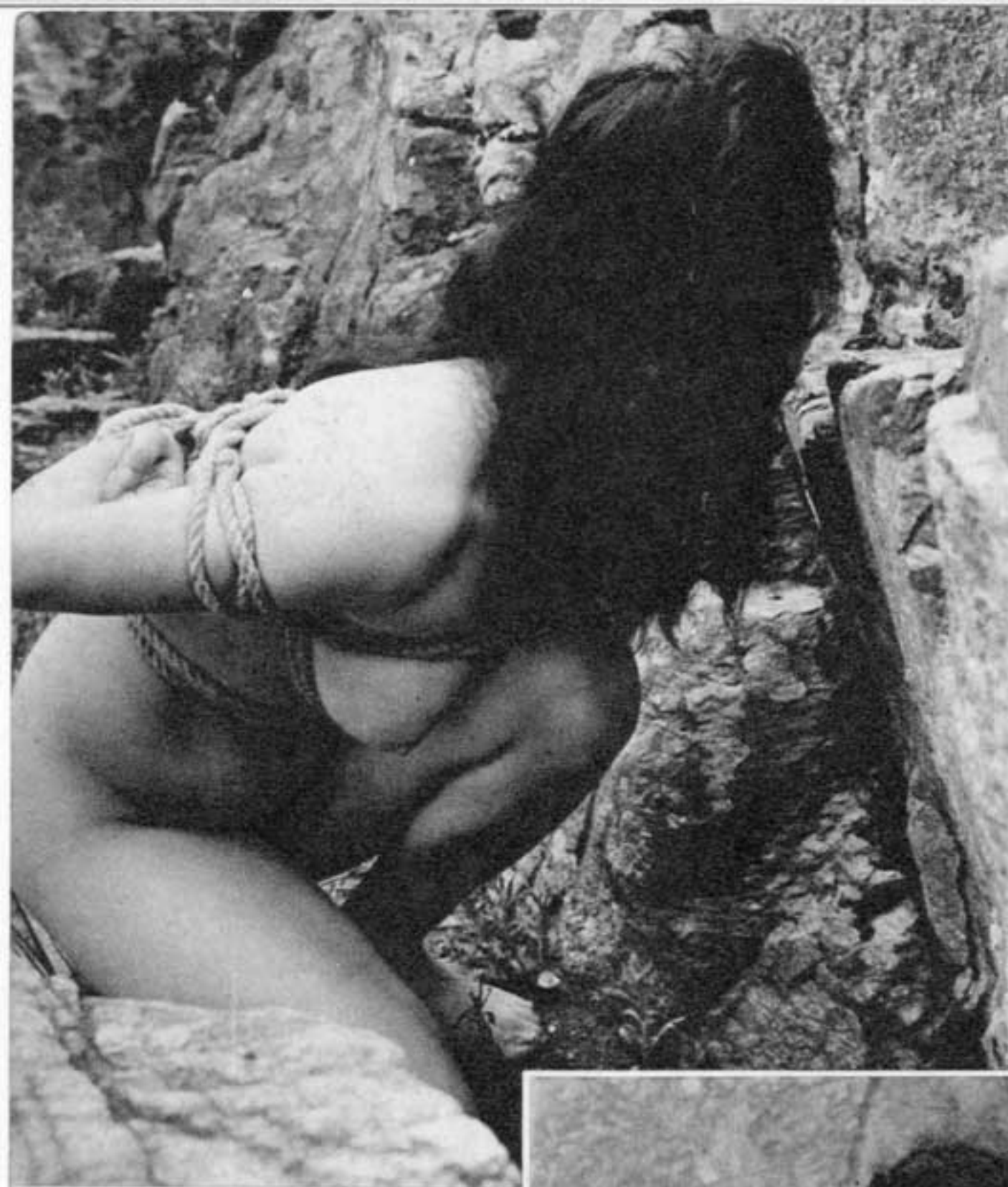
レスポスよ

魅縛縄飲
の姿態



縄をかけられた女の肌は美しい 縄
を受けた女は陶酔の境に遊ぶ 縄は
不思議な魔物だ 縄と女の組み合わせは
妖美なふんい気をかもしたす





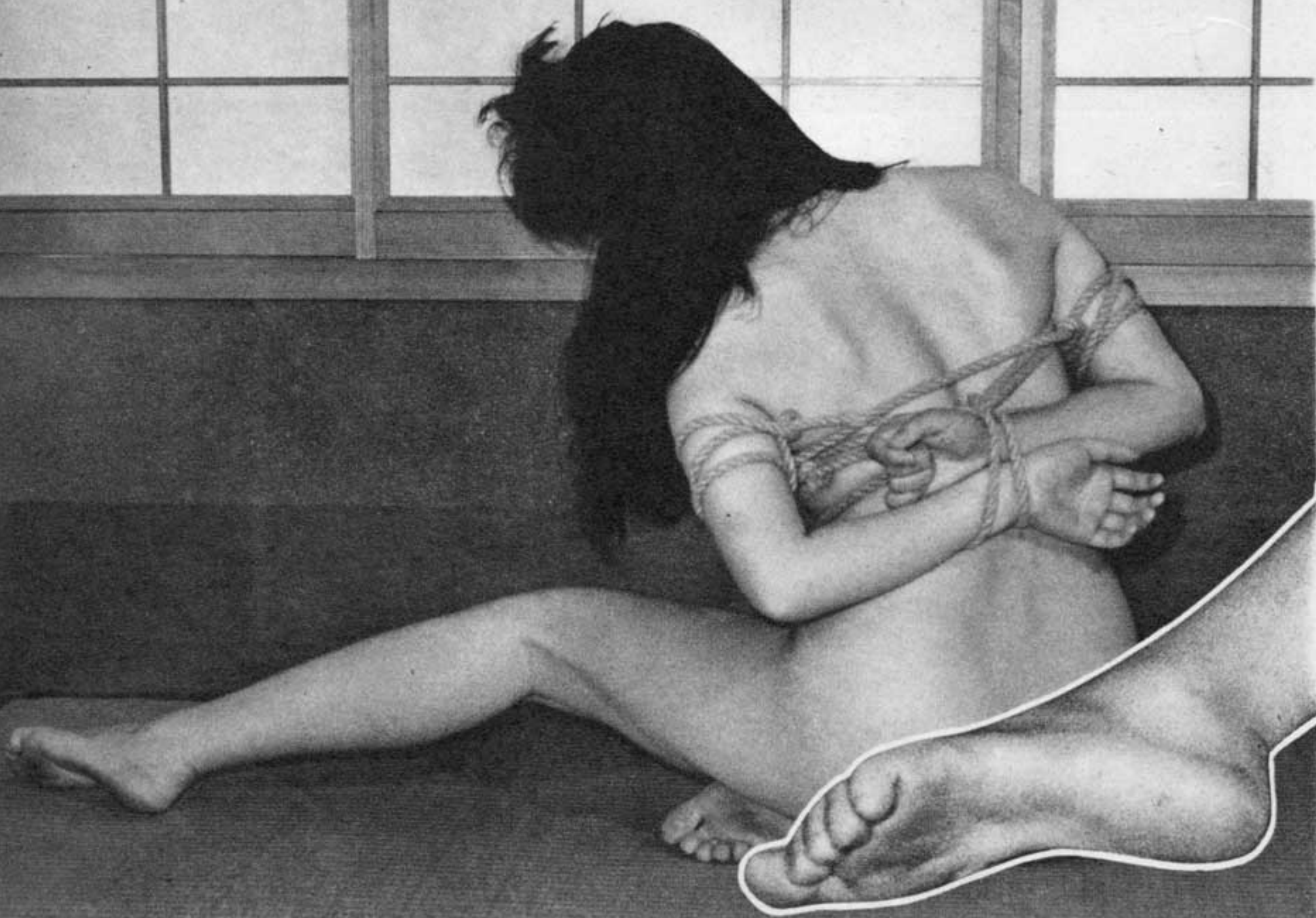
岩場の縛姿

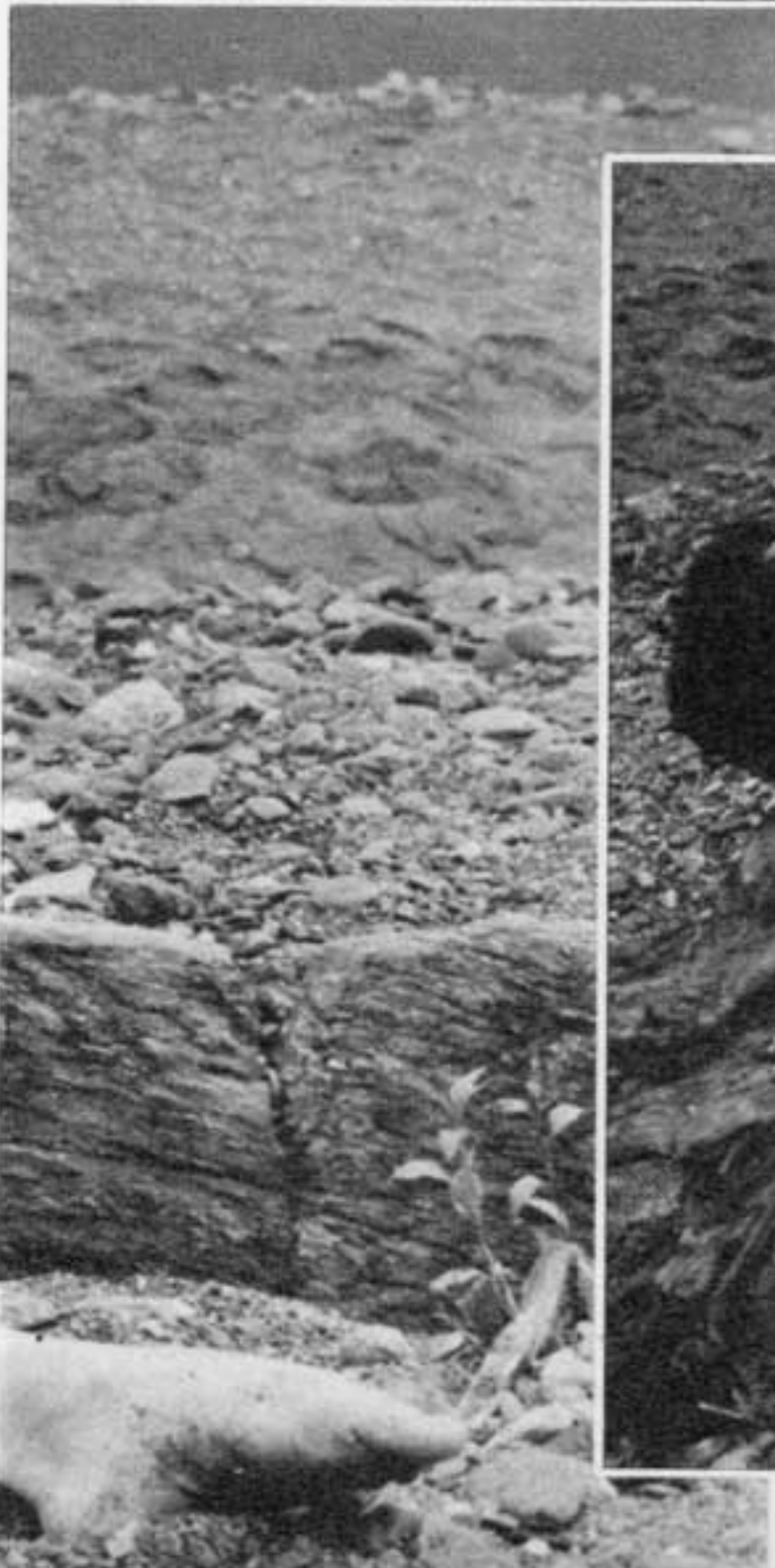
風雨にさらされて生き残った岩かげには、しんとした寂しさがある。縛られた女がそこに置かれると、寂しさが肌に照りにじんで、女のいのちが、ひえびえとしてはかなく燃える。ヘモデル・西牧えり子。



慕情の姿態

豊かな髪が乱れ 縛られた身をもたえる女
足の動きに 肩をよじるポーズに そしてど
こという照点のないまなざしに 哀歎がにじ
み 慕情の思いがわくへモデル・村上ユキ





ある受縛のポーズ

長々と寝た頭上には たそがれの空がびっしりつまって憂愁を降りまいている うしろ手しばりの肌の下には 小石まじりの砂浜が哀感をかみしめている この受縛のひととき 女はいったい何を待ち望んでいるのかへモデル・望月まり子



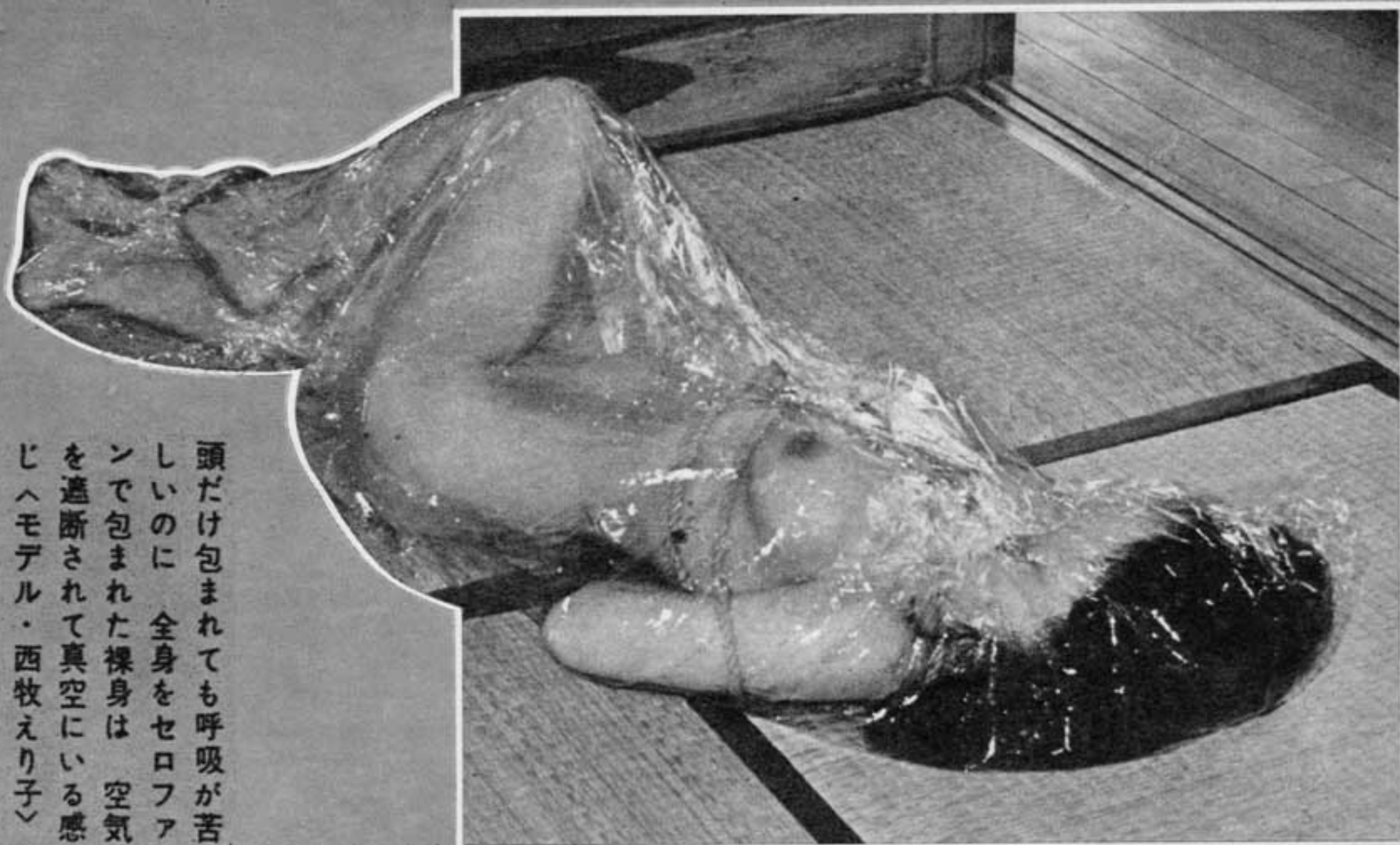


クサリでつなぐ

クサリが裸身をかみ 足を柱につなぐ
ほんの少しの身動きにも 肌はよじれて
苦痛が全身を走る 〈モデル・島崎ユカ〉

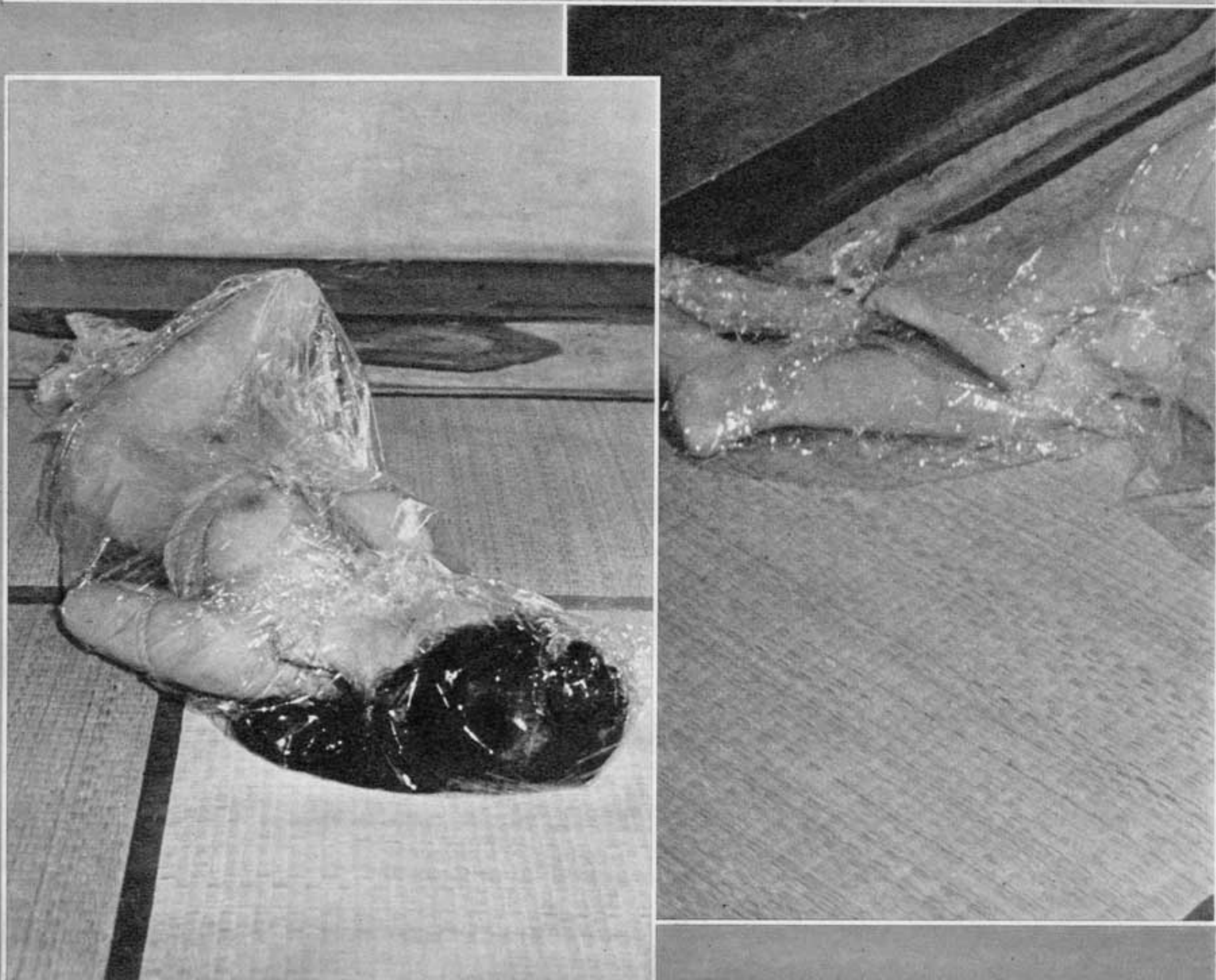
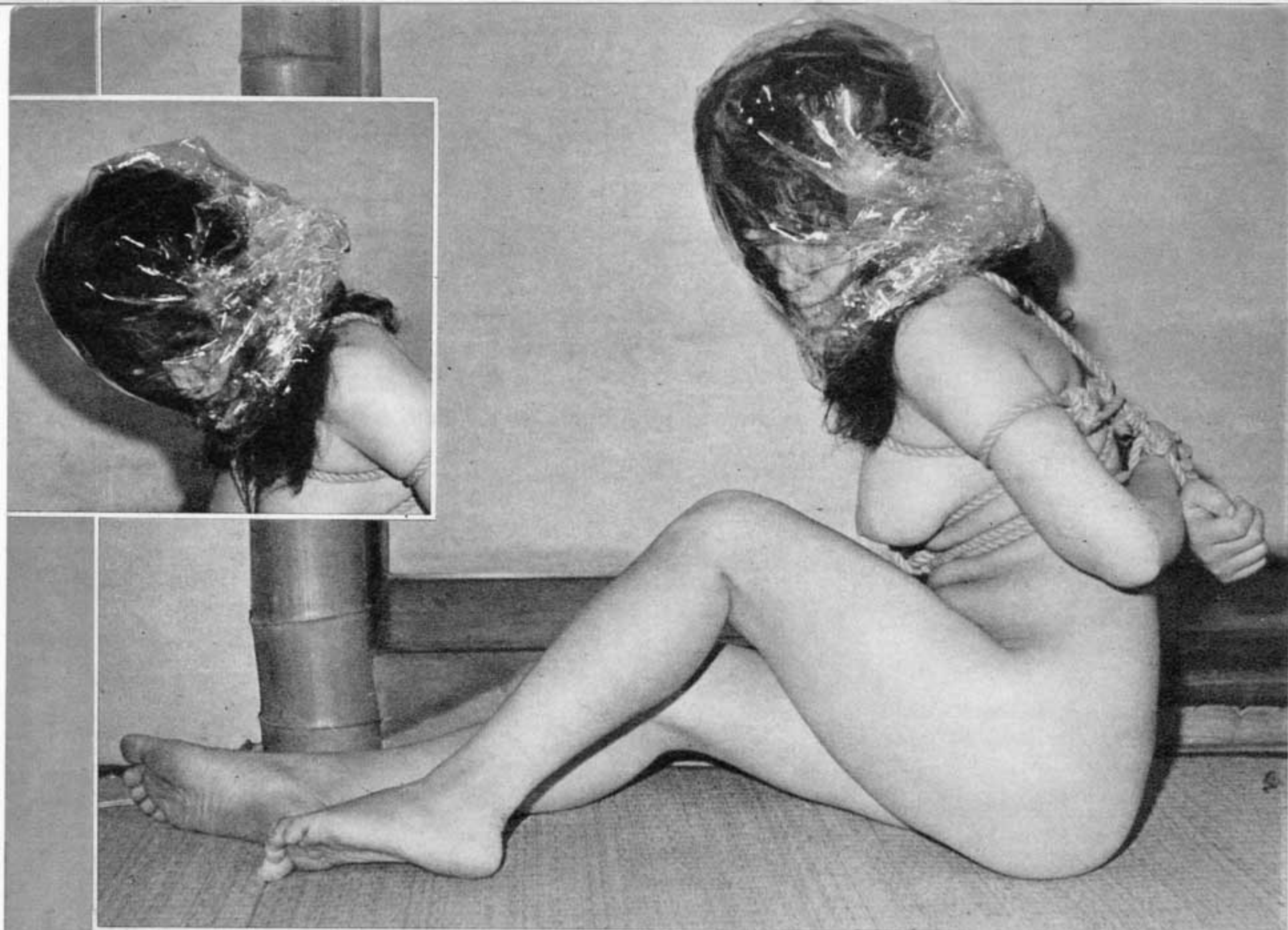


頭だけ包まれても呼吸が苦
しいのに 全身をセロファ
ンで包まれた裸身は 空
気を遮断されて真空にいる感
じへモデル・西牧えり子



セロファンつつみ





ネグリジェ一枚で

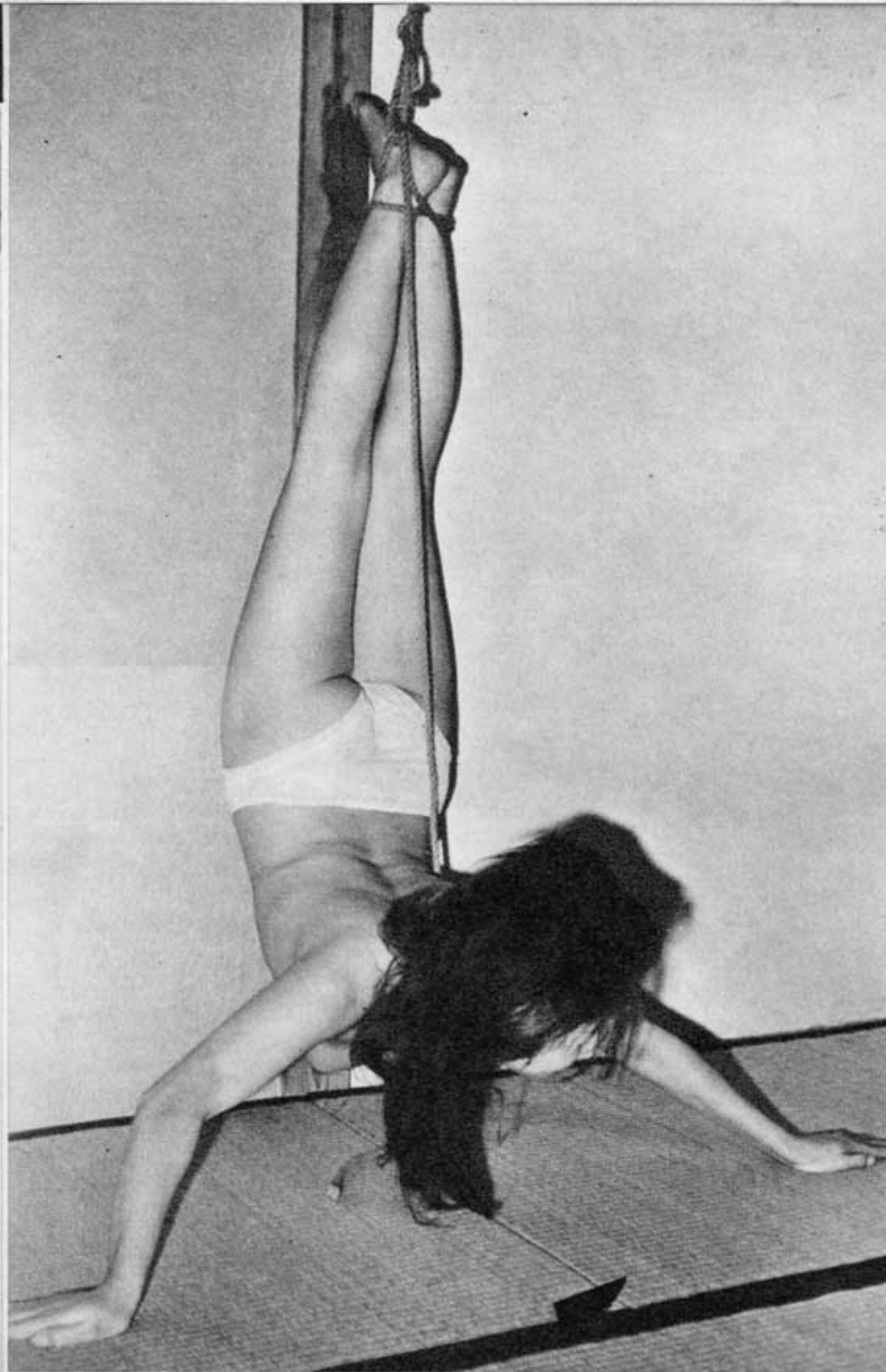
縁側の柱にくくりつけられ 首に縄を巻かれる
苦痛 寝ているところを襲われたあたしは ネ
グリジェ一枚の身を 無防備にさらし さまざ
まに痛ぶられる 庭の青葉が あたしの運命を
青く溶いて流している 〈モデル・望月まり子〉

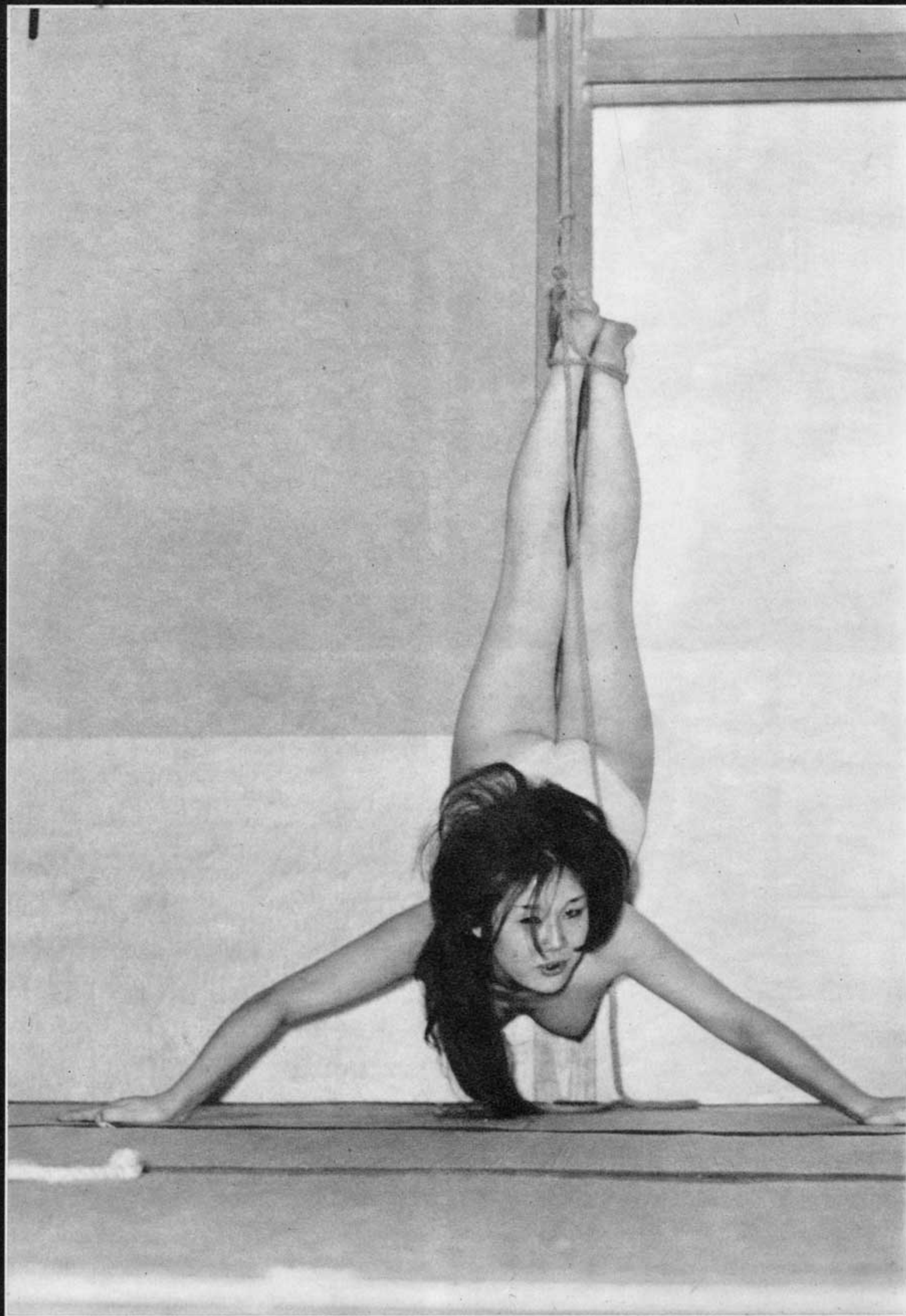




さか立ち足吊り

両足首を思いきり吊られてさか立ちの姿勢 両手でささええる体重は すぐに途方もなく重量を増し 腕はしびれ 血が頭にさがってくるへモデル・なぎさ純子へ







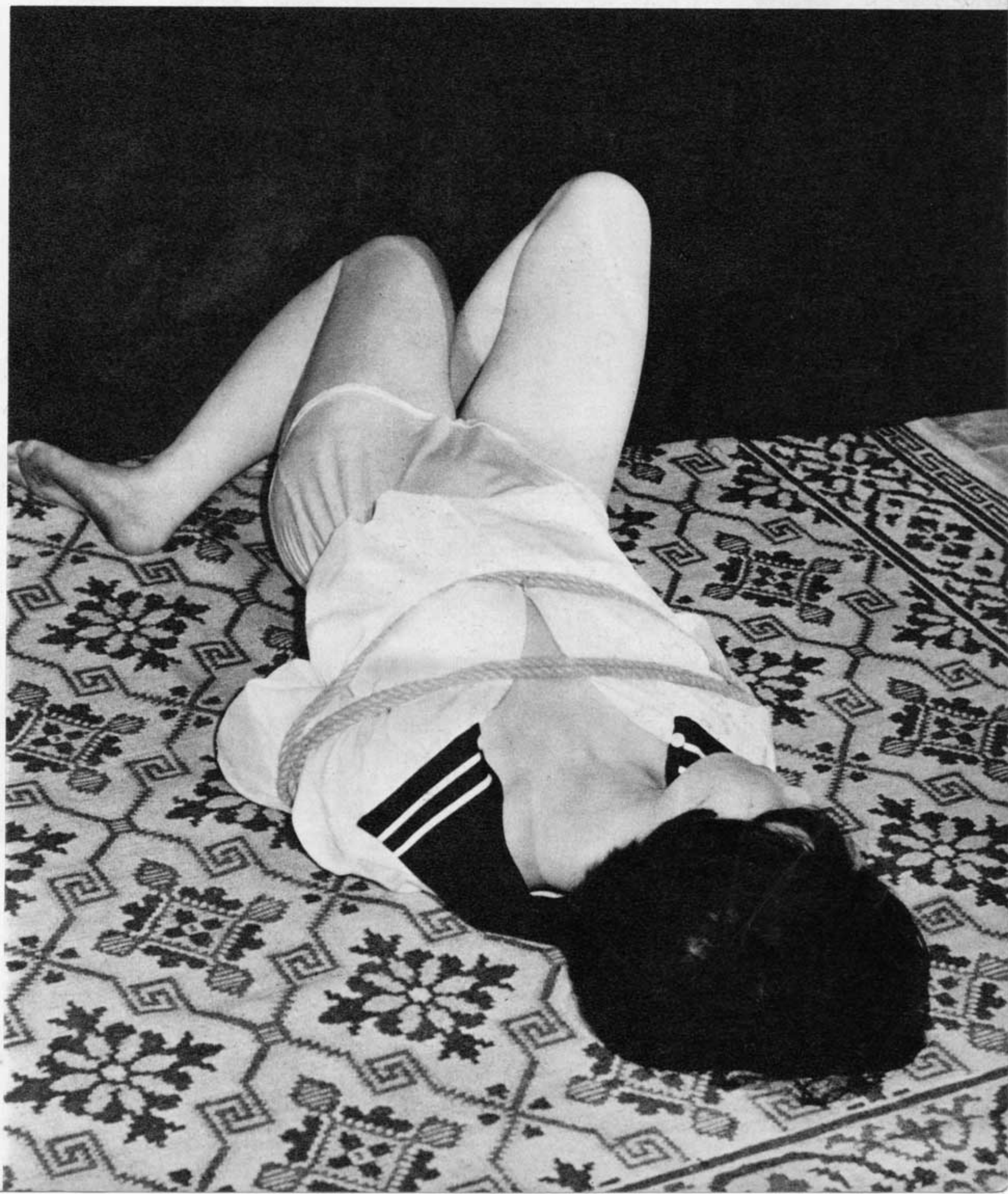
喜びと苦痛と

縄は 女体に 喜びを与え 苦痛を加える この二つの異なった感覚を同時にわきたたせ 交互にないあわせ そして最後に一つに溶かすへモデル・島崎ユカ



セーラー服の縛姿

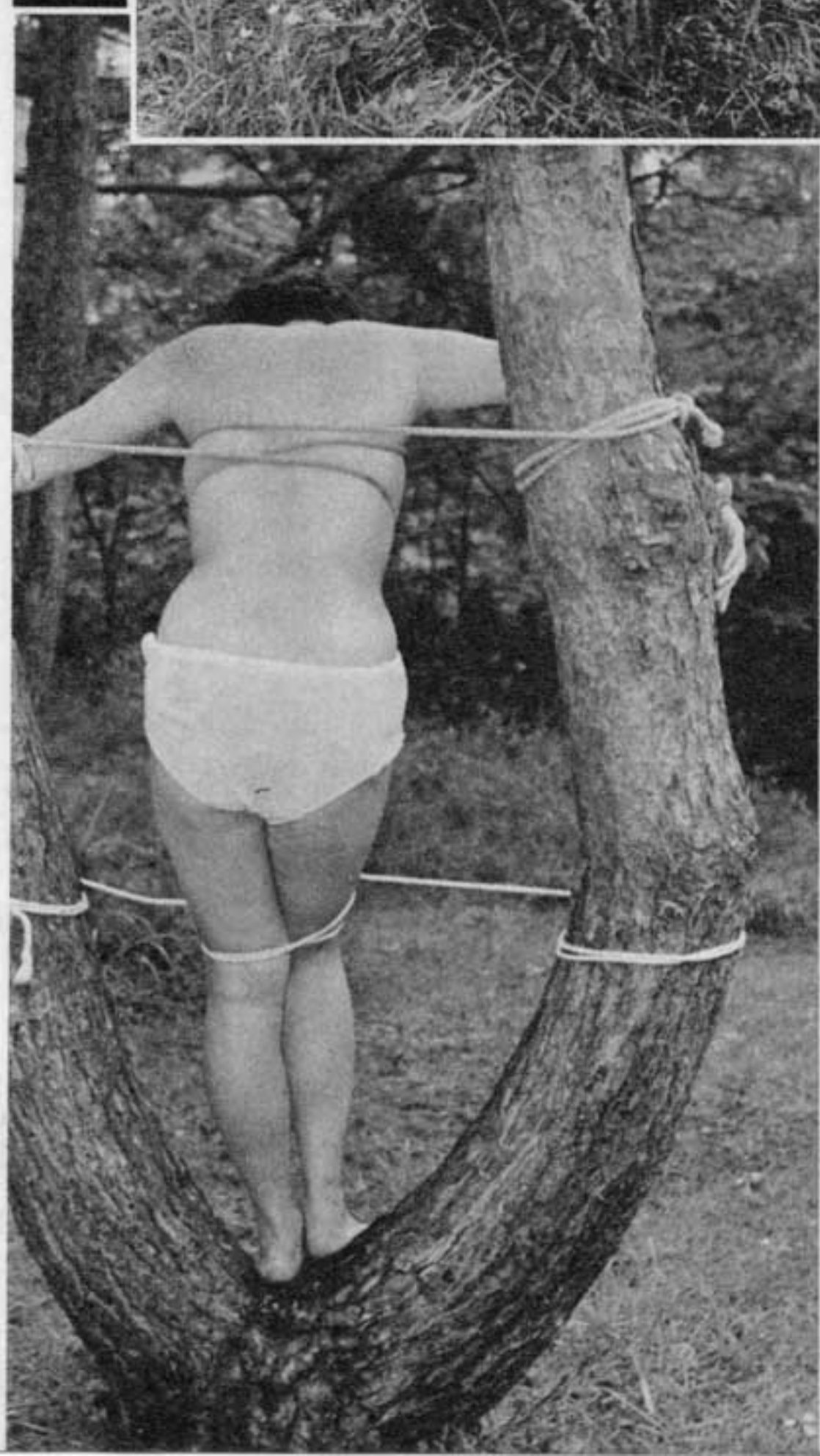
セーラー服のえりもとから 豊かな乳ぶさがこぼれ むきだしの下半身の
肉づきよく発育した足が なまめかしい じゅうたんの上どころがされたり
すわらされたり・嗜虐のまなざしを浴びながら〈モデル・貴島さよ〉



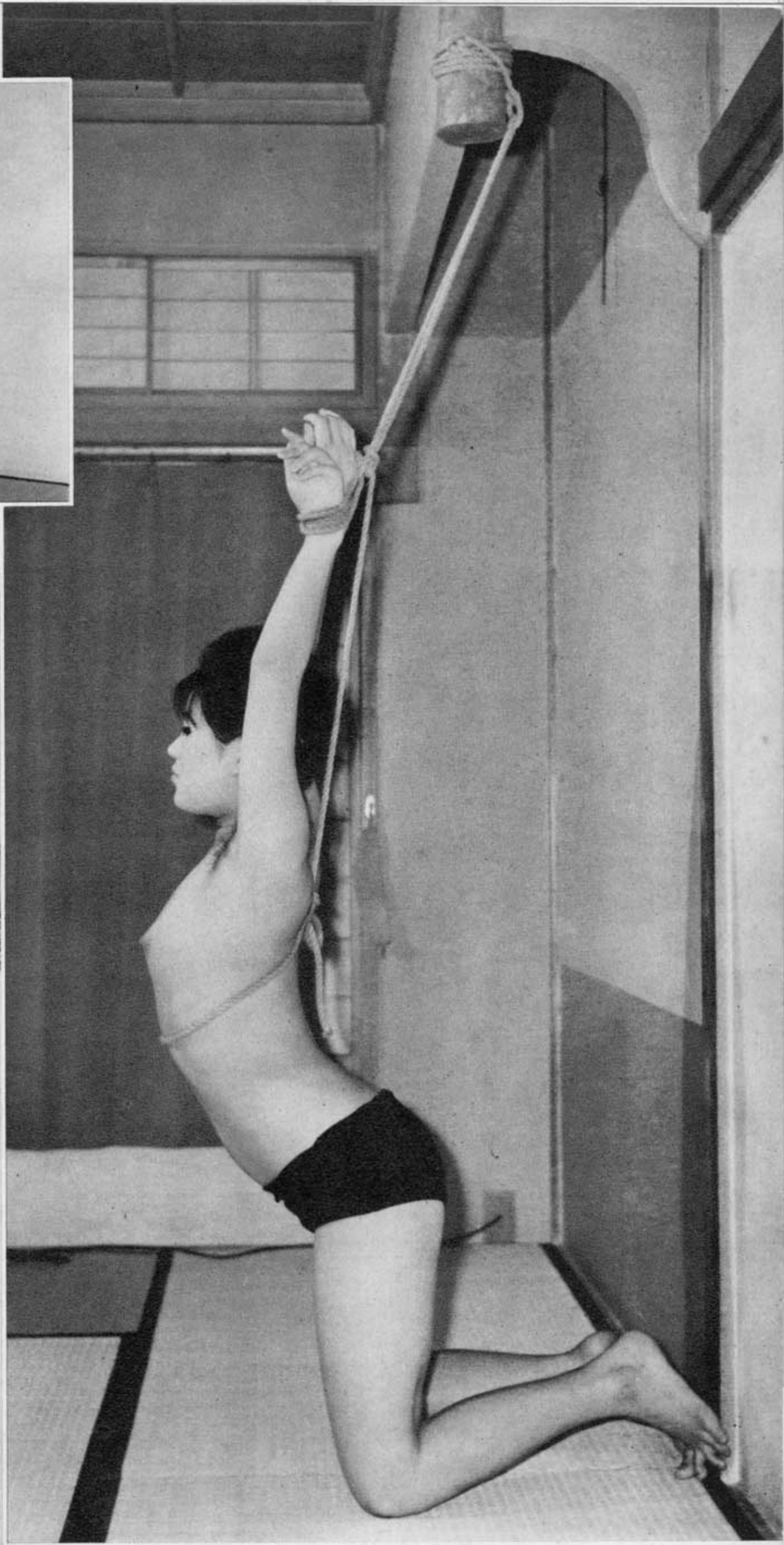
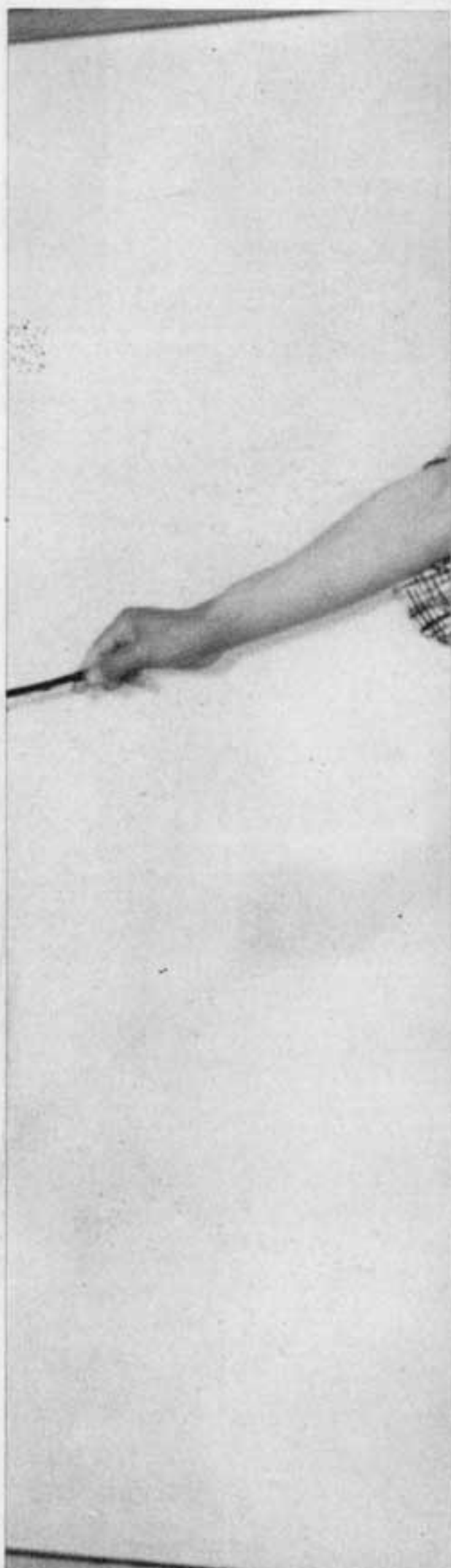
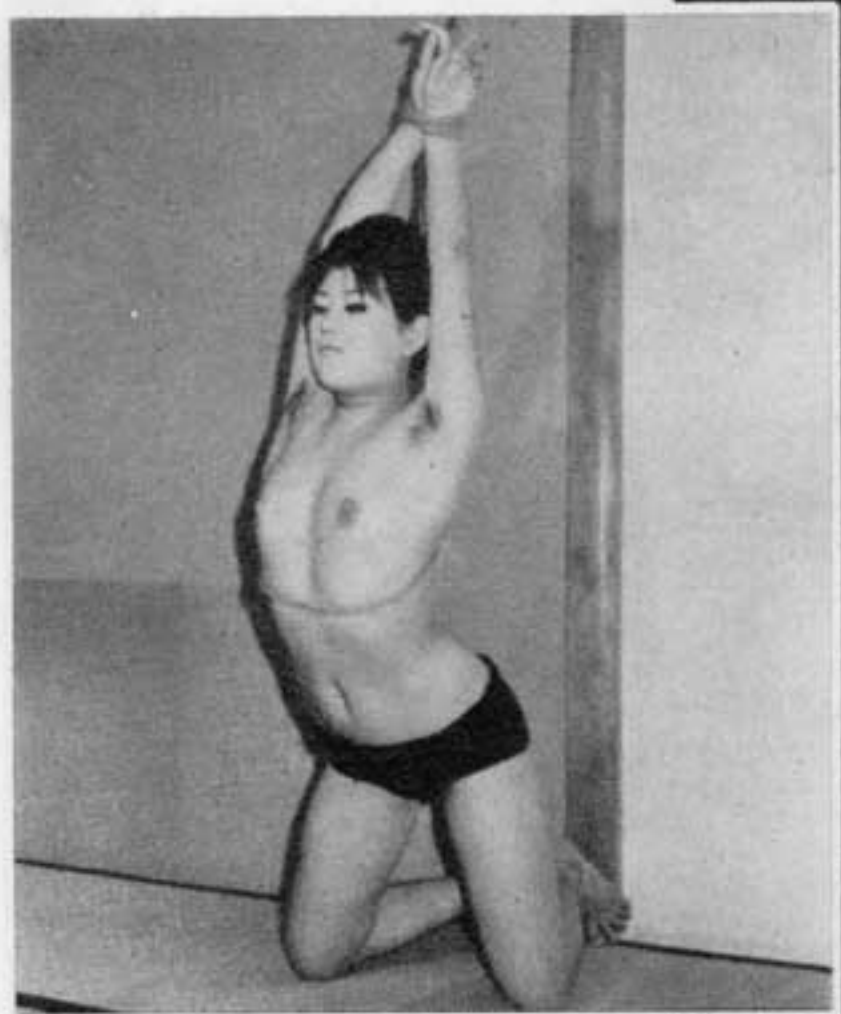


木の股しばり

ワナにかかったケモノのように、木の股またに両手を広げて縛られて、足も固定されて、女は仕置きを待つ。いわば一種のハリツケであり、さらしものである。時間がたてば、疲れて苦痛が積み重なるし、人目にふれて恥ずかしさが身内を駆けめぐる。へモデル・望月まり子

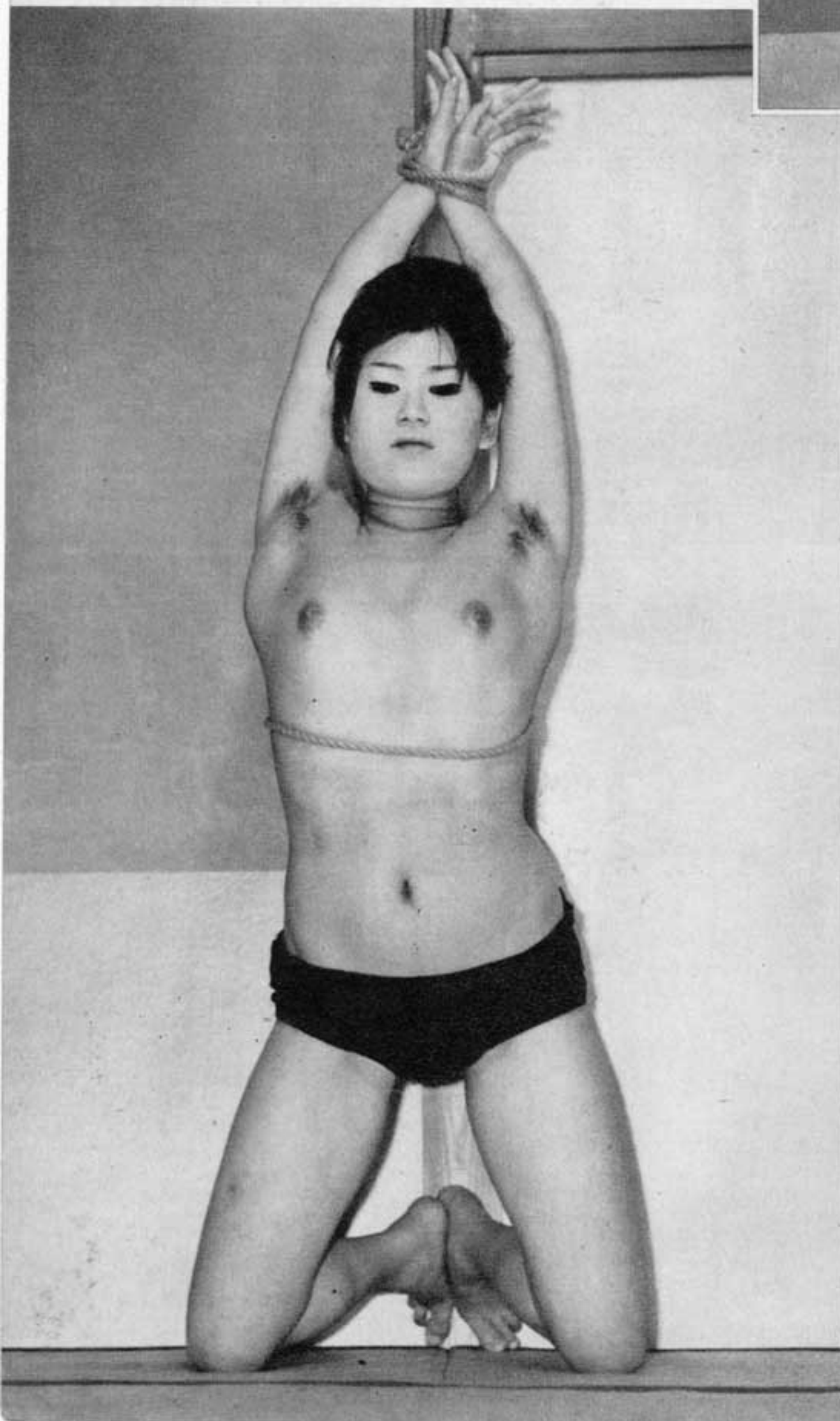
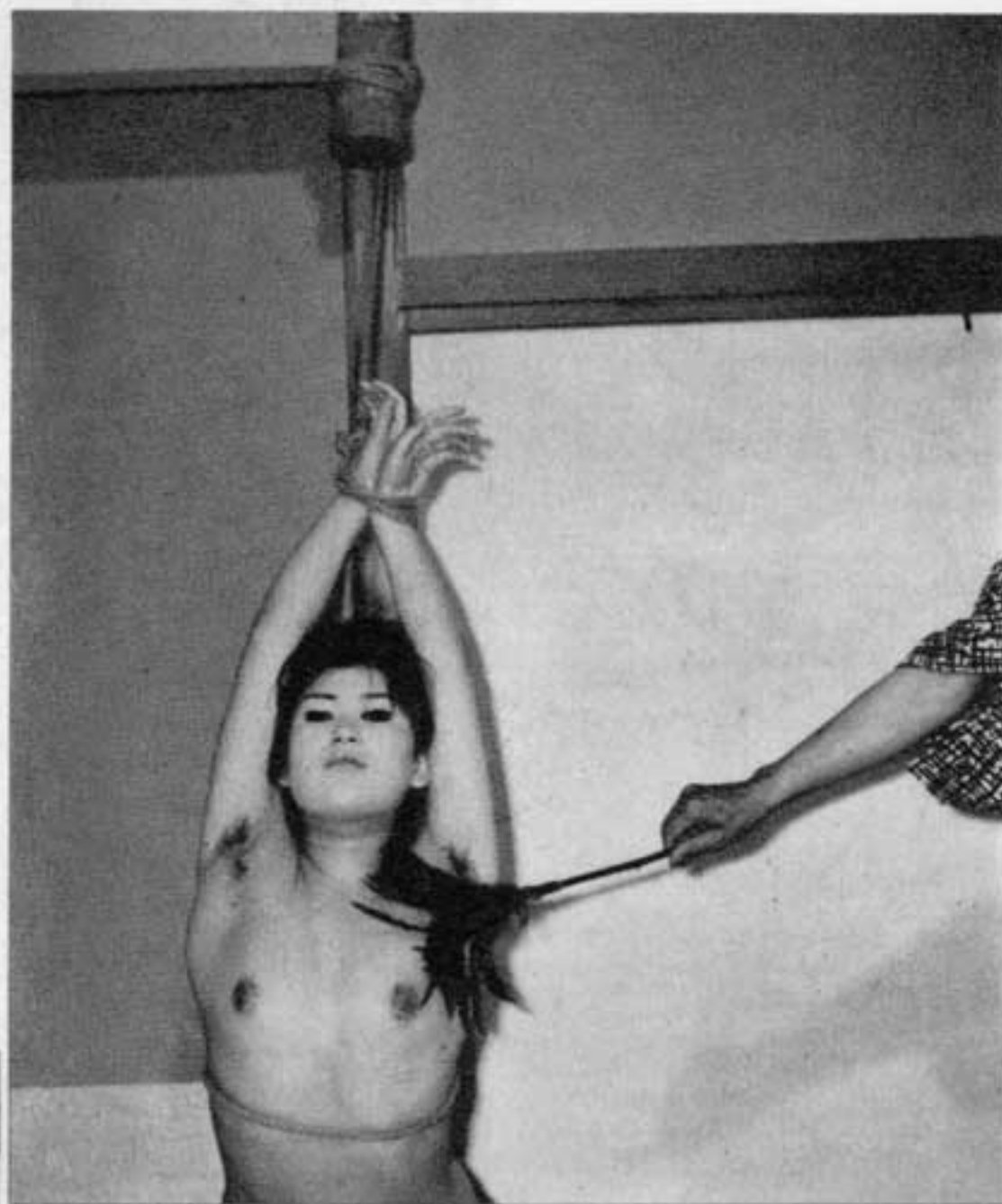




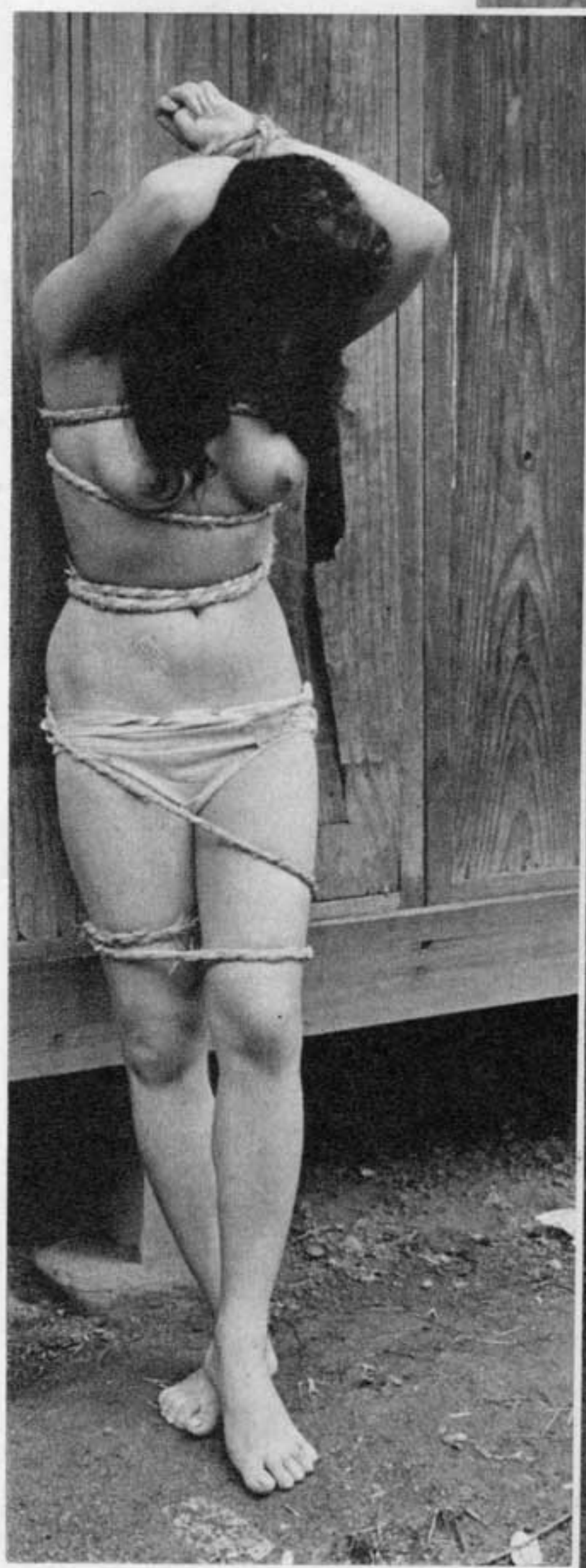


無防備な状態

両手を合わせて上へ吊りあげられた単純な姿勢だが からだじゅう どこもかしこもむき出しにされた これは 処刑の姿勢だ わきの下を羽根バタキでくすぐられても わずかに身をよじることしかできないし もっと恥ずかしい責めだって避けられない〈モデル・真咲みどり〉



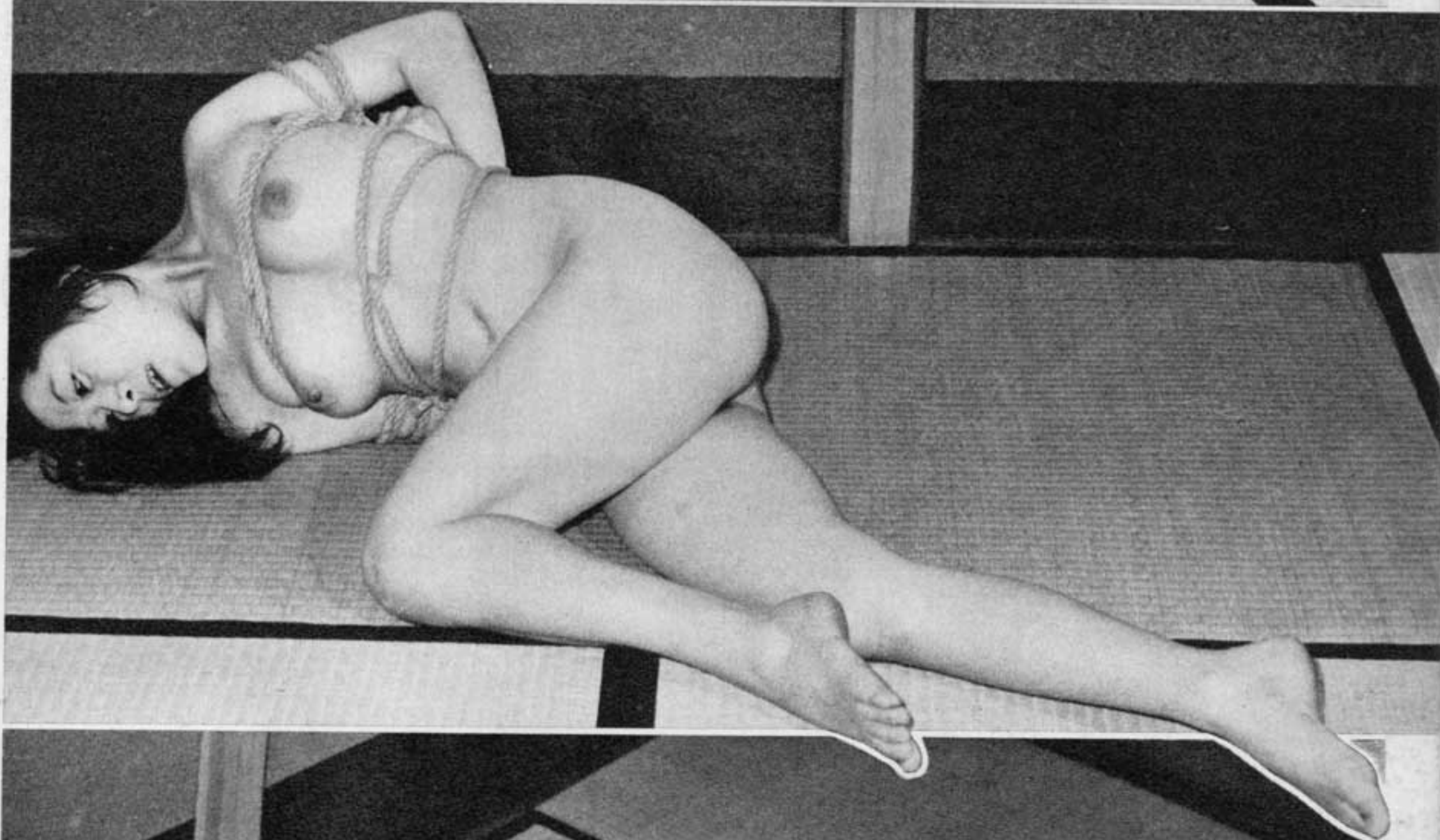
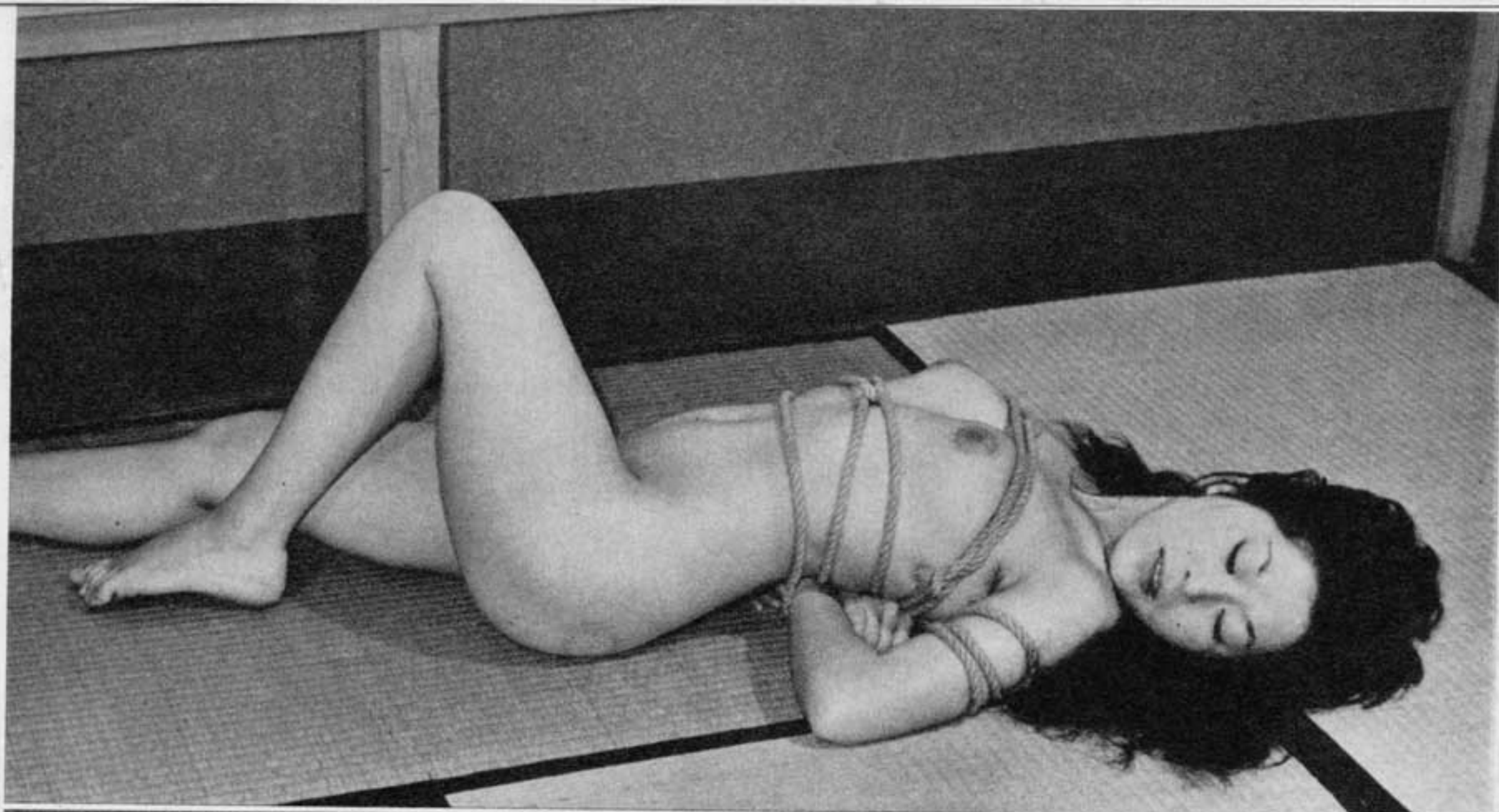
あばら家の
前で





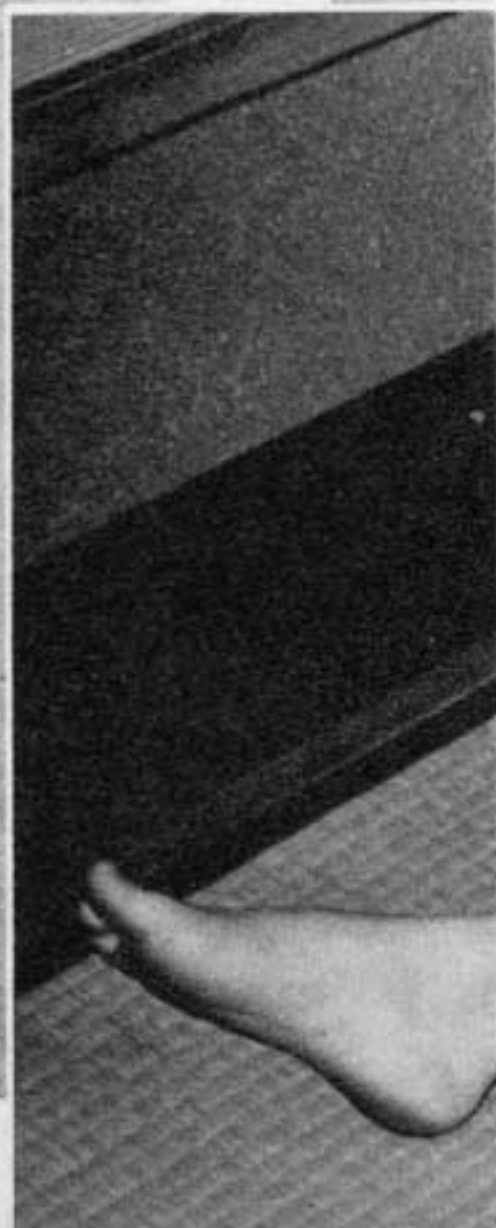
この世から置き忘れられたような一軒のあばら家 雨戸はしめきつてあるが
ところどころこわれて穴があいている その前にひっそりと立たされた縛ら
れた女は この陰惨で寂寥の世界に置き忘れられた人形だ 血の脈うちを忘
失したように 静かに ひっそりと 嗜虐にひたるヘモデル・西牧えり子

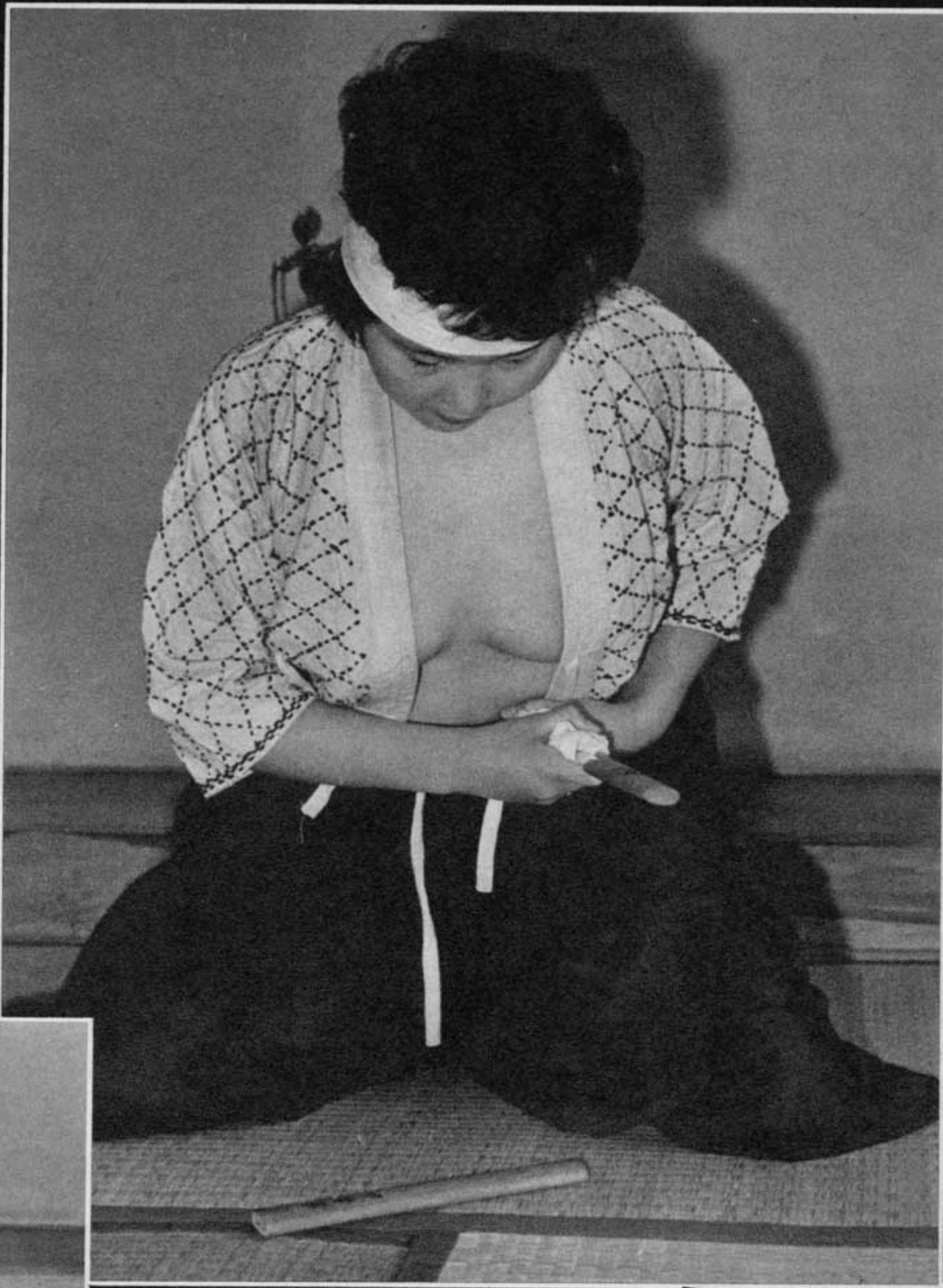
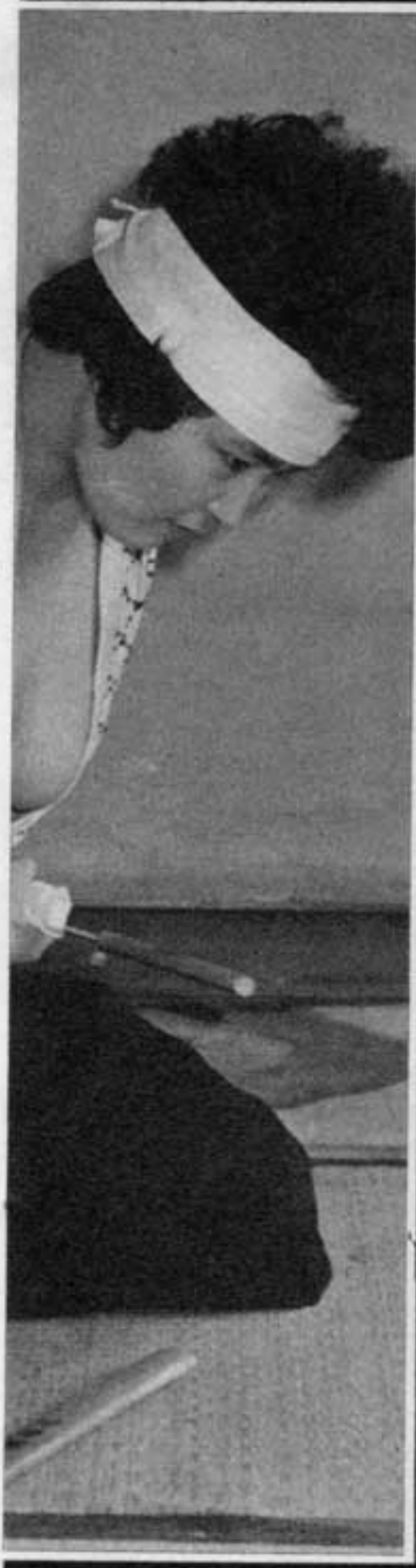




縛歡の姿態

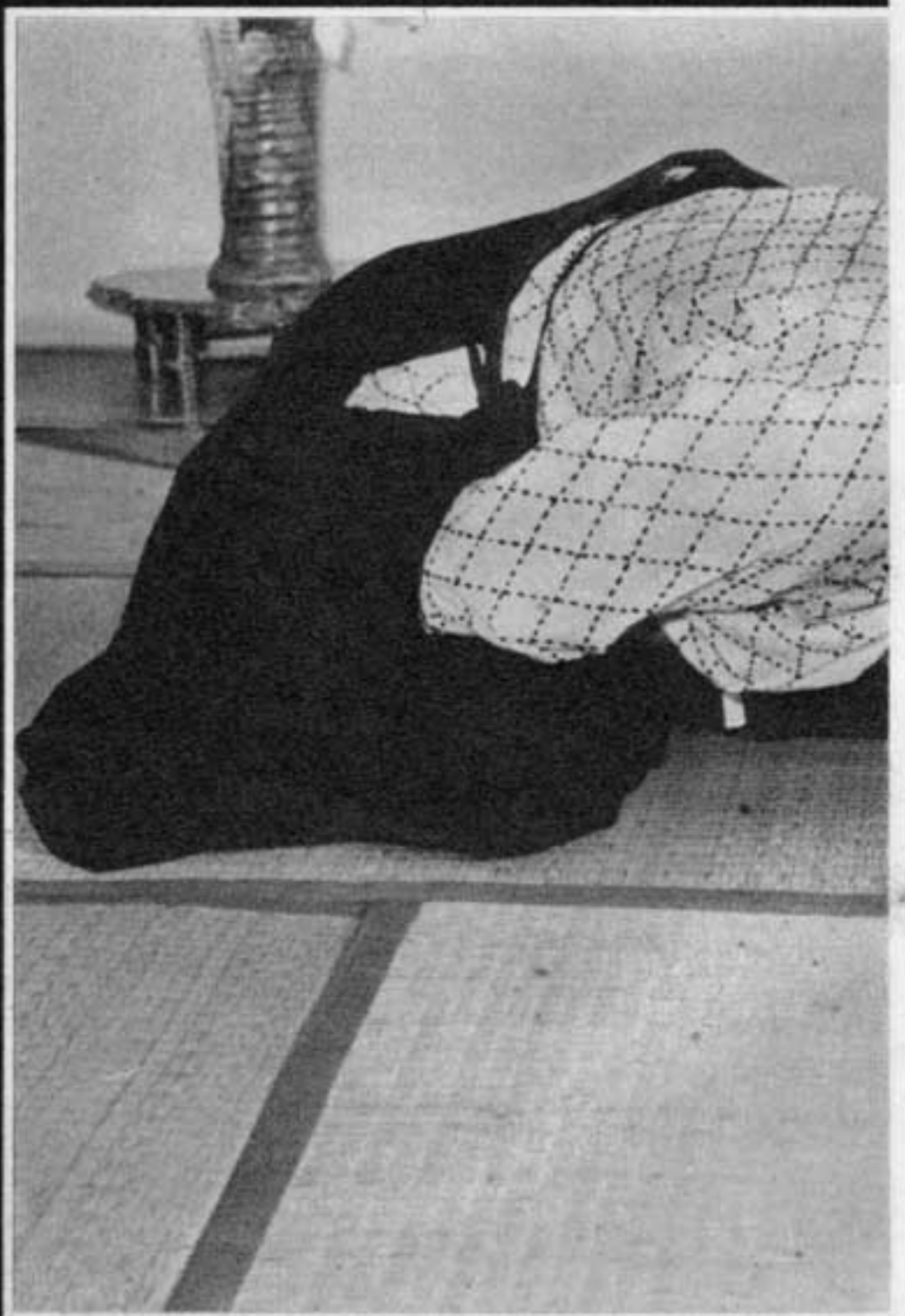
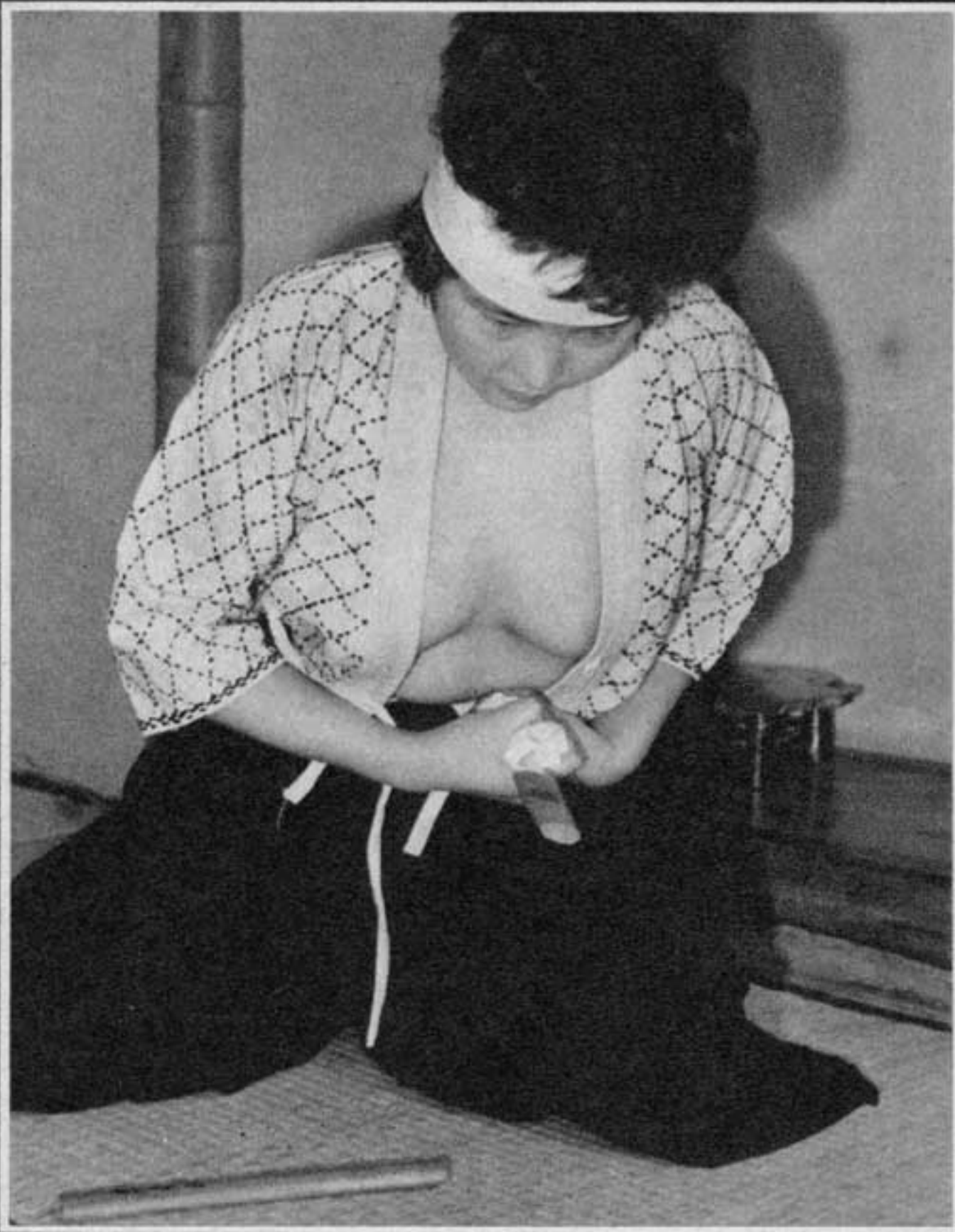
女は 縛られて喜びを感じる生き物だ
あお向けになり うつ伏せになりして
からだ全体で 喜びをあらわし 陶酔
に酔いしれる / ヘモデル・村上ユキ





女の切腹絵巻

花のいけてある床の間を背に 白はち巻きのけいこ
 着姿 ひろげた胸もとから乳ぶさかのぞき 肌が青
 白く光っている 白い肌に短刀が突きささるとき
 鮮血がしぶき 白いけいこ着をくれないに染めてい
 く幻想 そこには 悲壮の気がみなぎり 哀愁の思
 いがあふれ ああ 女の生きてきた長い歴史が影を
 ひいて ゆらめいている ほのぼのと 立ちこめて
 いる 日本の女の宿業か？ 〈モデル・望月まり子〉

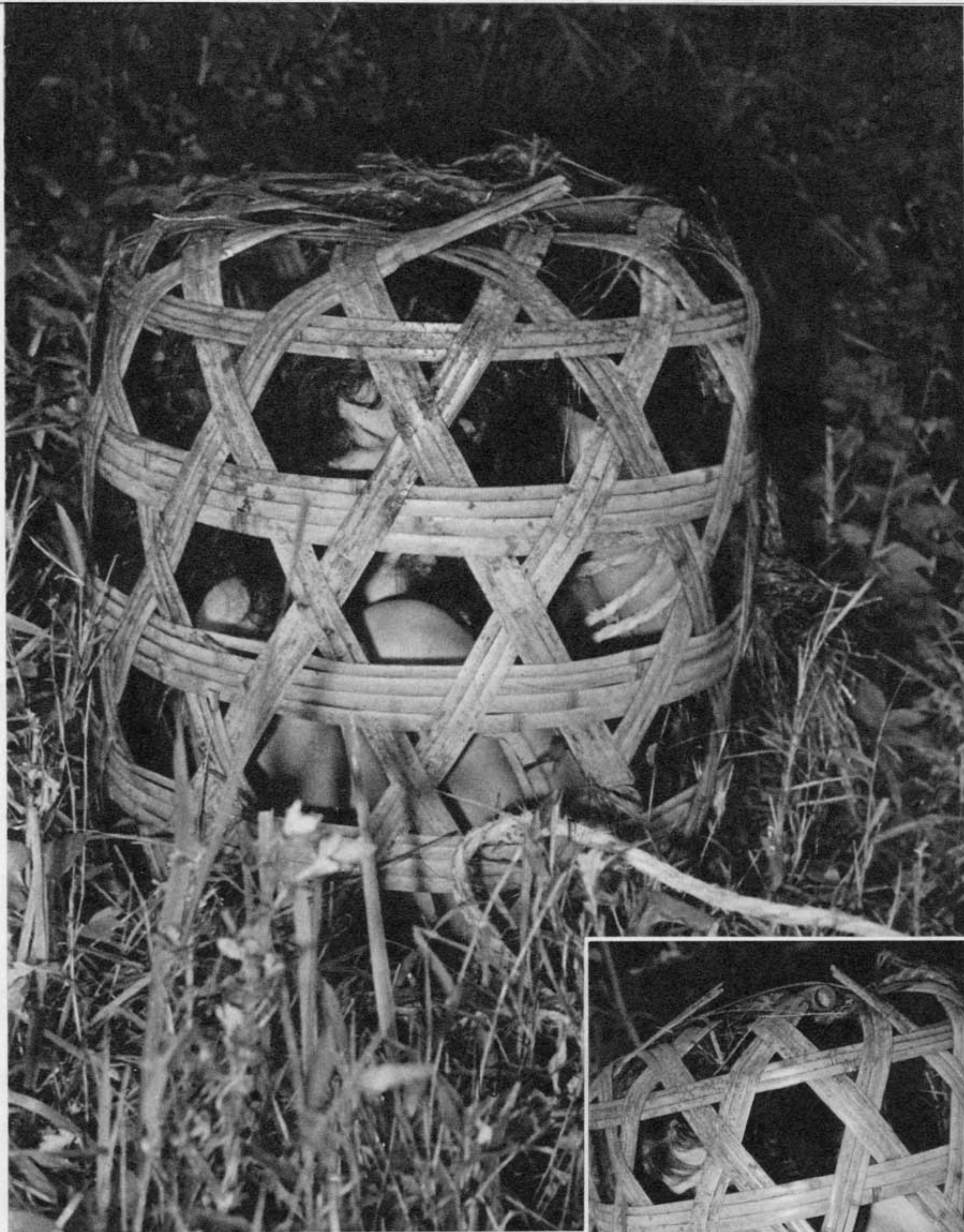


岩かげで縛られて

大きな石がごろごろしている間の狭いくぼみ うしろ手に縛られた
女がひとり 逃げようにもすべなく 助けを待つより方法はない
へたに動けば石にすべるし まちがえば石がくずれて下敷きになる
置き忘れられたかたちで 女はじっといるへモデル・なぎさ純子

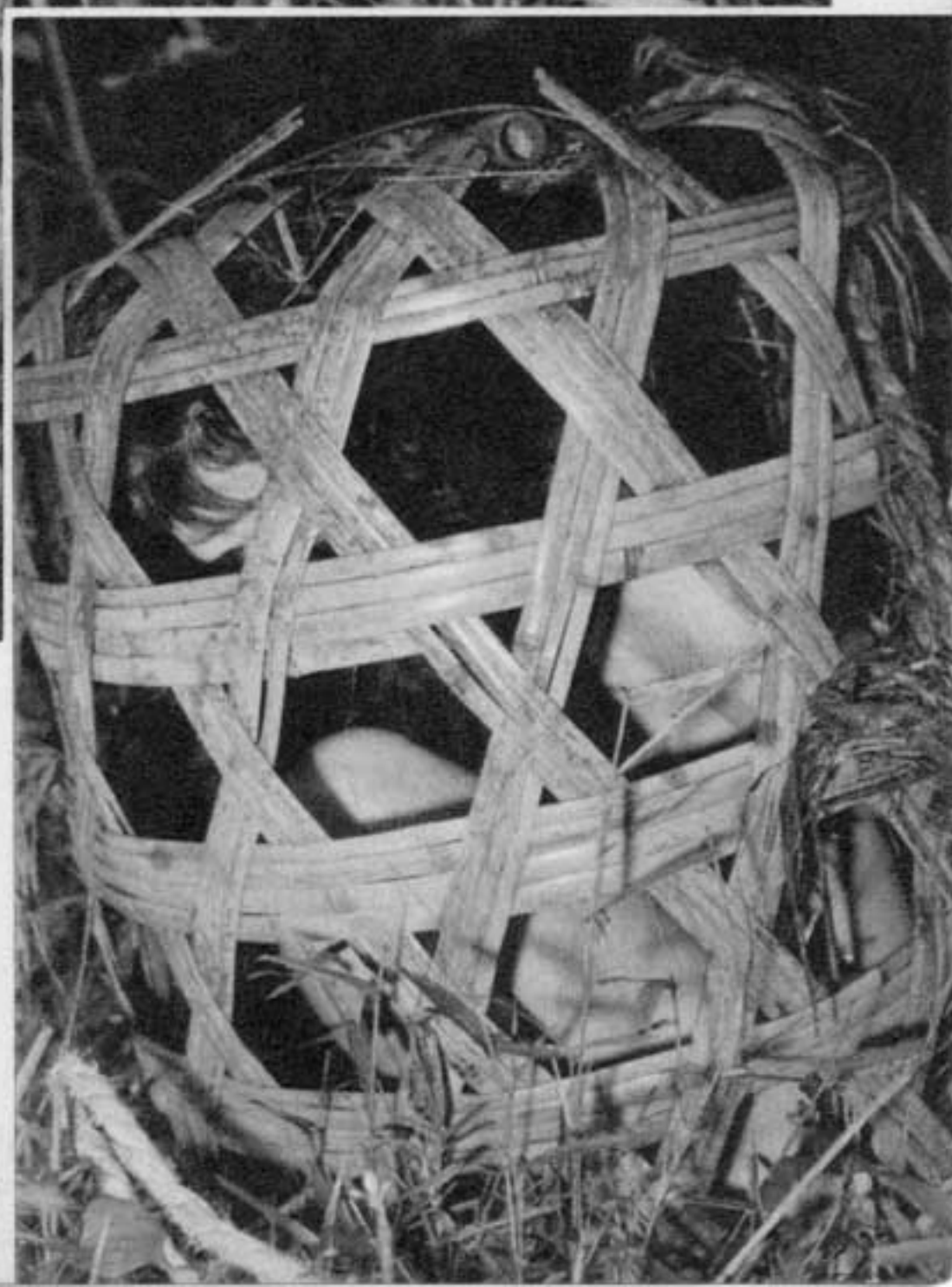






カゴの鳥

縛られた身に きゅうくつなカゴをか
ぶせられ 身動きもできない哀れさ
あたしは 出るに出られぬカゴの鳥と
いった身の上〈モデル・西牧えり子〉



責めの姿態

柱背中抱き

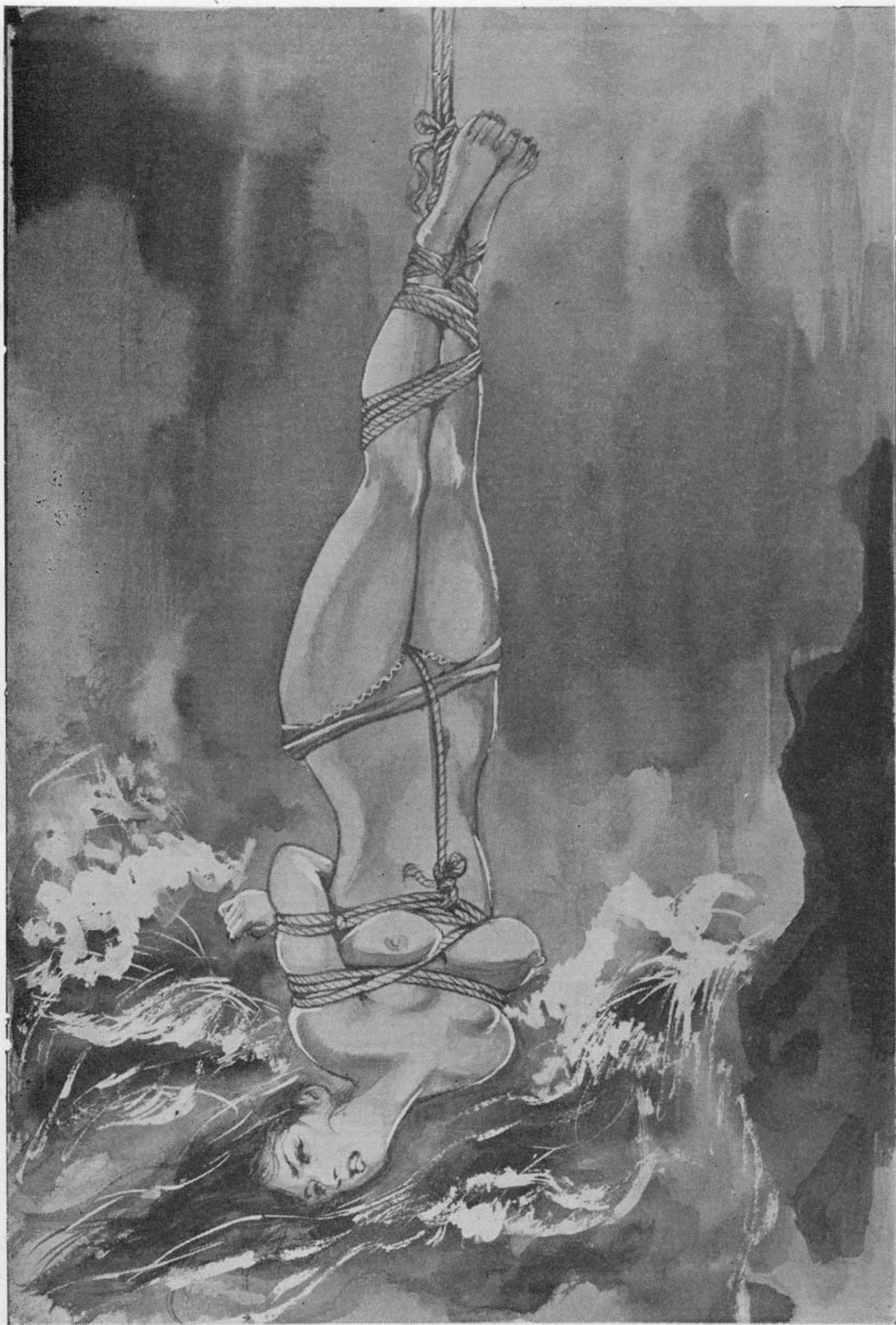
最後の一枚のシユミ





受縛の陶醉

手を縛った縄が 折り曲げたひさを通して



溪流さかさ吊り

さかさ吊りの顔や髪を 水が洗う〈江馬美久・え〉



女にふんどしを 白い肌に白い褌 この奇妙な魅惑 (江島美久・え)



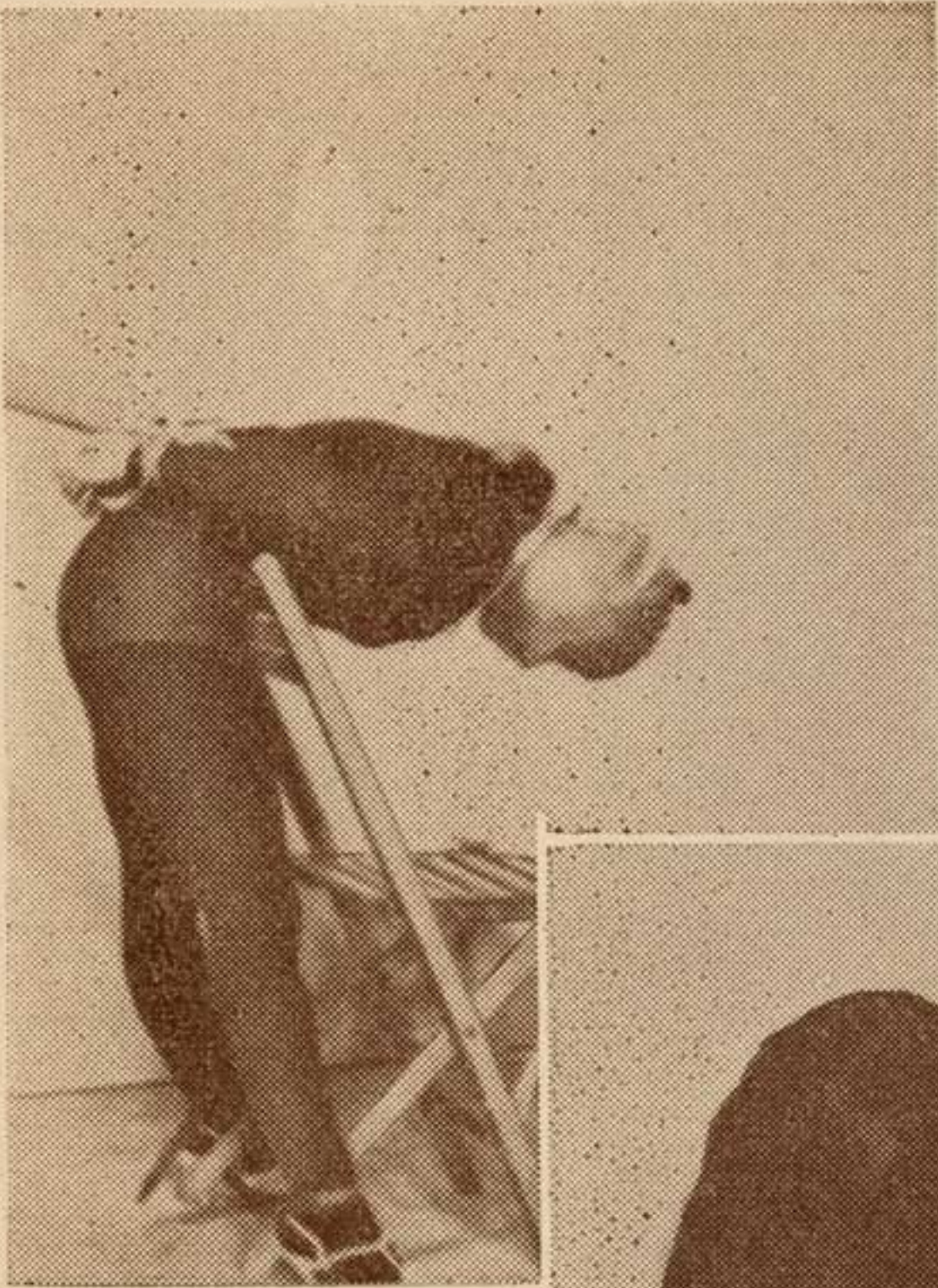
放心のポーズ 長時間緊縛のはてに来る 甘美な法悦〈田上恵子・え〉

このシリーズは、ドイツで制作されたものである。ドイツでは、戸外での縛り遊びも、よく行なわれている。これは、同好会のピクニックでのスナップであるが、相当に本格的なプレイである。



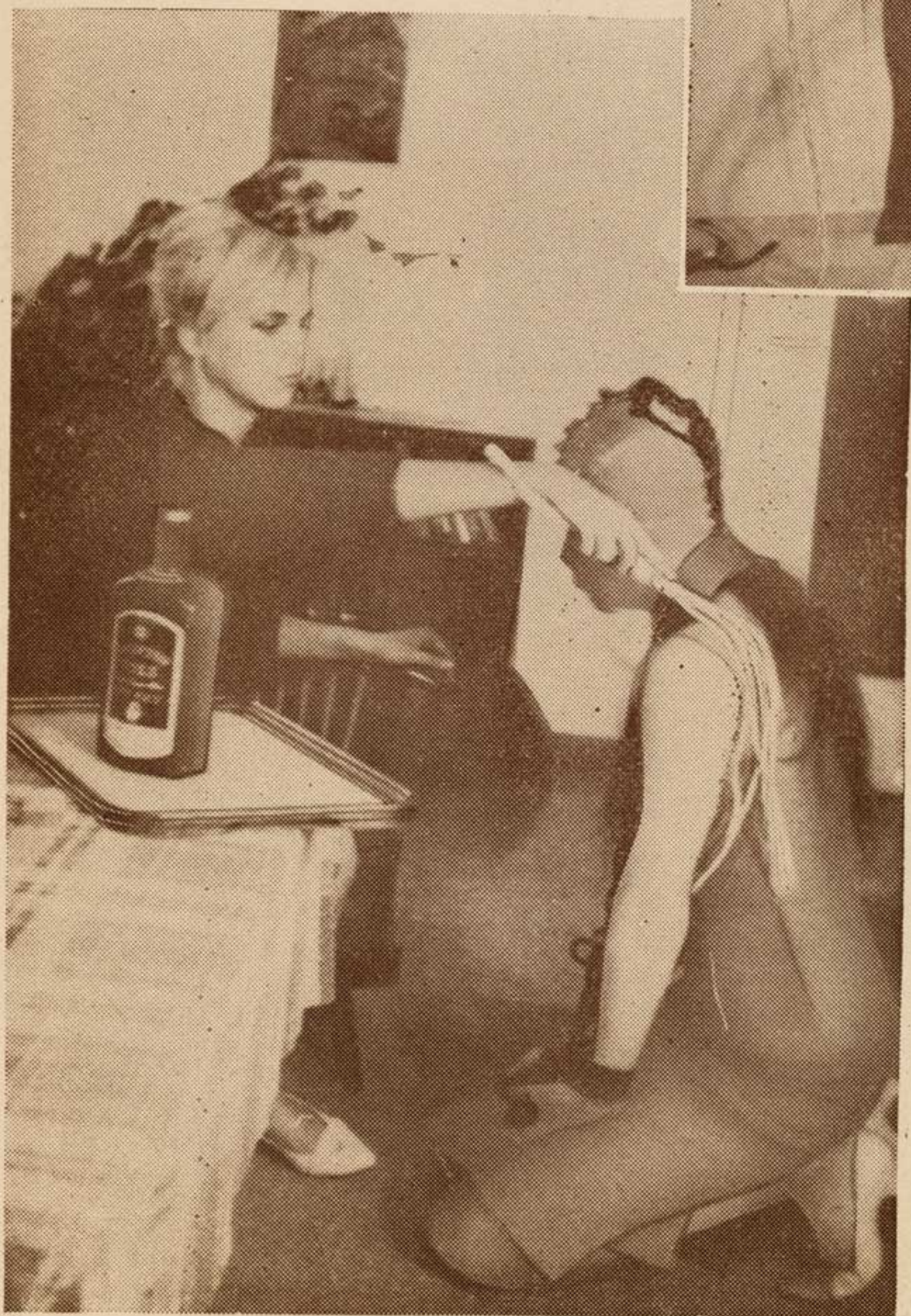
S
M
ふ
たり
プ
レイ

ヘルガとミーナは、ふたりとも
高校生である。十五歳のときか
ら、S・Mの教育を受けて、い
までは彼女たち自身で、プレイ
を楽しむようになったという。
ここに紹介したのは、そんな彼
女らの、あるポーズ集である。





ヘルガはサド女性である。上の写真はヘルガが自分で一番好きだというもので、相手はもちろんミーナである。



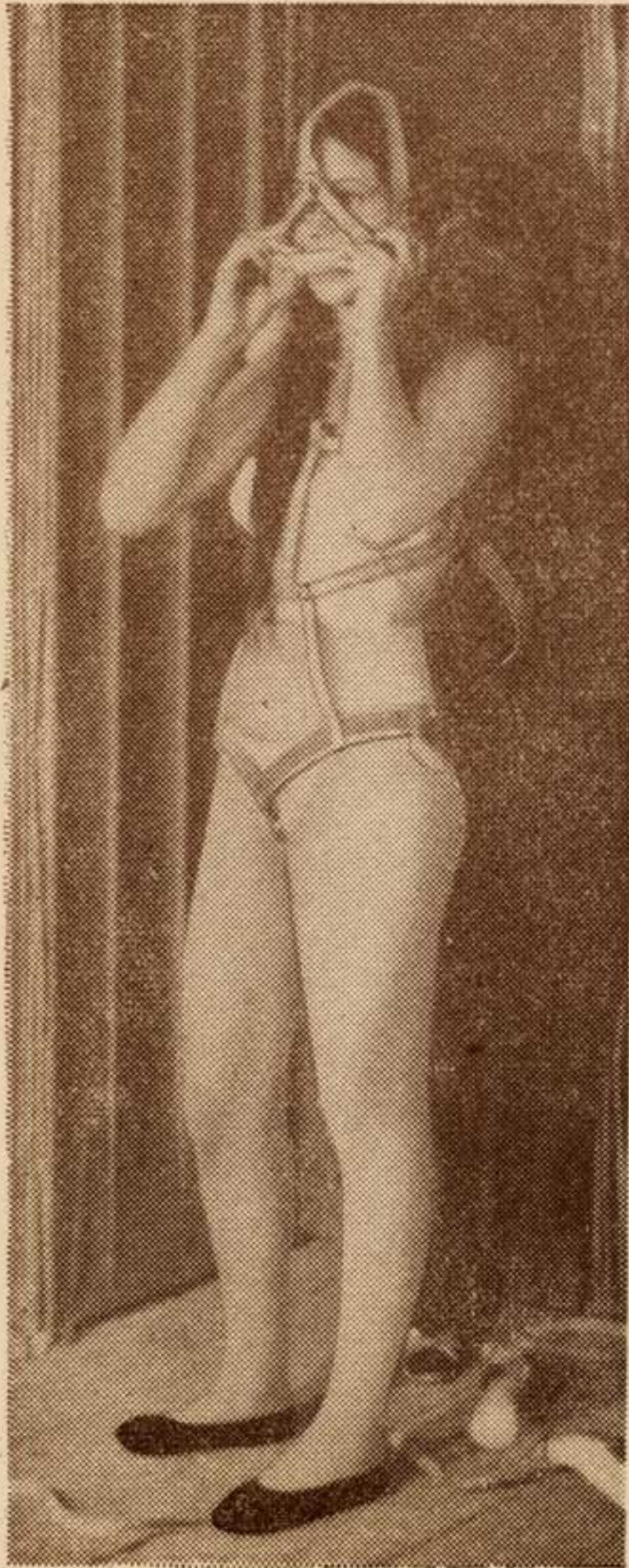
縛りあげ ムチをふるうとき
ヘルガは たまらなく興奮し
陶酔の淵に耽溺する

窮屈な衣装で いじめられる時

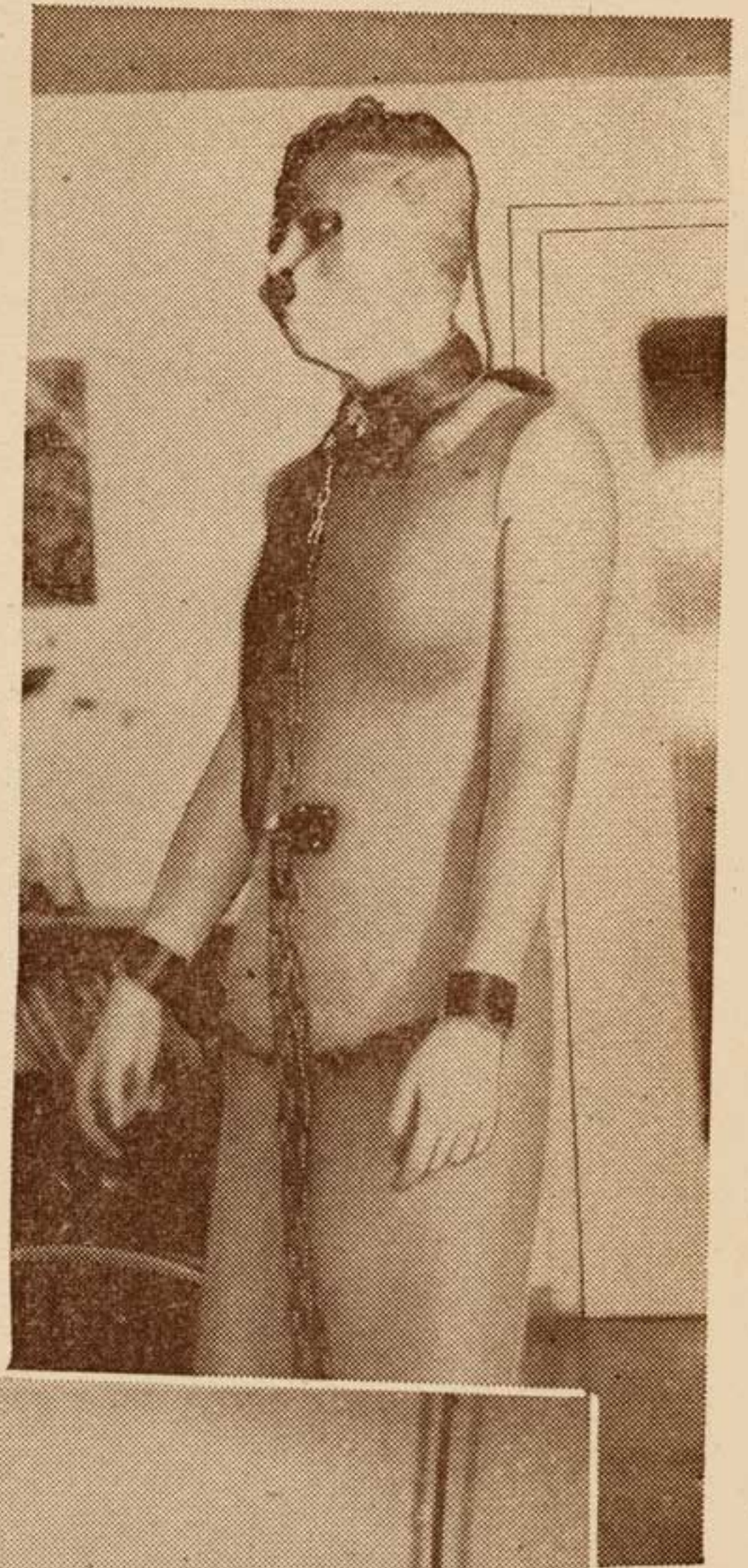
ミーナは 官能の高まりを覚え

法悦の海に沈淪する

寸分の隙なきふたりのプレイ

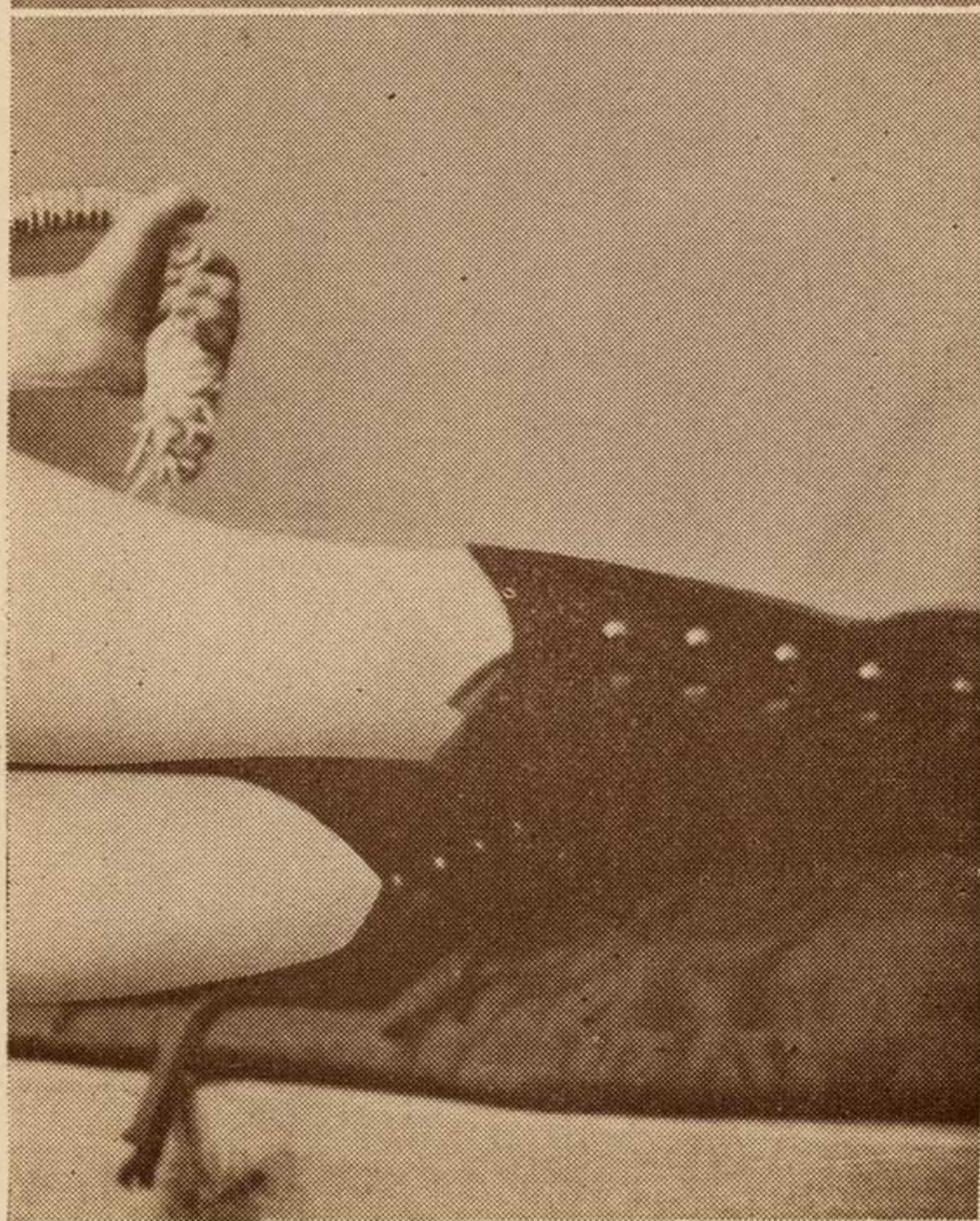


同好会には、中年の人たちも多い。彼女らは、いろいろな用具を持ちよって楽しみ合う。仮面をつけたり、ベルトやロープを用いたり、クサリや鉄のカセを使ったり、プレイは、なかなか多彩である。



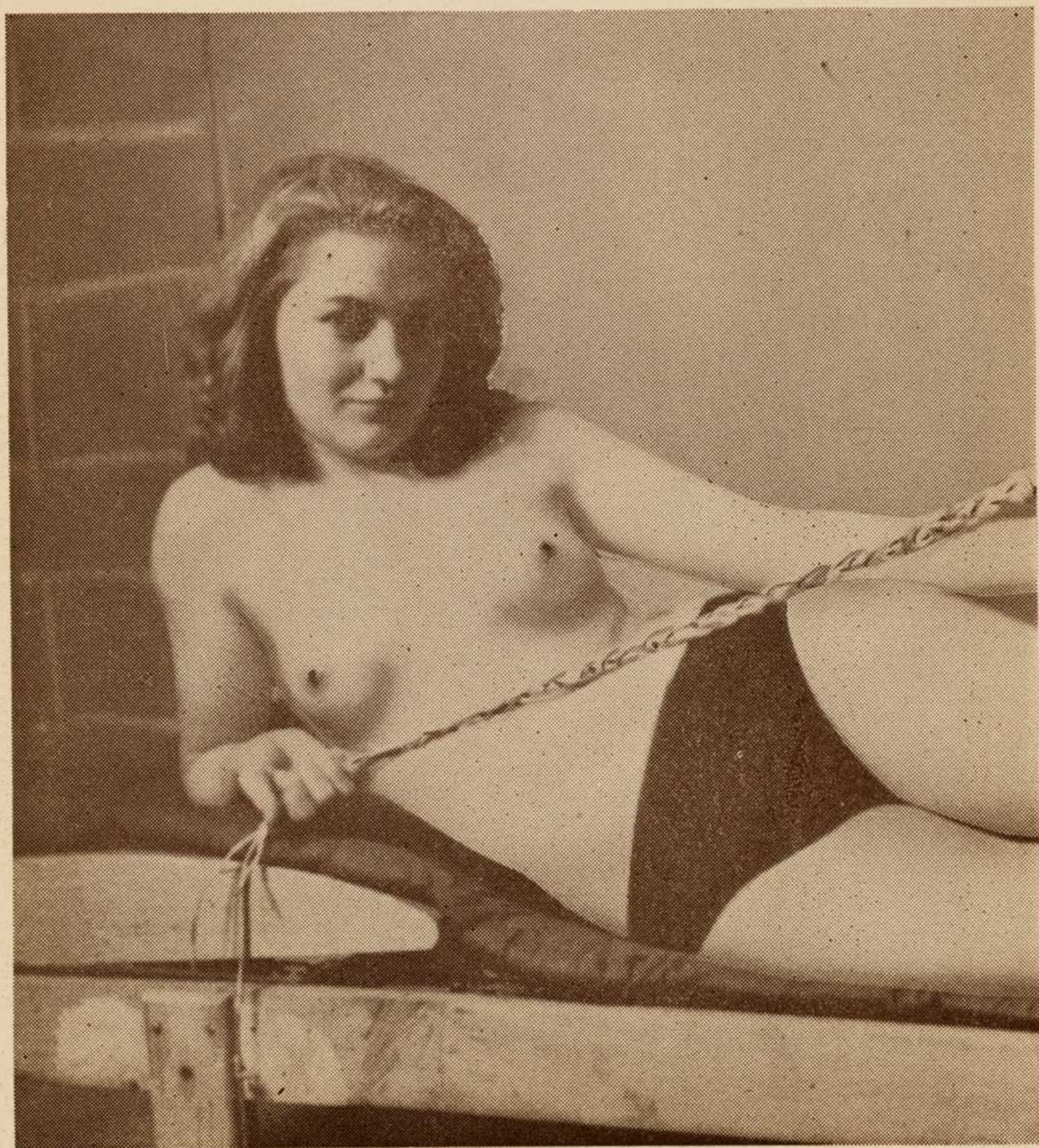
S Mのプレイは 甘美な酒だ
一杯飲めば それだけ酔い
二杯かたむければ、それだけ楽しくなる
それは、肉体のすみずみまで、しみとおり
心の中いっぱい、広がっていく
恋の美酒うまさけにも似て
それより強烈な魔力をもった酒だ





リーザ(上)——は、SでもMでも大好きな、
スウェーデン系のブロンドの美しい娘だ。

アンネロッテ・ブーゼ(下)——彼女は、自分からすすんで、この写真のシリーズを作った。その中の1枚で、サド女性の自演写真として珍しいもの。





千春という女

△1▽

「エイッ、お突きだッ！」
「むーッ！」
「どうだッ、この竹刀しんないの味は？」

「う、うーッ！」
「これでも、まだ悪かったと思わないか？」
「か、かんにん、かんにんしてッ！」
「おまえの性根しょうねをたたき直してやるんだ。おまえの心から、おまえのからだから、悪魔を

たたきだしてやるんだッ！」
千春の声は、憎しみに満ちてこの人けのない部屋で、やつぎ早にほとばしった。そのことはのあいだに、肌を打つ竹刀の音がまじって……。

△2▽

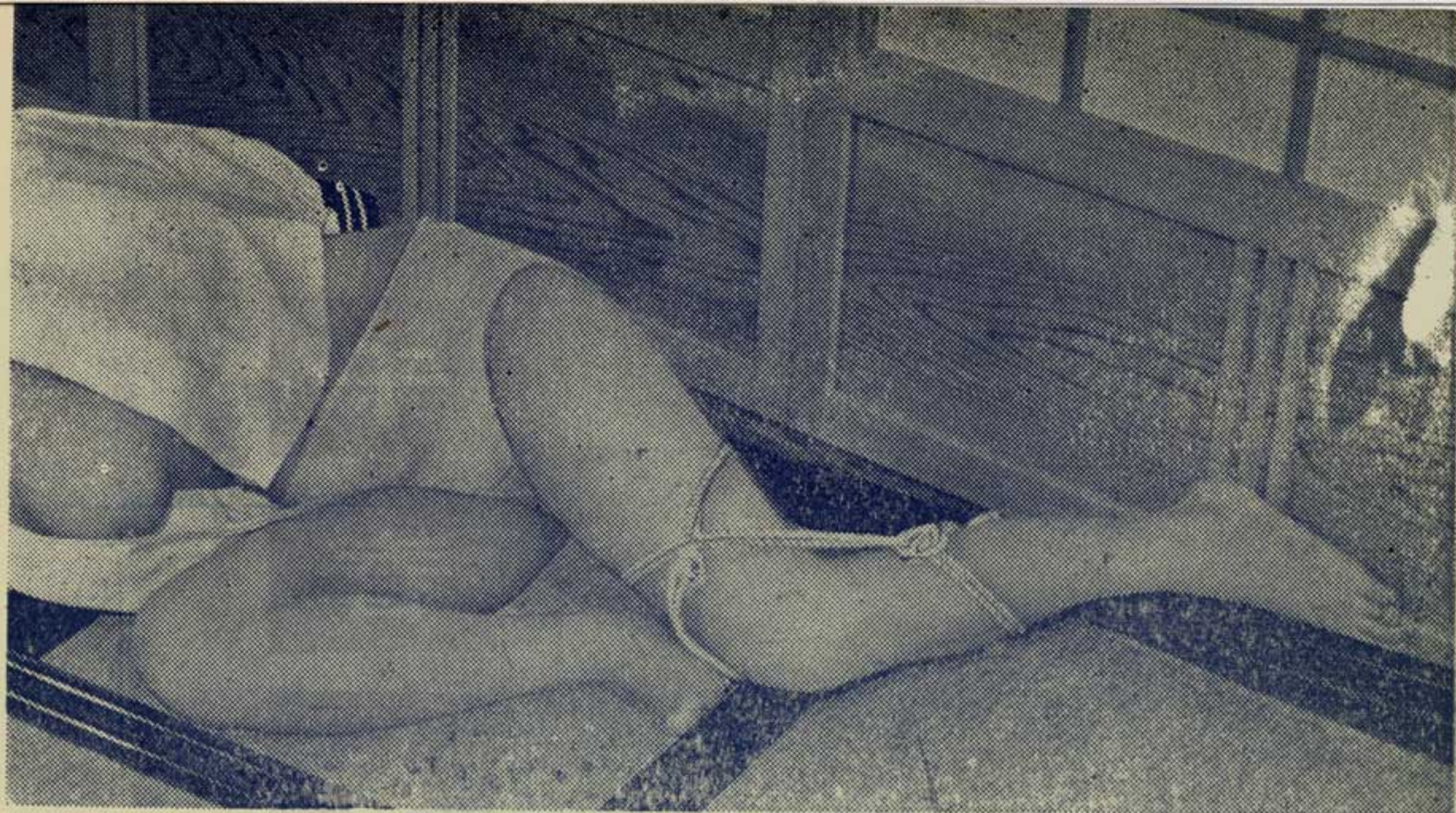
萩原千春は、女ながらも剣道に打ち込んでいる。父が五段で兄が四段、そして弟が初段という剣道一家。ただひとりの女の子である。母までがナギナタの段をもっている。

生まれは水戸——昔ながらに尚武の気風の盛んなところだ。少年も少女も、小学生へあがるかあがらないかのころから道場通いがふつうという土地からである。

千春もまた、幼くして、剣の道の手ほどきを、父からうけた。

父の教育方針は、当世流にいえば封建的だろうが、とにかく厳格一本やりである。剣道を修練することによって心神を鍛え、はじめ

夫計多場番



てりっぱな人間形成ができる、と信じている。

だから、千春の兄も弟も、五歳になると竹刀の握り方を教えられた。そして、女である千春さえ、例外ではなかった。

父のけいこは、峻厳だった。子供だとして仮借しなかった。女だからといって、いたわられることもなかった。

毎朝、五時には、道具をつけて庭先で、父の出でくるのを待ってけいこがつけられた。

そんななかで、千春は、生まれながらの勝ち気な性格から、歯をくいしばって、修業にたえた。小学校にあがると同時に、町の道場へも通わせられた。他人の飯を食うのが、身のためだというわけだ。

千春の腕は、メキメキ上達した。

だが、剣道の修業がすすむにつれて、彼女の心の中に、奇妙な感覚が生まれていき、一つの性格が形成されていった。

もっとも、それに気のついたのは、彼女がもう高校へは行ってからだから、女として一人まえになろうとしつつあったころだ。

△3▽

千春が、剣道を習いはじめたころは、夢中で打ち合っていた。だから、同じ年ごろの少

現代科学のスパラシキ驚異!!

★写真の中にすましてある全裸の美女が突然あなたの眼前に現れる! 一瞬目を疑うこの不思議! 科学特殊写真ついに出現! 息づく乳房くねる腰しびれるようにふるえるモモ思わず手を出してさわりたくなくなる物凄い飛び出し感! 一糸まとわぬ美女群が限界線を超越したあられもない悩殺状態でお目見得! この種の写真では絶対不可能の特断秘写真新作ついに完成! 秘密確保のためハガキ注文お断わり! 本品は単なる目のごまかしや錯覚によるものではなく科学に立脚する画期的製品で現実の世界を手にとるように再現します。一口に言えば生きたヌード美人をそのまま写真の中にカンヅメにしたものです。★本品は通例の誇大広告に非ず! お気に召さぬ場合は返品交換ご自由!

飛び出す!!ヌード集

定価 6組入五百円 15組入千円 40組入二千円
★各種共携帯用特許眼鏡一台付 ★厳封送料各種共30円
見本写真 及び説明書送料共50円(個人名にて誰れにも分からねように厳封発送す!)

浦和市元町一の二二〇K 振替(東京)三九八九三番
日本ステレオ科学研究所

年や少女との打ち合いは、ただおもしろいだけだった。そして、父や兄や先輩からけいこをつけてもらうときは、打つことはまれで、打たれることが多く、しかも打たれることは痛さを感じることもあった。

歳月は流れて、千春にも、女としての徴候があらわれたが、別にどうということとはなかった。

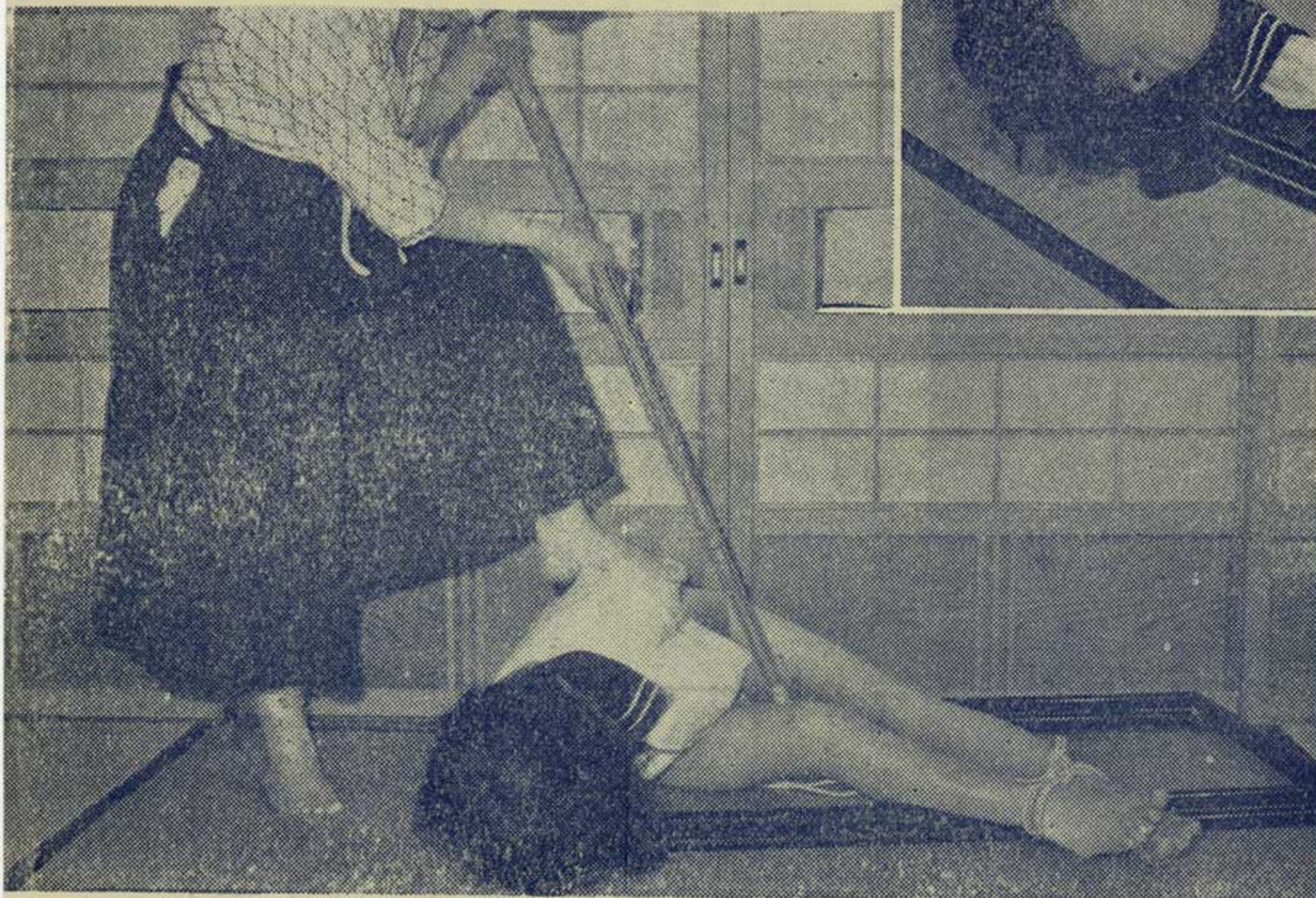
だが、そのうちに、兄とけいこしているときのことだったが、大上段にふりかぶった兄の竹刀が、

「おメーン、いっぽーん!」

という声と同時に
まっこうから打ちお
ろされた。打ちおろ
された竹刀に、力が
はいっていた。

ポーン！ という
小気味いい音ととも
に頭のシンから背筋
へかけて、ジーンと
しみとおるような疼
痛が走った。

ところが、奇妙な
ことに、その疼痛が
からだの深奥部へ達
すると、はじき返さ



れたように、なんともいえない快感となって
全身にひろがっていった。

そんな経験を、その後もひきつづいて、何
度も味わった。

それは、全身をしびれさせるような快感だ
った。

しかし、そのうち彼女は、妙なことに気が
ついた。打たれて快感を感じるのは、きまっ
て、男の相手であり、女同士でけいこをして
いるときは、打たれても、ちっとも快く思え
ないことに、ふと気がついた。

いや、女同士の場合は、逆に、自分が相手
を思いきり打ちすえたときに、なんともいえ
ない気分になるのだ。その場合の感覚は、男
の相手に打たれたときの快感に通じるものが
あった。

それと気づいた千春は、意識してけいこを
重ねるようになった。男との場合は打たれる
ことを、女との場合は打ちすえることを、そ
ういうように仕向けていった。

いつか、千春のからだの中には、男性に対
するマゾ傾向と、同性に対するサド性向が芽
ばえていたのだ。

年ごろになってから、千春は、友だちが男性のことに関心をもつようになって、同調できなかった。というのは、柔弱な男子には全然興味がもてなかった。男というものは、やはり、自分を打ちすすめるくらい強くないと意味がないのだ。自分を打ち込めないような男からは、例の快感を与えられないからである。

そのころは、千春の剣道の腕は、二段になっていた。だから、なまじっかな男には負けなかった。ということは、彼女に打撃の快感を味わせてくれる男は、若い者にはいないということだった。いるとすれば、修業二十年というような中年以上の男に限られてしまった。

千春の対象は、いきおい同性に求めること

になった。

そのとき、彼女の前に現われたのが、花村幸枝である。

彼女は、まだ高校へ通っていた。彼女もまた剣道を習っていたのだが、いつも千春にけいこをつけてもらうことを好んで自分から積極的だった。

自然の成り行きとしてふたりは結ばれた。つまり、レスボスの間柄になったのだ。

だが、ふたりの関係は、ちょっと変わっていった。ひと言でいえば、サドとマゾの関係で

性

永年の経験と専門的研究

勃起力の不足・とても早い男性器が小さい方々
百円送金者に「性の悩み解消」「粹人に」の小冊子
コンドーム二個その他性の参考刷りもの
一、五百円では、早漏者の福音クリム定価五〇〇円
「性愛技巧」の書冊一部その他性の参考刷りもの
一、千円では、勃起力を強める器具と永持する秘薬組合せと性の参考刷りもの

性器短少に真空プラスン器 クリーム付

(こっそり使える) 一、五五〇円

代金着金次第送品・代理店希望者書面請う

個人名で密送・東京葛飾区本田中原町三五六

白水荘優性相談室・私書函葛飾局十九号

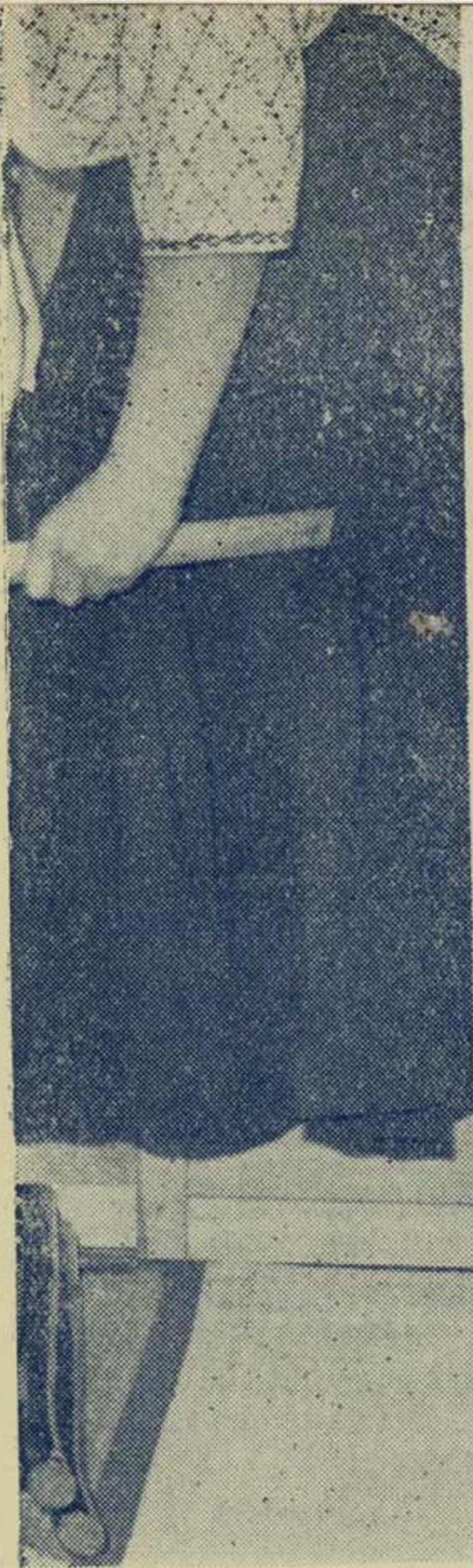
結びついたのである。

もちろん千春がサドで、幸枝がマゾであることはいうまでもない。

道場でけいこするときも、千春は、幸枝を教えるという態度ではなかった。打って打って打ちのめすのが常だった。

竹刀をもつ手がしびれ、足はよろめき、構えても、からだがゆらゆらしている幸枝を見て、千春は、はじめて快心のえみを浮かべたのだった。

道場以外に、ふたりだけのときも、同じようなものだ。





幸枝を縛り、打擲ちようぢやくすることによって、ふたりともセックスを発散することができるのだ。そして、ふたりとも、お互いに満足しあっていた。

△5▽

ふたりの間に、一つのミゾができたのは今年の夏のはじめである。幸枝に、異性の恋人ができたからだ。

県の主催で、高校生の絵画手芸工作の展覧会が開かれた。県下の各校から応募した作品が審査され、各部門で、男女別に知事賞が決定した。

幸枝の描いた風景画が、みごとその金的を射とめた。そして、男子の部門で知事賞に選ばれたのが中林多一であった。

同じ榮譽になった少年と少女は、感激し親近感を覚えた。

若いふたりの間は、急速に進展した。

そうなると、幸枝にとって、千春は、うとましい、とまでいかなくとも、けむたい存在になった。裏めたい気持ちも、もちろんてつだっていたろう。

千春と会うのを、避けよう避けようとする幸枝は、いきおい、剣道の修業をなまけはじ



めた。それまでは、どこへ行くにもいっしょだったふたりなのに――。

千春が、そんな幸枝の態度に気のつかないはずはない。はじめのうちは、試験が近いので、その勉強のためとか、からだの調子が悪く医者からとめられているとか、そんな口実でも、一応、すじは通った。

だが、日がたつにつれて、ふたりの仲の亀裂は、ひろがるばかりだった。

けんか別れではなく、幸枝が千春を避けるだけなのだが、そんな空気は、ピンピン千春の神経にひびいていった。

千春は

いらだった。

したがって、この日

ごろ、道場でのけいこも荒っぽく、彼女の相手をつとめるものは、みなしりごみするようになってしまった。

△6▽

そんな毎日にたえきれず、千春は、幸枝に呼び出しをかけた。だが、手紙では、やはり返事がなかった。

そこで千春は、学校の帰途を待ち伏せて、幸枝と会った。

逃げることもならず幸枝は、千春に伴われて千春の部屋へ来た。

ちょうどそのとき、母親が、千春をよびに来了。

千春は、幸枝が逃げるのを防ぐ意味で、足を縛りあげ、そばにあった衣桁を倒して、それにくくりつけた。

少しでも逃げられないようにとの配慮である。そのために、スカートも取り去ってしまった。

母親の用事をすませて、ふたたび現われた千春は、別室で着かえてきたのだろう、けいこ着姿だった。

幸枝は、そんな千春を見て、おびえた目つきをした。

それがよけい千春の心をあおった。ものも言わず、手にしていた竹刀が幸枝の肌へ飛んだ。

むきだしの肌で、竹刀が、
ピシリッ！

さわやかな音をたてた。

「あ、あーっ！」

幸枝は、齒をくいしばって、苦痛にたえたが、うめきがもれた。

そんな幸枝の肌に、千春は、なおも、竹刀をふった。

ピシリッ！ ピシリッ！ ピシリッ！ ピシリッ！
シリッ！

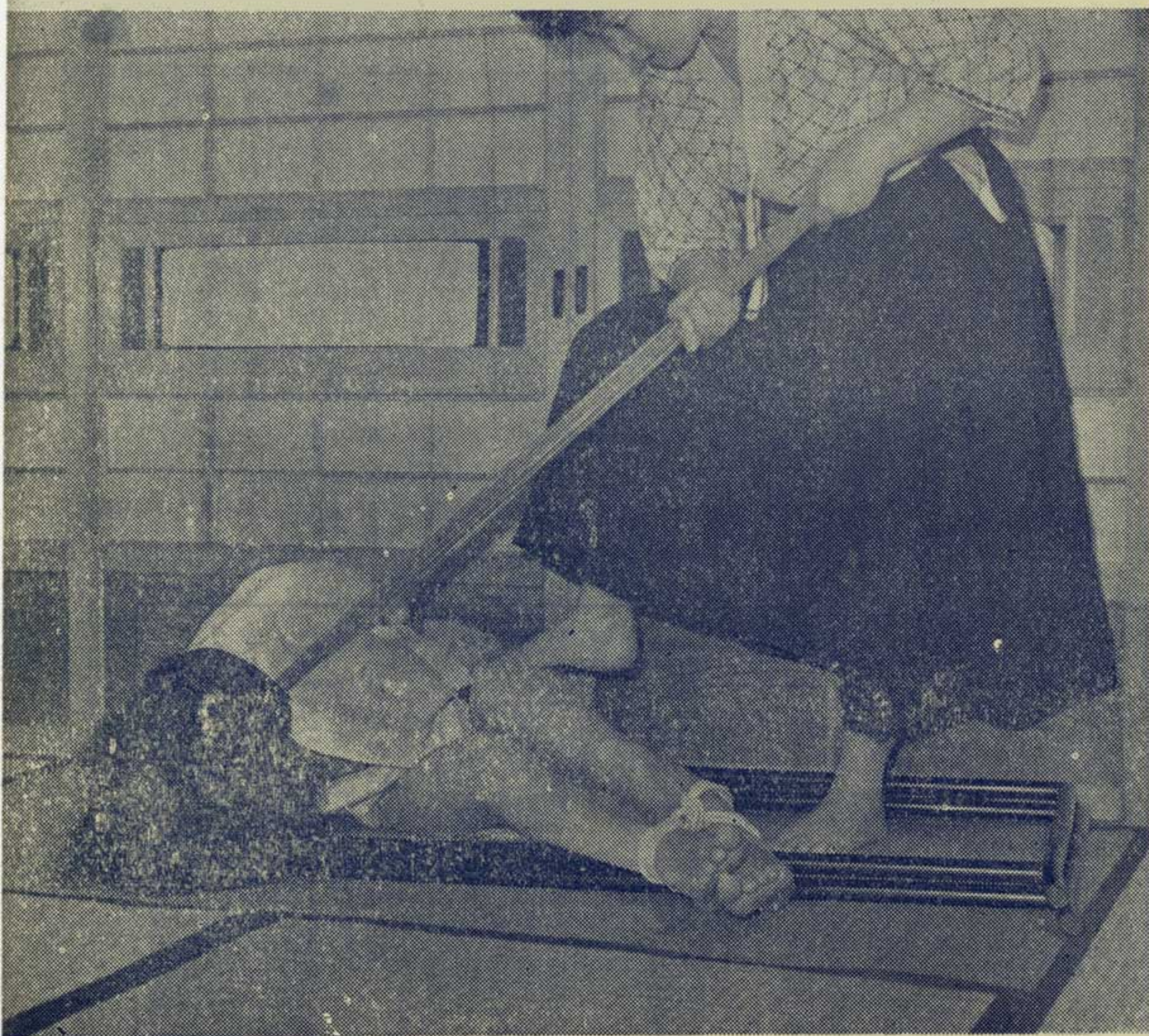
つづけて鳴る音が、千春の心をあおり、加虐の血をわきたたせたようである。

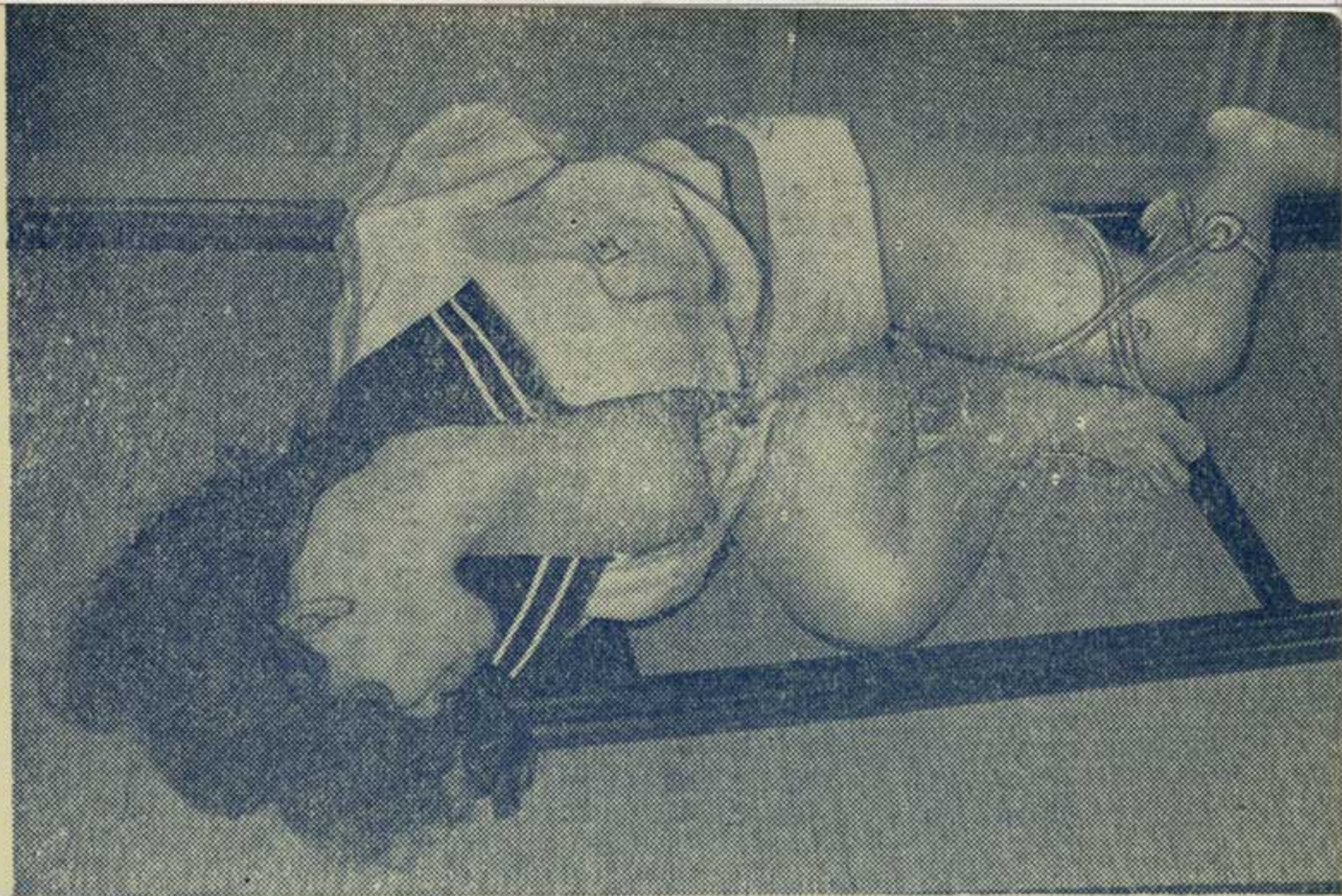
必死に苦痛にたえる幸枝のからだは、もう自分の手の届かないところで、よごれてしまっている思いで、千春は、くやしくてならなかった。

それだけに、竹刀に力はいった。幸枝の体内に宿った不純なもの——自分の手のとどかないものを追い出してしまいたい、と、必死であった。

△7▽

千春は、竹刀をふっているうちに、いつか興奮していた。自分では気がつかないのだが、打つことに夢中になっていた。





千春の竹刀は、打っただけではなかった。突くのだ。
女特有の、ねちっこさで、からだのあちこちを、ところきらわず、全身くまなく突きま

わした。

のどを突き、肩を突き、わき腹を、下腹をももを、むき出しの肌を、ところきらわず突きまくった。

幸枝の肌に、点々とシミが浮かび、最初はうす赤くきれいだったが、次第に黒みを帯びていった。

その点の模様を縫うように、打ち跡の筋がスーッと幾条か、浮きでている。

はじめは、歯をくいしばってがまんしていた幸枝は、ついにはたえかねて、悲鳴をあげだした。

ピシリッ！

「あ、あーッ！」

「ヒューッ！」

と悲鳴があがると同時に、千春の竹刀は狂ったように、おどった。

ピシリッ！

のたうち回る幸枝の白い肌！

と、突如、千春が、竹刀をなげだして、幸枝のからだにしがみついた。そして、オイオイ泣き出した。

すると、誘われたように幸枝も泣きだし、ついには、ふたりとも泣きだし、その泣き声はいつまでもつづいた。



**男性の悩み
解消**

発明博、展覧会優賞受領
多数専門医家の御使用

医家の御注文状数百通保存してあります

性器短小、勃起力減退等の生理的欠陥のために、男性としての自信を失い、失意の暗い人生に悩む人は今直ぐ申込まれよ、医大教授を始め医家の御注文と、発明展覧会より金牌を受領せる性能の素晴らしい優秀器。

日本政府登録商標

テンマ真空唧器

定価 金千六百元 荷造送料 金百円
テンマの使用で性器は強大となる。

説明書申込次第無代密送

先ず説明書を一読してその真価を知れば世の中が明るくなる。

夫婦和合の秘器（物理的原理応用）

リックバンド（リング）本器の使用で早漏を防ぎ、勃起力が倍加する。

定価一組金四百円（送料共）説明書進呈

東京都目黒区下目黒四丁目九七四のC

振替東京七七三九番 **錦光社**
電話目黒九五三二番

目黒駅よりバス停四つ目下目黒四丁目下車スグ

三日月街道

赤木 恵介

田上 恵子・え

① 宿場女郎

「おい、お小夜、強情はるのもいいかげんにしねえか。おまえのからだはな、この花喜屋が、大枚十両だして買いうけたものなんだ。これ以上痛い目をみねえうちに、もうあきらめて、客をとる気になったらどうだ」

いいながら、花喜屋徳兵衛は、手に握ったささら竹で、お小夜の肩さきを、ビシリッと打ちすえる。

「ひいッ！」

と、せつない悲鳴に身をのけぞらせるお小夜は、柱を背に、うしろ手に縛りつけられた哀れな姿。

ここは江戸へ二十八里、中仙道は板鼻宿。花喜屋という女郎屋の奥にある、物置き部屋だった。



② 木馬の背

お小夜は上州高崎在の水のみ百姓の娘で、お定まりの、無慈悲に高い年貢の犠牲となつて、この花喜屋へ売られてきた娘だった。

貧しい百姓の娘とはいいいながら、肌には粟粒ほどの汚れもない、十七歳になったばかりの生娘なのだ。

売られてきたその晩から、客をとれといいつけられたが、まだ男を知らぬ身に、どうしてそんな、いまわしいことができよう。

そんなけがらわしいまねをするくらいだったら、責め殺されたほうがマシだった。

「まったくしぶとい小娘だ。こうなったら、どうでもいうことをきかせてやる」

徳兵衛の顔面が火のようになってる。さら竹を握りなおし、お小夜を縛った縄目のあいだに、ぐりぐりッとかじいれる。

「う、う、うッ！」

胸にくいこむ苦痛に身をもめば、鬚の根もくずれ、えりもともはだけ、すそも乱れる。それでもお小夜は、齒をくいしばって耐えしのぶ。シンは気丈な娘らしい。

お小夜の顔は蒼白になり、唇は紫色になっていた。

「やい、ツラをあげてこいつをみる。この物置きには、こういうけっこうな道具もしまつてあるんだぞ」

徳兵衛は奥の手をだした。その道具とは、あらけずりの木を組みたてた馬だった。背中が三角の形にとがった木馬である。

この背の上に、お小夜をまたがらせようというのだ。

「ああ、かんにん、かんにんしてください」哀願の声は、途中で悲鳴にかわった。

徳兵衛は、縛ったままのお小夜のからだを強引に抱きあげ、木馬の上にのせた。

「それ、もっとしっかりのれッ」

割れ竹で、お小夜の背や尻を、ピシピシッたたたくのだ。

「ひいーッ！」

たちまち、もものつけねから背骨をつらぬき、脳天にまでひびく疼痛。

お小夜だけではなく、いままでに何十人もの女を泣かせ、血とあぶら汗を吸いこんだ木馬の背だ。

「くうーッ」お小夜は、あごを前につきだし、死にものぐるいの声をあげた。

その悲鳴にこたえるかのように、物置き部屋の板戸が、ガラリと廊下からあいた。





③ 三日月の傷跡

藍微塵のひとえものを、いなせに着た男がいきなり戸をあけてはいってきたのだ。

「ほほう、こいつはとんだ修羅場だな」

男は眉をひそめた。その眉間には、三日月の形をした傷跡が、くっきりとついている。

「だれだい、おまえさんは？」

徳兵衛が、ムツとした顔できいた。

「こいつはごあいさつだな。おれはな、この花喜屋へ、ゆうべから泊まっている客だ。お客さんだぜ」

男は、にが笑いをうかべていった。

「そいつはどうも。ですが、ここはお客さまのおいでになる場所じゃございません」

「ただごとでねえ女の悲鳴がきこえたから、ちよいとのぞいてみただけのことよ。おい、ご亭主さん。ひとめみただけだが、この場のようすはたいがい知れた。こうしよう。おれがその強情な娘を身うけしようじゃねえか。金さえだせば、もんくはあるめえ」

男は、ずっしりした金包みを、徳兵衛の鼻さきへつきだした。

「そりゃ、お金さえいただければ……」
きゆうにへらへらする徳兵衛である。



④ げじげじの権六

「さあ、ねえや。おめえを縛った借金ほ、おれがきれいにカタをつけた。こんな地獄みてえなところからは、一刻も早くおさらばしてすぐさま親もとへけえるがいいよ」

男はやさしくいいながら、お小夜のからだを木馬からおろし、縄をといてやる。

「あ、ありがとうございます！」

地獄で仏とはこのことか。お小夜は両手を合わせて男を伏しおがむ。

その翌朝早く――。

お小夜は旅したくもうれしく、花喜屋の裏口から、自由になった身を郷里にむけて一歩を踏みだした。

「おい、待ちやがれ」

このとき、お小夜の目の前に、ぬうッと立ちふさがった男がいる。

「お小夜、御用だ！」

十手のさがが、ぐりっとお小夜の胸をついた。この宿場界限を縄張りなわばりにしている岡ッ引きで、げじげじと異名をとる権六だった。異名のとおり、評判の悪い御用聞きだ。

一言の弁明もゆるされず、お小夜はアッとうまに縛りあげられていた。

⑤ お尋ね者

これは内々の取り調べだからといって、権六はお小夜を自分の家へひきたててきた。

「おゆるしくださいますし、親分さま。わたくしはおかみのお縄にかかるような悪いことはけっしていたしてはおりません」

まったく身におぼえのないことだった。

「フン、とほけるのもいいかげんにしろ。ゆ

うべ花喜屋でおまえの借金を払った男はな、

三日月小僧の新吉といって、この中仙道をあらしまわっているお尋ね者の盗ッ人だ。眉間に三日月型の傷跡があるところから、人呼んで三日月小僧。その泥棒やろうが、大枚二十両という金をだすからには、やつとおめえの



あいだに、なにかのつながりがあるにちげえねえ。どうだ、キリキリと白状しやがれ！」
げじげじ眉の目玉を、ぎょろりとむきだして、権六はとくいげにどなった。

「そ、そんな、わたくし、知りません！」

お小夜は、うしろ手に縛られた身を、必死にゆすった。あのしんせつなゆうべのおかたが、お尋ね者の泥棒だなんて信じられない。

だが、そういわれてみれば、あのおかたのひたいには、たしかに細い傷跡があった！

「花喜屋の亭主は、てえしたしふといアマだとあきれていたが、なるほどウソじゃなさそうだ。こいつは一番、からだにきかさあなるめえ」

権六はつぶやいた。

「どうやら、お小夜をこんなワナにはめこんだのは、花喜屋徳兵衛のさしがねらしい。」

「おまえさん。この小娘は、なまじっかな責めじゃ口を割らないよ。かまやしないから、思いきったことをやってごらん」

権六のそばからそのかすのは、女房のお鉄だ。ぶよぶよとふとった、肉感的な年増女である。

三日月小僧を縄にかければ、代官所から金百両の恩賞がでる。その金がめあてで、血まなこになって三日月小僧を追っている権六夫婦なのだ。

「よし、それじゃ裏庭にひきずりだして、松葉責めにしてやろうじゃねえか」

女房にけしかけられて、権六はふるいたった。鬼の夫婦の四本の手が、お小夜を腰巻きだけの半裸にひんむく。素肌の腕をまたうしろにねじあげて縛りつけ、裏の松の木から吊りさげた。

「あ、ああ、あーッ！」

お小夜の足さきは、地上すれすれのところに浮いて、ゆらりとゆれた。

お鉄もいっしょに亭主へ手をかし、枝から松葉をちぎると、そのチクチクするさきのほうで、お小夜の白いのどを突きはじめた。

⑥ 松葉責め

「どうだ、このアマ。痛いか、痛けりや泥を吐け。三日月小僧のかくれ場所はどこだ。どこをねじろに悪事を稼いでいやがるんだ！」

お小夜ののどに、下からチクチク、チクチクと松葉が突きささる。

「し、し、しりません！」

もし知っていても、恩人であるあのひとの不利になるようなことは口にすまい、どうせ一度は死を覚悟した身ではないか、と心をかたくして耐えているお小夜だった。

お鉄の握る松葉のたばは、お小夜ののどから胸につたわり、なおも責めをやめない。ふっくらと白い、生娘のはじらいにふるえる乳ぶさ。そこへ松葉のさきを突きさす。

「う、うーッ！」

「しぶといねえ、こいつは。おまえさん、ますます怪しいよ」

お鉄はいきりたつ。じりじりとあせってくるのだ。女が女を責めるのは、ねちねちと残忍だ。お小夜の膝の上の、もっともやわらかい内ももの部分へ、松葉をぎゅッと突く。

「どうだい、これでもおまえ、こたえないのかい！」

「ひいーッ！」

こたえないはずはない。なめらかな内ももの肌から、うっすらと血がにじみだす。

「こいつめ、こいつめ！」

花喜屋からあてがわれた緋縮緬のすそがひるがえる。足が白くむなしく宙をける。

お鉄は松葉を投げすてた。

「ダメだ、おまえさん。あたしゃ、くたびれた。こんどは男の力でやっつくれ」

「よし」

亭主が交替した。左右の手のひらに、ペッ

と音をさせてツバを吐き、幹に縛りつけておいた縄尻をつかみ、よいしょとひく。

お小夜のからだは、いっそう高く、ズルズルと宙にひきあげられた。松の枝がお小夜の重みでミシリッときしんだ。

「やい、女狐め。いいかげんで白状したらどうだ。シラをきるなら、つぎはいぶし責めだぞ！」

宙にたかだかと身を浮かせたお小夜に、権六はどくどくしいせりふを吐きつけた。お鉄はいそいそと松葉をかき集めるのだ。





⑦ いぶし責め

お小夜の足の下に、松の枯れ枝、落ち葉が
ちいさな山をつくった。

「さあ、お鉄、かまわねえから火をつけろ」
「あいよ」

火をつける。口をとがらせて吹く。
まもなく、ブスブスといぶりだした。落ち
葉とはいえ、まだ枯れきっていない松葉だ。
白いけむりをあげて、いぶるだけである。

その意味わるいけむりが、やがてお小夜の

足さきから、なめるように素肌をはいのほり
はじめた。

「むう、うううッ」

お小夜はむせた。いくら顔をそむけても、
松の枝から吊るされた衰れな身では、どこへ
逃げることもできない。

お鉄は、うちわを持ってきて、それでパタ
パタあおぎはじめた。けむりはもうもうとた
ちのぼる。

「ぐうッ、ぐぐッ」

目のなかにしみこむ。お小夜の目からは、

ポロポロと涙がこぼれた。このいぶし責めの
くるしさ。目からのどを痛めつけられ、むせ
び泣きながら、お小夜は白蛇はくじやのようにくねく
ねともだえた。

「ほ、ほんとうに、わたくし、な、なにもぞ
んじません！」

苦悶くもんのなかから、きれぎれの声をうめく。
そのうちに白いけむりの下から、チロチロ
と赤い炎がみえはじめた。松葉がかわき、よ
うやく燃えだしたのだ。

いぶし責めから、火責めへと移ったのだ。
炎はまずお小夜の足さきをこがし、それか
ら緋縮緬ひしゅくめんのすそへ燃えつくだろう。

腰巻きはメラメラと燃え、お小夜の腰から
下は、火に包まれるだろう。どんなに残酷な
そして卑猥ひわいな光景があらわれることか。

「どうだ、お小夜、いよいよ最後だぜ。いま
口を割らねえと、おめえのこの白い肌が、サ
ンマみてえに黒こげになっちまうぜ！」

権六が下から威嚇いかくする。

ただのおどかしではなく、炎はヘビの舌の
ようにチヨロチヨロとのびて、お小夜の足の
裏をなめはじめた。

「ひいーッ！」

お小夜は必死になって足を縮めた。

⑧ さらしもの

そのとき、権六とお鉄の背後に、ふいに、怒りにみちた声が投げつけられた。

「げじげじの権六に鬼神の女房。なるほど、うわさにたがわぬ、あくどい岡っ引き夫婦だなあ」

ふたりはぎょっとしてふりむき、さげんだ。

「あッ、三日月小僧！」

眉間にくっきりと三日月型の傷跡をきざんだ男が、ふたりの背後に立っている。

「お小夜が権六にしょっぱかれたときいて、こんなことじゃねえかとやってきたんだ。やい、権六。その娘とおれとのあいだに、なんのかかわりもねえってことが、まだわからねえところをみると、てめえの目はフシ穴も同

然だな」

三日月小僧の口から、皮肉がとんだ。

「なにをいやがる、御用だ！」

「おまえさん、しっかりおしよ。こいつをふんじばることができたら、ほうびの金が百両だよ！」

権六は十手をふりかざして、三日月小僧に打ちかかった。

だが——それから数刻後。

宿はずれにかかった橋に、変わり果てた権六とお鉄の夫婦の姿があった。

権六はフンドシひとつ、お鉄はこれも腰巻き一枚のなさけない裸身を、うしろ手に縛りあげられ、同じように橋げたに、ならんでくくりつけられていたのだ。

見物人は大ぜいいるが、だれもこの夫婦を助けようとしていない。

その夜——。

街道には、利鏢のような月が光っていた。

三日月である。

「だいじょうぶかい、お小夜坊」

「はい」

三日月小僧は、お小夜をいたわりながら、お小夜の郷里へむかって、旅なれた足を運んでいた。



NUTRIX CORNER



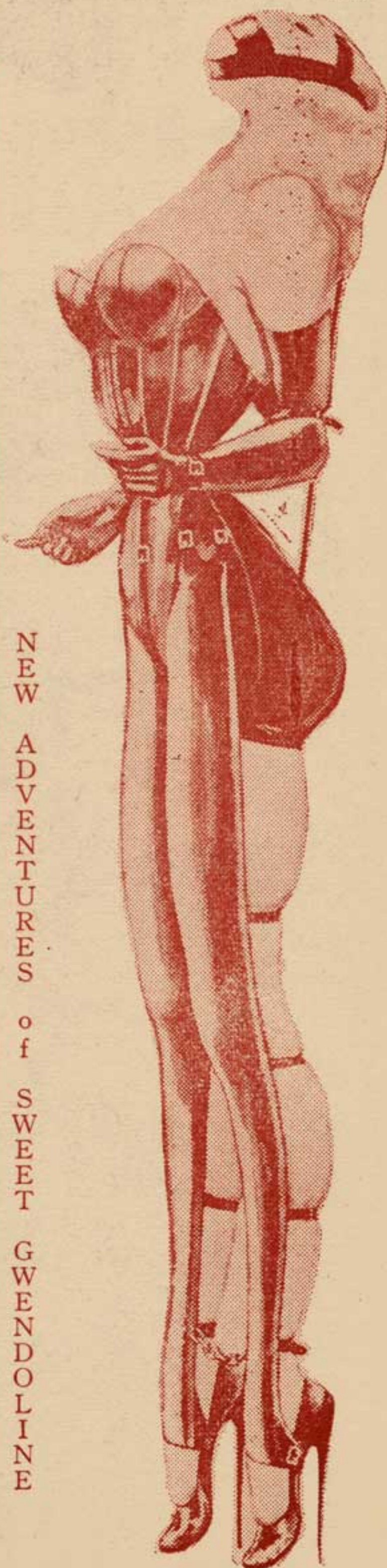
この前にご紹介したグウエンドリンのつづきです。
グウエンドリンというかわいらし、清純な娘が、二つのお城の争いにまき込まれて、さんざんな目

にあうというお話です。しかし、これには、前にも書いたように、名画家ジョン・ウイリイの作品で、かれの描いたものとして、現在入手できる唯一のシリーズで、珍重すべきものがあります。

矯正された女
第2集第2巻は、23章から始まります。
小間使いのフィフィが、女城主のいいつけで、グウエンドリンを縛り上げます。からだ

グウエンドリンの降伏

谷 貫 太



NEW ADVENTURES of SWEET GWENDOLINE

を美しくするための訓練の一つです。

23章には、結い上げた髪の毛をグイとひっぱって、両手を縛った皮具に結び合わされて、上向いたままの姿勢でほうっておかれるグウエンドリンが示されています。

つづいて、背中に棒をあてがわれ、細いタイトスカートの、両手をうしろ手にしばり合わされ、首には、皮製の矯正具をつけられたグウエンドリンと、さらにマスクと、鉄のシンのはいたスネ当てで身動きもできないほどにされている彼女が描かれています。

責めの服装

城主の部下の残忍な女役人が現われました。両手をいっしょにして縛り上げる皮の拘束具をもって来て、

HOWEVER ONE MORNING THINGS LOOK LIKE BEING EASIER.

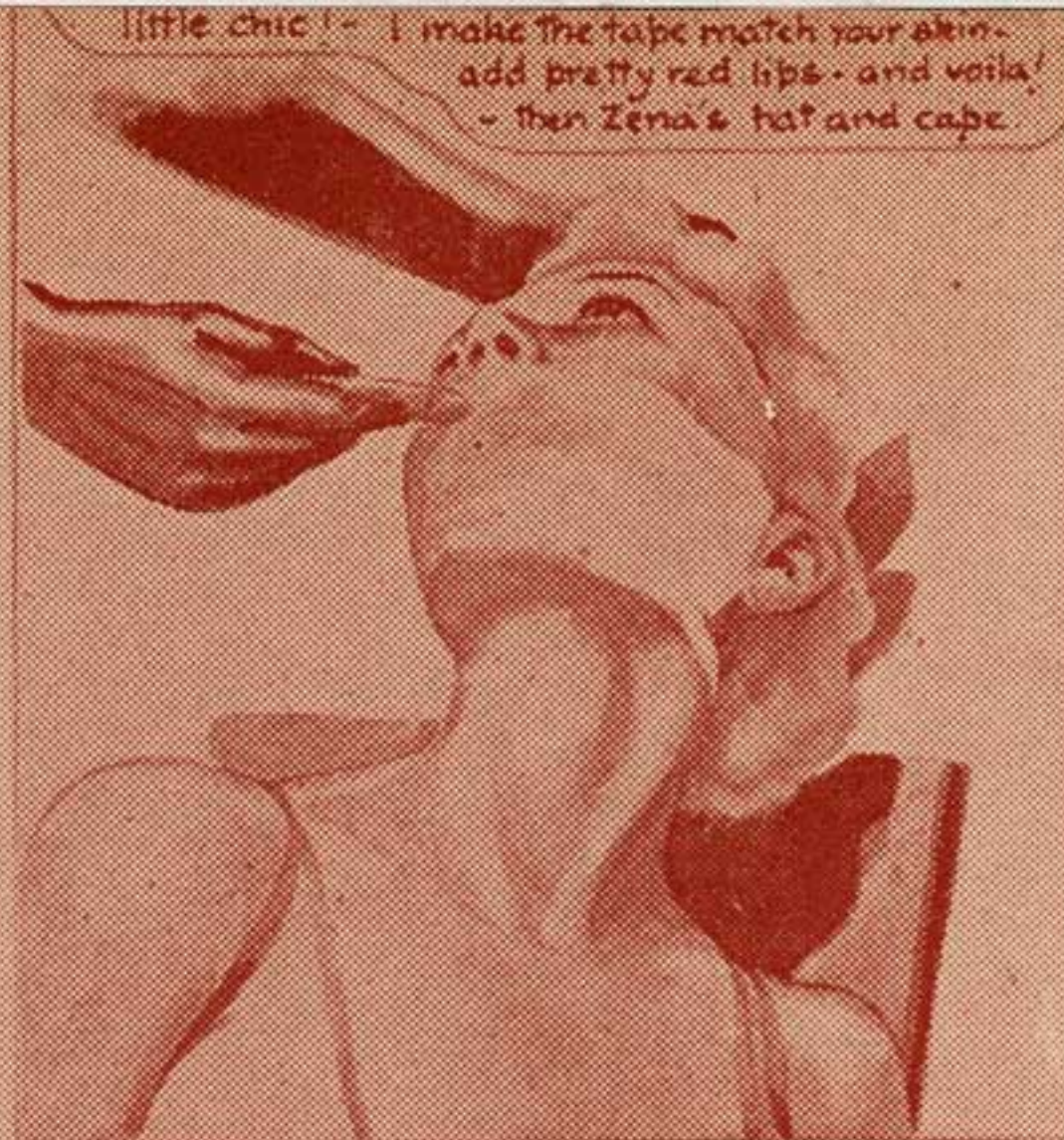
Aunty's in the hammock with a book - Fifi's doing the silver and I've got to see the Chief - something about a missing Princess - so I'll just put this single glove on you - then you can play until I get back - Turn round!

yes mistress.

-as you'll have to stay like this till I get back I won't strap you up too tightly - eh?

Oh then I'll escape - I bet you I'll esc - oh! - aye - oh darling! - o-oh!





グウェンドリンのコルセットのうしろ側に結びつけます。

役人は、まっ黒な、からだにぴったりとした制服で、ひざまでの長靴をはいており、手

には、ひじまでの皮手袋をはめています。こんな格好は、責めや、強制的な任務の時だけ着用するのです。

庭のほうからは、女城主が、彼女の苦しみを見てほくそえんでいます。

身代わり王女に

幅広い帽子に、短い皮のジャケット、それに、まっ黒なガウンをつけ、手には長い鞭を持っています。女城主は、こういう服装が好きです。

そのそばでは、ひとりの部下が、これもずいぶん変わったファンタスティックは服装で従っています。

「おまえはタヴィア王女にそっくりだね……あのかたが、ルドルフと結婚されたのでは、あたしたちは困るんだからね。おまえは、王女の身代わりになるのだよ」

女城主は、いためつけた彼女の前で、さも憎々しげに、言う

のでした。

敵方のスパイ

からだを王女に似せるために、グウエンドリンに課せられた肉体の訓練は、さらにつづきます。

口を、脚を、いろいろなひどいやり方で直してゆくのです。

哀れなグウエンドリンの美しいひとみからは、涙がキラリとひかるのでした。

そのとき、チラリと小間使いのファイファイがのぞきました。

たちまち、女城主の命令で、小間使いは縛り上げられてしまいます。

ギウギウウとしばられて、床の上どころがれたファイファイの上を、女城主のどがったハイヒールのカカトが、心地よげに踏みにじるのです。

それから、なぜ、話を立ち聞きたのかという尋問です。

ご覧のように、あらゆる苦しみを与えてファイファイは白状するように命ぜられます。

ファイファイは、ルドルフ側のスパイだったのです。

針のイス

「さあ、ちょっとしたドライブにゆこうかね」

好きな人に贈る!!

大人の珍本 送共 千四百円

大人の写真 送共 五百円

書画目録 30円封入の方に送る

東京都新宿局64号(イ) 愛好堂

と、ファイファイをひきたててゆきます。

ファイファイは船底にころがされて、ひきたてられてゆきます。

一方、グウエンドリンは、王女の身代わりに盛装させられました。

mate her and go through the

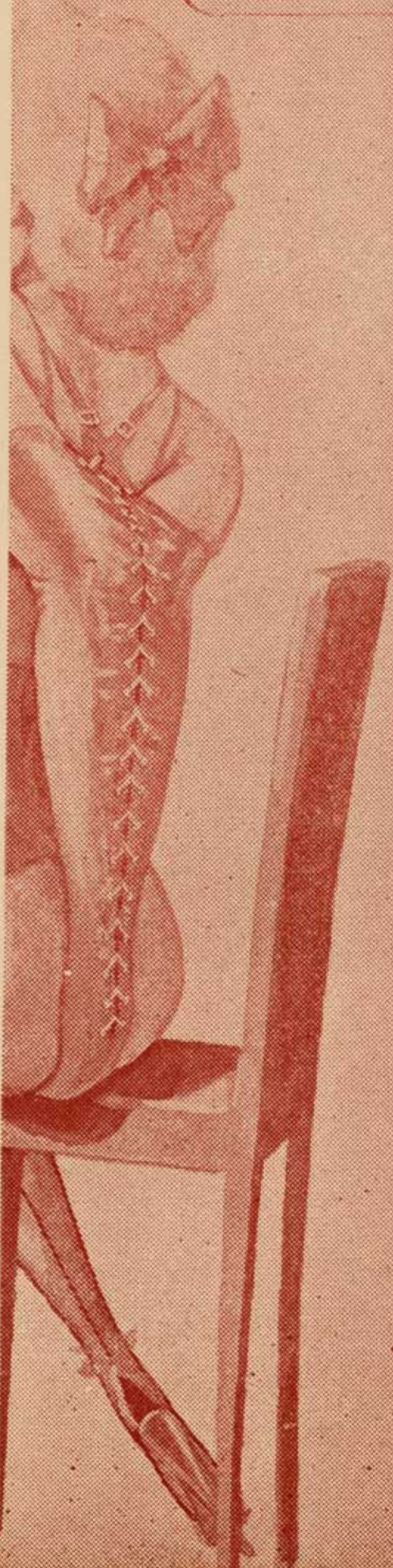
No. I won't do it. I think it's a trick - Now please go.

rdly in a position
little one!
ning with us!
little gag first.

No! - No!!

F! F! Quick!

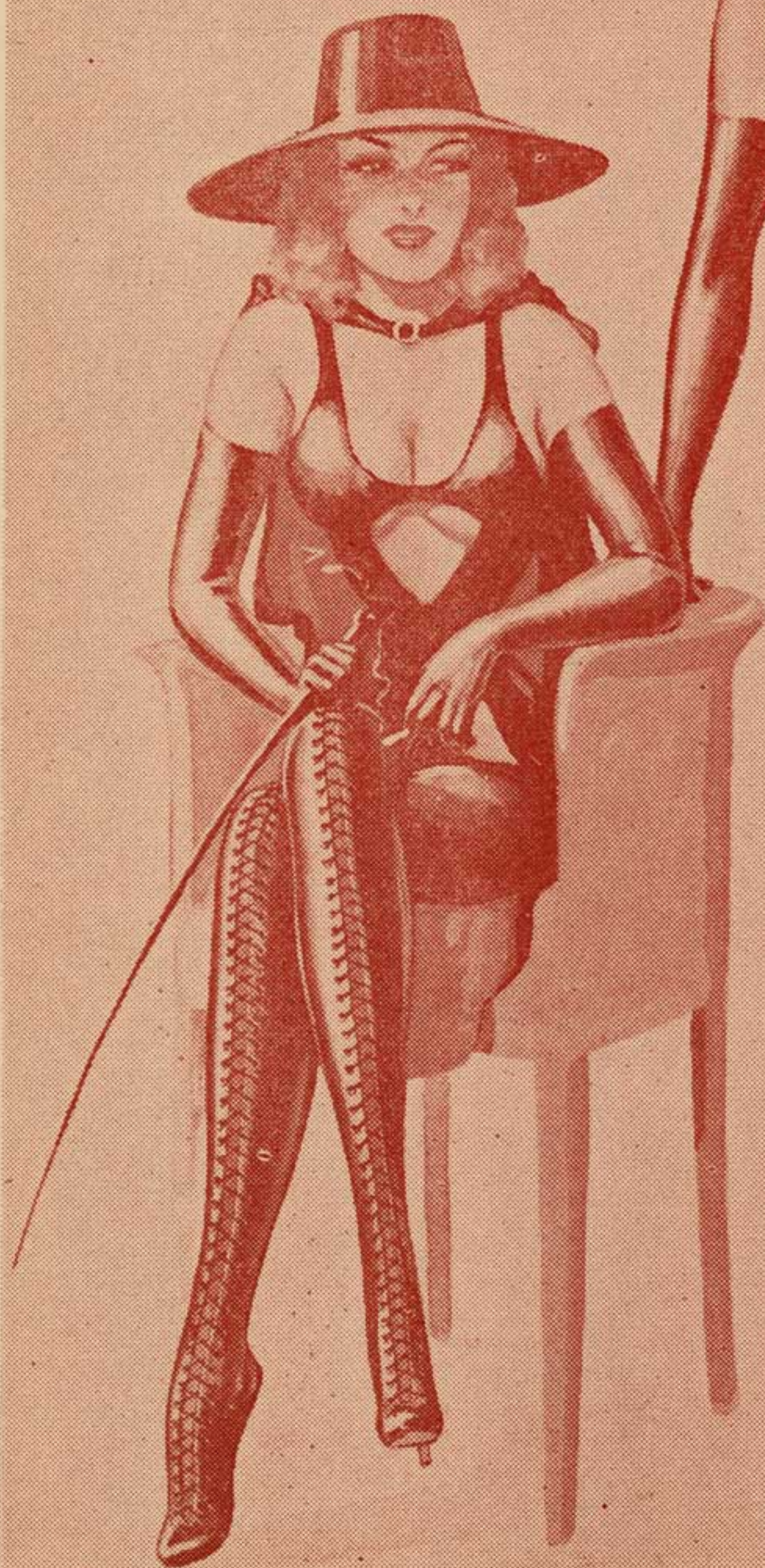
F. I. F. I. !!!

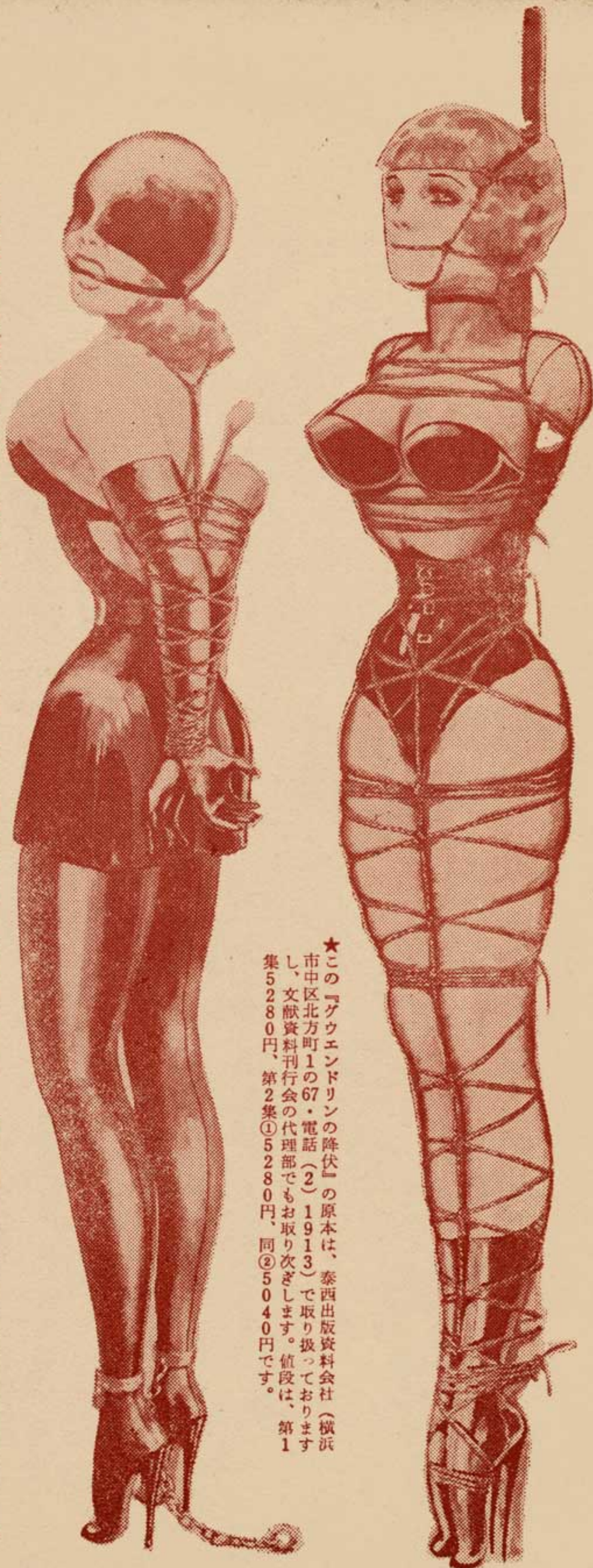


You are the living image of the Princess Livia of Doloria. If she marries Rudolph
will be united - but The Princess has disappeared! - So we want you to impersonate
wedding ceremony - you will be well paid and you can leave as
soon as it is over. The common
people will think you are the
Princess - we alone know
your secret.

Well will you come? We
have a plane waiting only
an hours drive from here.

You're hard
to refuse
You're coming
I think at





★この『ゲウエンドリンの降伏』の原本は、泰西出版資料会社（横浜市中区北方町1の67・電話（2）1913）で取り扱っておりますし、文献資料刊行会の代理部でもお取り扱い致します。値段は、第1集5280円、第2集①5280円、同②5040円です。

しかし、敵側のお城にも、いろいろな処刑具があります。城主の意にさからった女たちは、ひどい目にあうのです。

さらわれてきたタヴィア王女は、針のイスで責められています。彼女は、無理にルドルフと結婚させられようとしているのです。

復讐の責め

そこへ乗り込んできたのは、女城主の一派です。

かくて、ルドルフの城は、女城主に占領されてしまいました。そして、いろいろ設備されていた責め道具は、これまで王女たちを責めていたルドルフ側の女たちに対して、使われました。目には目を、といったところでしよう。

こんな筋書きで、この第2集は終わっています。

このように、ゲウエンドリンは、話としてはあまり複雑でもなく、単純です。むしろ、

二人だけが楽しむ大人の絵本？

好き人の篋底に隠された夜の秘密！

秘められた名画と

禁じられた場面集

この場面をマネしないで下さい！

夜のムードにマッチした 新形式の秘芸画入 千共 五〇〇円

▼カタログ切手30円封入申込の方に急送す

東京都世田谷局二十一号（口） 福寿会

and here is our little Princess, on her throne
 at least it looks like her.
 or is it you? I think we'll
 experiment! -
 Yes- experiment.



さしえのほう
 に話をあわせ
 たという感じ
 のものです。
 けれども、
 ウィリアムの独
 特の画風は、
 サドの人には
 は、緊縛と、
 いろいろな、
 できうるかぎ
 りの方法での
 いじめる光景
 を、マゾ系の
 人には、サド
 的な女性の登
 場、フェティ
 シストには、
 適当な誇張さ
 れた肉体とい
 ろいろな器具
 などによって
 じゅうぶんな
 のしめるもの
 と思います。



(一般市販はいたしていません)



by
Sharp

各種パンティ
カタログ要50円

豊満な肉体に、グーッと食い込む太紐！ 何の操作もなく、はいた瞬間にググーッと、ブラジャーは乳房に、パンティは下腹部と太腿に思い切り食い込んで、柔肌の魅力が妖しくのた打つ、読者待望の『ネオ・エキサイト・アブ・パンティとブラジャー』。

☆ 本誌愛読者に限り特別頒布

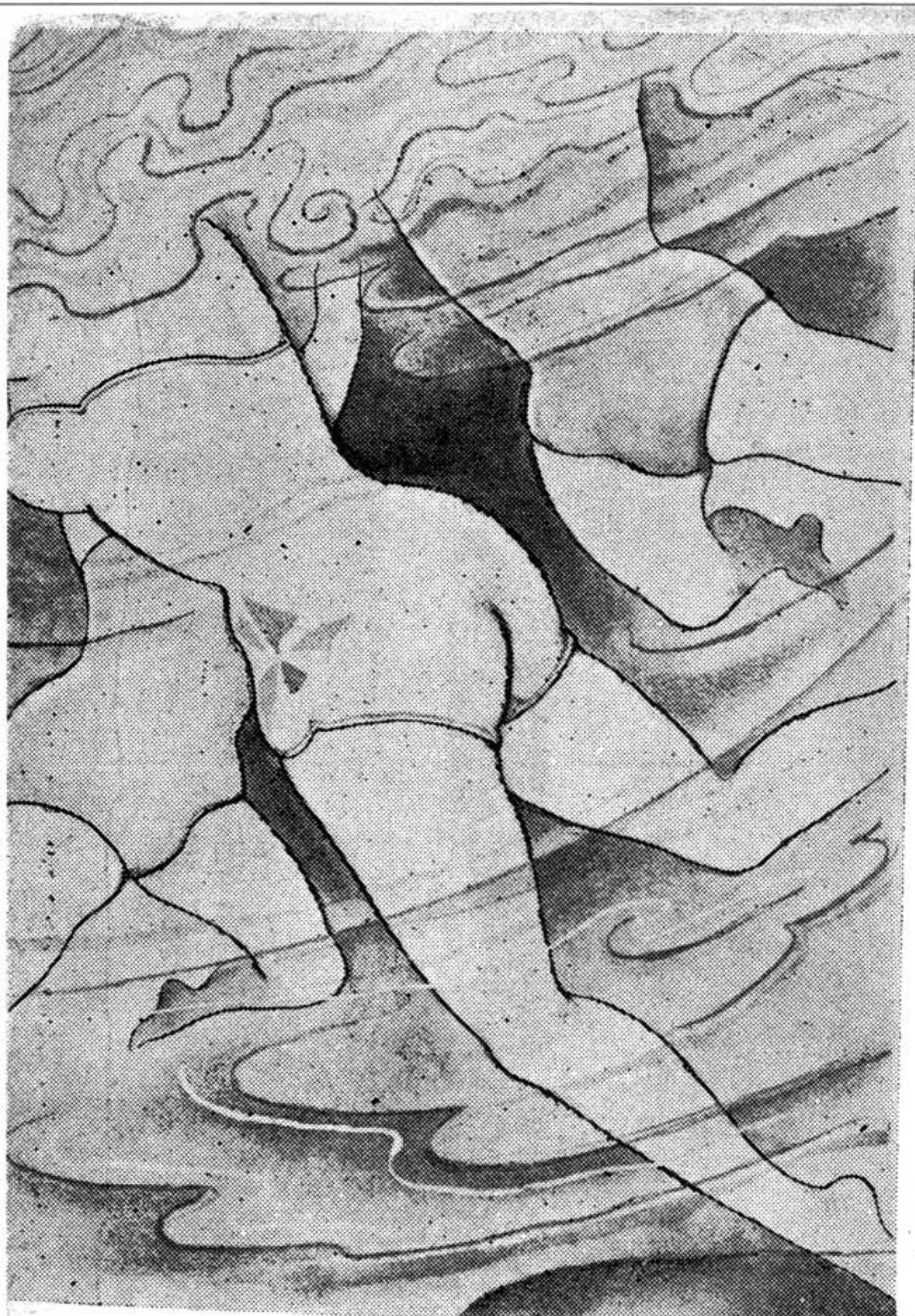
35・37=ブラジャー 36・38・39
=パンティ (いずれも 黒・赤・白の3色あり) 価送共 各700円
ご注文は品番号に尻まわり寸法を記しご希望色をご指定の上、現金または小為替で、必ず書留便で下記へご送金下さい。

シャープ舞台衣裳通信販売部
東京都世田谷区玉川奥沢町3〜74

愛読者券

人間水族

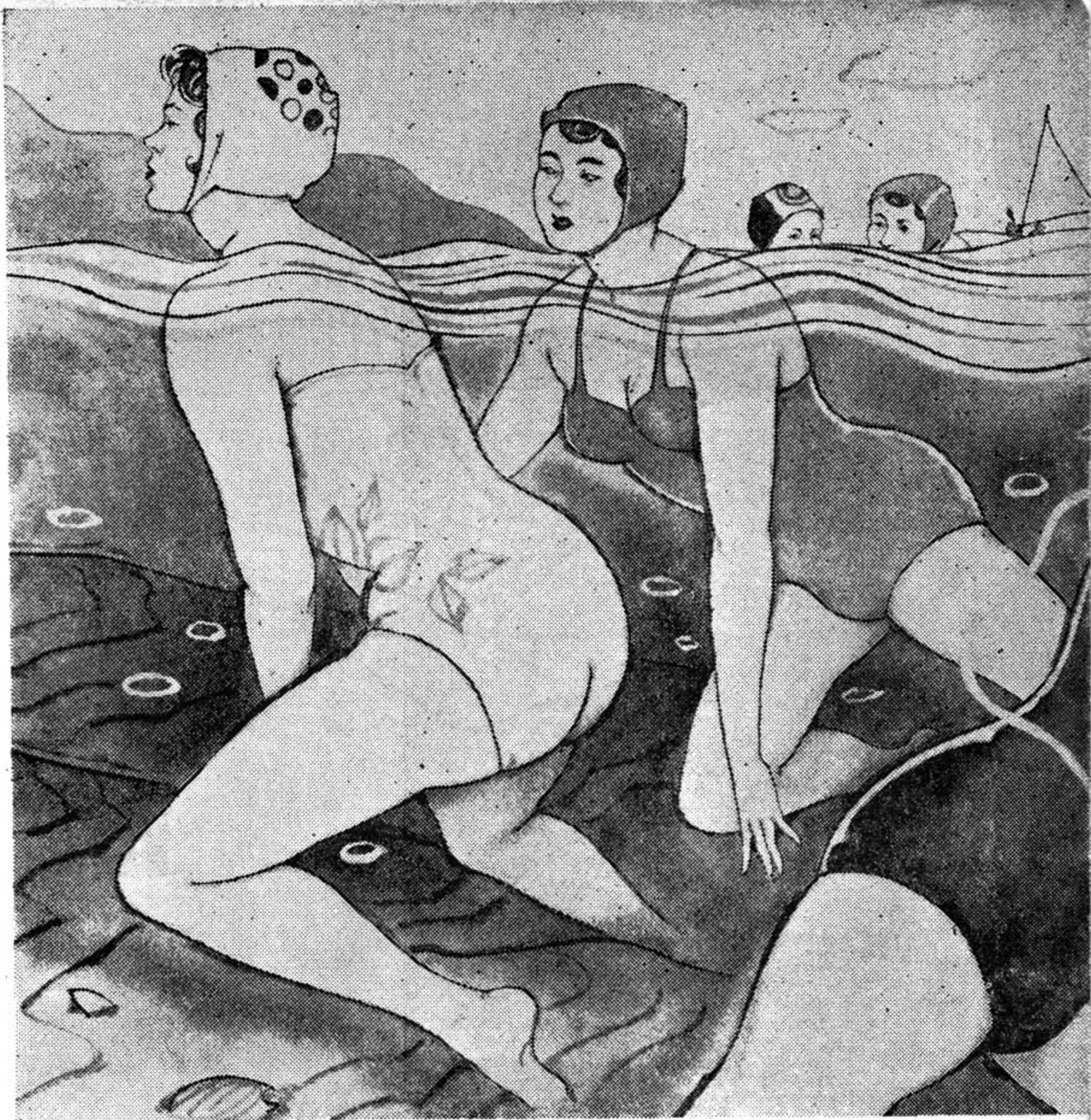
栗橋 慎吾



水の中の女の肢体というものは、どんなに美しくみだらな動きをするものか、知っていますか？

アクアラング（水中肺）という便利なレジャー用品のおかげで、わたしは、この夏は、それを微に入り細にわたり観察することができたのです。

そして、あのおそろしい体験がなければ、この一夏の観察記録は、わたしにとって、このうえもなくたのしい記録になるはずだったのですが――



妖美の魚族

わたしはアクアリングをつけた水中の女体観察魔でした。まいにち、日ざかりになると、獲物をもとめて、ワクワクする心をおさえながら、水の中にはいつてゆくのです。

といっても、アクアリングをつけた大げさなかつこうで、にぎやかに群れている海水浴客のあいだにはいつてゆくのは、なんとなく気がさします。

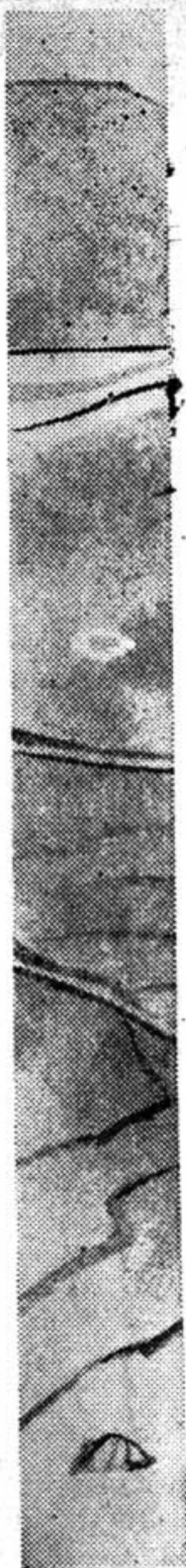
やましい下心をもっているだけに、なおさらそうです。

で、わたしは、海水浴場になっている砂浜のずっとはずれの、あまり人けもない岩かげのところまで歩いてゆき、そこで、そっと海水の中に身をひたすのでした。

そのあたりは水が冷たいのですが、水中を潜行しながら、人の大ぜい泳いでいるあたりにちかづいてくると、急に水温がなまあったかく感じられます。

それと同時に、それまでは海水一色だった視界の中に、しだいに人間の肢体がはい入ります。

あつい水の膜を通して、音もなくヒラヒラと動いている人間の肢体は、不思議な魚類の



ようです。じっと水中に身をひそめたまま、それを見まもっている、音のない夢幻境をさまよっているような、妖しい気持ちになります。

わたしは、美しい女の肢体などを発見すると、それを何メートルかはなれたところから、あかずに観察するのです。

そのうち、だんだん大胆になってきて、

「もっとそばへ行って見てやろう」

と思うようになりました。

ある程度の水深のあるところなら、泳いでいる女の真下に行つて、そこでじっと静止しながら観察することもできるのです。

あるときは、水を蹴る女の足先が、わたしの顔すれすれになるところまで接近してゆきました。そうすると、たとえば足先は触れなくても、女の足が水を蹴るその水圧が、やわらかくわたしの顔を打ってくるのです。

その感じはなんともいえないものでした。

あるときなど、あまり調子にのりすぎて接近したために、女の足がじかに、わたしの頭

をけってしまったのです。

こっちは平気でしたが、女のほうではたまげたようでした。

そんな深いところまで泳いでくるのですから、泳ぎにはかなり自信があるにちがいないのです。しかし、だれもいるはずのない水の底に人間がいて、その頭を蹴ってしまったのですから、その瞬間に、

「きゃっ」

とさけんで、泳ぎのバランスがくずれたらしく、その肢体のリズミカルな動きがとまったかと思うと、こんどは、まるで金ツチの人間が水の中にほうりこまれてもしたように、あっぱあっぱしはじめたのです。

その表情は見るべくありませんが、彼女が心理的なパニック状態におそわれ、そのため泳ぎの平衡感覚をうしなつて、おぼれかけていることはハッキリしていました。

「助けようか？」

わたしは、とっさにそう思いました。

しかし、なんとなくうしろめたく、つい浮

かび上がる時機を失したまま、急いで水中で身をひるがえすと、その場を遠ざかつて行ったのです。

さいわい、彼女はもともと泳げるのですから、心理的なパニックから立ちなおると、

「助けてえ」

とかなんとかさけびながら、水中で付近にいたボートに泳ぎついたらしく、おぼれてしまふこともなかったようです。しかし、潮水の五、六杯は確実に飲まされたようでした。「こいつあ、ちょいととしたスリルだな」わたしは、例の岩かげのところまで戻ってくる、なに食わぬ顔をして浮き上がりながら、そんなだいそれたことを考えたのです。

水中放尿の姿態

わたしは、そんなふうにして、まいにち水の中の女体をながめくらししました。

泳いでいるときの女体は、リズミカルな美しさそのものです。

しかし、海へ来たからといって、そして水の中へからだをつけているからといって、女はかならずしも泳いでばかりいるものではないのです。

女というのは、もともと裏おもてのはげし

いものですが、それが極端な形であらわれるのが、水の中と外です。

水の中にひたされている部分の女の姿というものは、隠されたもう一つの顔なのです。

わたしは水面の上になに食わぬ顔を出したまま、水中で尿を^{によう}している女を何人も見ました。

尿そのものが、地上でするときのようにハッキリ見えるわけでもないし、またしゃがみこんだりするわけでもありません。しかし、よく注意して見ていると、

「ははあ、やっこさんやっているな」

ということが、なんとなくわかるのです。

それどころが、わたしがさらに子細に観察したところによると、かすかな水の動きによって、尿そのものの動きさえ、それと見わけることができるのです。それが放出される通路に手をさし出すなどすれば、それはもっとハ

ッキリわかるでしょう。しかし、そうまでしなくても、その肢体の動きぐあい（静止したぐあい——といってもいいのですが）や、かっこうで、それと察することができるようです。

ある女は両手でかるく水をかき、砂底に立ったままバランスをとりながら、しずかに尿を出していました。

ある女は、しゃがみこむように水の中で大きく股を割って、それをしていました。

またある女は、バレエダンスのある種のポ

ーズのように気どった足つきで、それをやっていた。そしてどれもこれも、このうえもなく心地よげな陶酔の表情をみせていたのです。

まさか、水中でランランと光る二つの目が、それを観察しているとは知らないのです。それにしても、彼女たちのそんな肢体を見て

「アラそう？ まあイヤね。ホホ」

などと、オシッコなんかしたこともないよ



うな気どった顔つきが思い浮かべられて、女というものの偽りの深さに、いまさらのように罪深いものを感じたのでした。

もっとおどろいたのは、沖で、ゴムボートにつかまったまま、あいている片手をつかって、おたがいについていたわりあっている一組の男女を見たときでした。

あの、水にゆらぐ海草のような、えもいわ

れない全身的な陶醉の表情は、見ているこっちまでうっとりするくらいです。海水にたひした全身が、サトウのように溶けてゆくみたいでした。

「宝さがし」の楽しみ

わたしの水中散歩も、だんだんいろんな趣向をこらしはじめるようになりました。

ただ漫然と水中にもぐって女体を観賞するだけではつまらなくなって、しまいには、わたし自身で「宝さがし」と呼ぶ、一種の手のこんだ方法でたのしむようになりました。

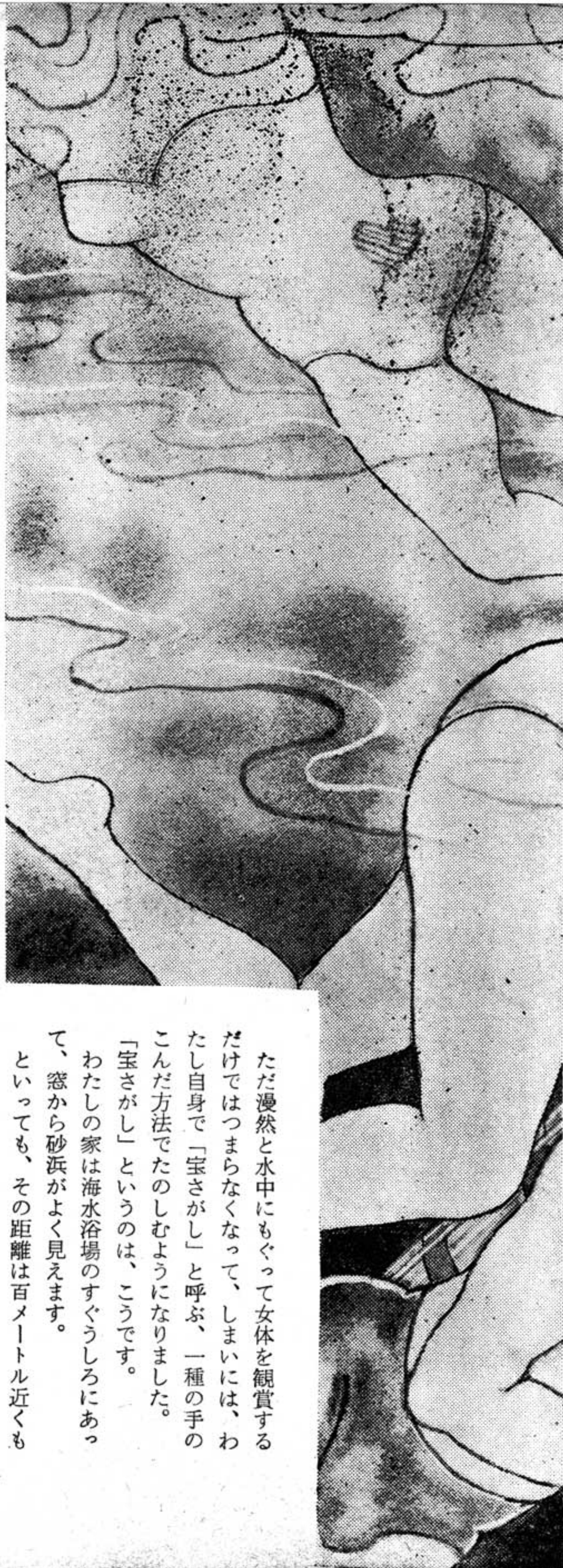
「宝さがし」というのは、こうです。

わたしの家は海水浴場のすぐうしろにあって、窓から砂浜がよく見えます。

といっても、その距離は百メートル近くもありましょうから、人の顔なんて見わけがつかみません。ただ原色をブチまけたような水着の群れが見えるだけです。

それでも、わたしが愛用しているすてきに倍リツの高い望遠鏡でのぞいてみると、ぎょっとするくらい近いところに、人間の顔が拡大されて見えるのです。若い女が、望遠鏡のレンズの中で艶然と笑います。

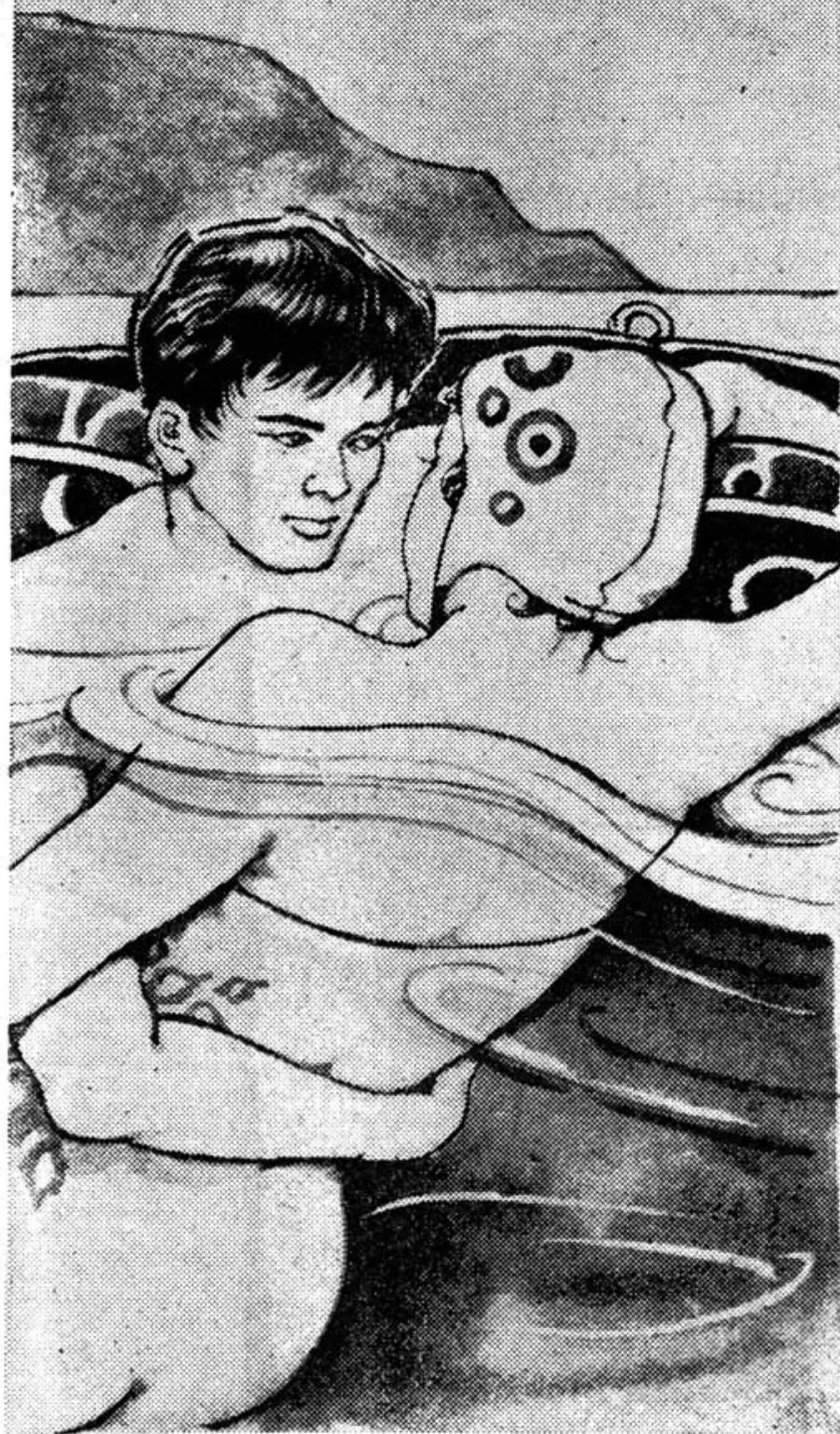
それはまるで百メートルの距離をこえて、



わたし自身に笑いかけたり、話しかけたりしているようです。

それはまるで百メートルの距離をこえて、わたし自身に笑いかけたり、話しかけたりしているようです。

声がきこえるはずはないのに、その唇の動きを見ていると、話し声や笑い声がきこえるような気がするのも不思議でした。



わたしは、これは——と思う女を望遠鏡でとらえると、まずその顔、それから全身をあぐことなく観賞する。乳房のふくらみとか太腿の隆起など、女体のアクセントになりそうな部分は、もちろんハッキリとわたしの脳裡にやきつけておく。

もう一つのキメ手は、彼女の水着とか帽子などです。その色彩やデザインを、これもハ

ッキリ頭の中にきざみこんでおくのです。要するに、どんな人ごみの中で彼女に会っても、すぐさま彼女だとわかるくらい、そのあらゆる特徴をつかんで忘れないようにしておくのです。

それから、彼女がたむろしているビーチパラソルの位置もおぼえておく。だいたい海水浴にきた人たちは、自分たちのパラソルの前面あたりの海で泳ぐものだからです。

さて、そうやって彼女の姿をしっかり頭にきざみこんだら、そこで望遠鏡をはなす。はなしたら最後、数万の裸形の大群の中にまぎれこんでしまった彼女は、砂浜に落ちた一粒の砂のように、捜すすべもない感じでした。

つまり、それをノコノコ出かけていって、現場で捜し出そうというのが、わたしのいわゆる「宝さがし」だったのです。

わたしはまいにち、異様な執念で、その宝さがしに従事しました。はじめ、望遠鏡の中で映像としてとられたその顔を、からだを、実体として目のあたりに発見したときの、のけぞり返るようなよろこび。だが、そのよろこびを味わうためには、じつに辛抱づよいことが必要だったのです。

こんなよろこびに痴れ切っていた、夏も終

わりにちかいある日のこと。

わたしは、もう夕方ちかく、だいぶ人の姿も少なくなった海水浴場付近の水中を、例によってアクアラングをつけて散歩していましたが、そのうち、沖を泳いでいるすばらしい一つの肢体を発見したのです。

人むれを遠くはなれて、そのあたりまでひとりで泳ぎだしてきているのは、よほど泳ぎに自信があるのでしょうか。その美しい肢体と泳ぎはリズムカルにとけあって、まるでシンクロナイズド・スイミングを見るようです。

わたしは恍惚として、彼女の姿を、その真下から、また横から、あかず観賞しつつたのですが、しまいには、その顔をみたい、やみがたい欲求にかられ、相手をおどろかすことを覚悟のうえで、その前にぼっかりと浮きあがったのです。そして、そのとたん、わたしは見たのでした。人けのない夕日の海面に、沖のほうを向いたまま赤々と照らしだされて浮かんでいる鬼女の面を……

その瞬間、わたしは「あ、ウウ」とうめくと、急にあたりの海水がゾッとつめたく全身をおし包んでくるのを感じ、そのまま気を失ってしまったのです。あの美しい水中の胴体と鬼女の面との秘密は、いまでもナゾです。



読者の広場



男性拷問の写真を

ぼくは三年前、中野区内で書店を開業しました。そこで初めて「風俗奇譚」を見いだし、熱心な愛読者になりました。それは、ぼくが求めてやまなかったオアシスであり、夢の実現でした。

そんなぼくの前に「画報風奇」第14集7月号にたくましい男性美のヌード緊縛写真が掲載されていることを知り、感激しました。

しかし、貴誌では、パンティ一枚にされた男性が、サド女性からがんにがらめにされパンツをずりおろされて拷問を受けているとか、または、浣腸責め

をされているマゾ男の写真が少ないことは、小生のようなマゾにとっては残念に思います。ぜひ次号から、一葉でも貴誌にこの点のフォトが見られることを希望します。(東京S生)

だれかぼくを愛して

小生は二十二歳の勤め人です。毎号貴誌の発売日を楽しみにしております。

小生は異性には全然興味もなく、したがって、男性にだけ心がひかれます。ところで、小生は、男子の肉体の各部に興味があり銭湯などで、よく均整のとれた男らしい雄器を見たりすると、無性に、責め、責められたくなるのです。

どなたかぼくを愛しいじめてくださる男性はおらないでしょうか。もし、そのようなかたがおりましたら、まじめに交際したいと思います。(東京・大沢 昭夫)

赤禪をわけてください

わたしは禪愛好者です。戦時中は別として、最近サラシの六尺禪をしめている男が少なくなつたことは残念です。パンツとちがい、ピッタリ股間にきつくような、あのすばらしい感覚は、マニアでないといわれない。

この禪は、なんといってもサラシのものが清潔感があってよいのですが、赤禪も魅力的である

ることを知りました。でも、赤い布地を買うことが恥ずかしいため、つい買いそびれてしまいます。

そこで、どなたか、赤禪をお持ちのかたがおりましたら、ゆずり願いたいのです。古くても結構です。(栃木・明石)

女主人がほしい

愛読者のひとりです。二十五歳のサラリーマンですが、ぼくを召使ってくださる女主人をお世話ください。

どのような苦痛にも耐え忍ぶつもりです。たとえば、もしぼくを使ってくくださるのでしたらご主人である奥様の指揮で、家のそうじから、トイレの清掃も、手をよごしてでもいたします。

奥様や女中さんの下着の洗たくは、ぜひやらせてください。一日の仕事が終わりましたら、奥様からいろいろな訓練をお受けしたいのです。

たとえば、奥様のお尻の下で顔を踏みつけられても、ぼくは絶対服従いたします。もし、それによって悶絶してもよいと思えます。こうした訓練が許されたら、ぼくは小犬のように奥様

のベッドの下で休みたいと希望しております。どなたか、このような女主人をお世話ください

(山形・佐々木 邦)

フンドシ会の誕生を

小生は二十二歳の禪マニアです、一年ほど前に貴誌を知り、六尺禪を締めました。

はじめは、締めるコツがわからず、ただ巻きつけるだけでしたが、いまでは、股間にしめつけ尻に力いっぱいくいこませ、文字どおりキンコン一番、張り切った毎日を送っています。そこでぜひ禪愛好者の会をつくっていただきたいのです。六尺禪一本の姿で語れる会が生まれることを、お待ちします。一日も早く設立してください。

(東京・舟木旭一)

西牧嬢の切腹を

先日、貴誌を書店で購入したところ、いろいろ変わった風習があることを知りました。そこでわたしなりの希望を書いてみました。

① 一糸まとわぬ全裸の女モデルは少しひどいように思います。モデルさんがきのどくで

す。乳房を露出するくらいにしたほうがいいと思います。

② 凄艶切腹の図は、たいへん美しいと思います。村上さんのポーズは少し足を開きすぎると思う。やはり、正座して作法に従って切腹すべきでしょう。

③ 今後は縛りのほかに、切腹の場面を多く入れていただきたいものです。なお、希望としては、西牧えり子嬢のぜひ掲載していただきたいものです。

以上、わたしなりの希望を書いてみました貴誌のご発展をお祈りします。(大分市・石井生)

苦痛の表情を

貴会刊行の「風奇」および「画報」は、ますます内容の充実をみせていただき、編集部のご尽力に感謝いたしております。

そこで、貴刊の充実の一助として、小生の希望をぜひ記載させていたいただきたいと思います。

① 海老貴めの写真なのですが、完全な海老貴めがないのは残念です。児玉、大和、別府氏などもないへんでしょう

が、もう一歩ご努力をお願いいたします。総体に写真に苦痛の表現を出していただきたい。ポーズだけでは迫力がありません。表情に苦痛がほしいものです。

② 男子モデルの魅力は、なんといっても筋骨りゆうりゆうたる男性美にあることは言うまでもありませんが、毛深いモデルをなんとか掘し出して禪姿で緊縛してほしいものです。

③ 芦立氏(別名・菅良太氏)の健筆を祈ってやみません。(東京・吉野良一)

なかでも、ヌートリクス・フトに興味をおもちのマゾ女性、もしおられたら、わたしの専属モデルになっていただけないでしょうか。

わたしは目下さし絵の勉強中で、よき協力者がぜひほしいのです。

秘密は必ず厳守します。略歴と近影など封書にてお願いいたします。(東京都中野区住吉町一〇、山川方・中田 明)

霧島さんの責めを

「画報」七月号を拝見、ニューモデル霧島さんの登場をよろこ

ぶ。貴社のピカー、児玉さんと並んで、大いにがんばってください。

霧島さんは、児玉さんより、ちょっと毛深いらしいですね。そこでボクが希望したいのは、霧島さんを使った禪縛りを、また次号で拝見したいと思います。そのアイディアとして、高小手小手にしぼり上げ、きつくサルぐつわをはめ、毛むくじやらの尻に痛いほど禪がくい込んだ時の苦痛にゆがんだ霧島さんの表情を、写真に撮っていただきたいのです。この実現を編集部にお願ひいたします。

(千葉・黒沢 輝)

児玉さんに叱られたい

画報6月号に、ひさしぶりに児玉さんの写真を拝見、うれしく思いました。

あなたは、木馬にまたがってサポーターをしていましたね。あれは、フランなので、宝物の線もくっきり出ています。実にすばらしかった、ぼくの魂をうばってしまうほど魅せられました。

ただ、児玉さんのサポーターの近くにモデル嬢の顔が写って

いるのをみたぼくは、しつとを感じました。怒らないでください。

でも、児玉さんが怒ったらどんなにかすてきだと思えます顔だけではなく、あなたが怒ったら、からだのすみずみまですばらしいことと思います。

児玉さん、ごめんなさいネ、しかられてもいいのです。怒ってください。あなたにしかたられ、ボクはどんなに幸福でしょう。

(東京・細悟健一)

西牧嬢の緊縛を誌上に

貴誌の写真を見て、とくにわたしを感じるモデル嬢のうち心をとらえるのは、なんといつても、西牧えり子嬢の表情がいいと思います。

そこで、編集部にお願ひしたいのですが、西牧嬢の緊縛シーンを大きく扱っていただきたいと思ひます。本を横にして見てもよいですから二ページにしていただけないでしょうか。

「被虐の白い花びら」もいいですが、しかしいずれも足を前に曲げていますが、中には腹部を突き出して弓のようにそりかえっているのもあってほしいもの

です。

また、パンツも、もっと小さいのを使用していただき、それを、足のほうにずり落としたほうが魅力があると思います。その点「落花の白肌」のノーパンティーはいいと思ひました。

(広島・河内竹夫)

私を理解する男性を

貴誌7月号は、男性ヌードがもりたくさんで、非常にうれしかったです。

ことに、児玉氏の四ツんばいになった後方からの写真には、魅力を感じました。

久留米、小柳氏のポーズは、児玉氏と比較するとやや魅力薄という感じ、これは禪一つで何か仕事をしているように、仕組んだほうが実態がでるのではないのでしょうか。ご考慮をお願いします。

なお、僕は禪一本の男性ヌードの愛好者の一人です。私を理解する男性と文通、交際を求めています。誰方かおりましたら。

(東京・藤原元次)

防空壕で緊縛を

緊縛フォトですが、同じようなシーンが多すぎるように思え

夫婦和合の秘器

NEO

ワゴリング



(新案特許出願中)

性に悩む男性に朗報!!

本器を使用すればアナタの悩み即日解消! 専門家も断然推奨す

★勃起不全に対して
本器使用数分内に完全隆起し且つ射精後も萎縮しません。

★短小の方に対して
本ワゴリング使用数分内に局所は驚く程膨大します。

★早漏の方に対して
本ワゴリングを(併用)により絶対に30分以上持続し効果絶大!

空前の反響を呼ぶ!
▼週刊新潮3月23日号及び夫婦生活等に紹介され、益々反響話題を呼ぶ新製品! 本器は(取付けたまま使用)するので効くのは当然! 而も長年月使用しても副作用又は使用感がありませんから全く理想的です。
アナタの性能を即時10倍にする新製品ワゴリングをスグ御使用下さい。
ハガキで申込次第カタログ無代進呈致します。
▼定価送料共一組11,350円
(個人名で急送します)

短小のポテビル療法!

★画期的構想による最新式
短小増大器の発明!
男性器発育不全、短小のため失望せる方は、最新式真空治療法「ラージ増大器」の出現により局所の肥大、伸長を図り、大なる喜びを得られよう。
●定価一組11,450円(荷造、送料サービス)

ラージ真空増大器

手芸品

おみやげ
贈物に...
大好評!!

名産 肥後

九州名産品

★好評新発売★

特製品7種1函...850円で急送!

- 性力チョコレート! 普通板チョコと同一で、食べて30分位で性的亢奮を示す! 男女共有効! 六枚入り...六五〇円
- オットセイ丸末 驚異の一夫多妻のオットセイの睾丸を粉末とせる性力の王者! 一函...千円
- スポンチ式スキン 従来のスキンの外面に微細なるザラザラを付す好評品! 一ダース...三〇〇円

東京都杉並区神戸町128
株式会社 療養の友社
電話(398)4679 替振東京118443
(高田馬場より西武線井荻駅下車 徒歩2分)
(荻窪より井荻駅行バス5分、柿の木町下車)



画報風俗奇譚

△在庫のお知らせ△

各号とも在庫が少なくなつてまいりました。お申し込みは、お早めに、現金書留か振替が確実です。

△36年分△

画報風俗奇譚・第14集

七月号 (一八〇円)

表紙Ⅱローマンバス……………
 色彩写真Ⅱ岩上の縛女・波につ
 けられてハモデル・なぎさ純
 子・真咲みどり▽
 色刷口絵Ⅱ墓場の線香責めハ田
 上恵子・え▽
 グラビア①Ⅱ(男性悦唐ポーズ
 集)鎖しぼり・つんのめった
 禪男・はだかのポーズ・ふた
 りしぼり・木馬責めのあとで
 ・首と足と一緒に・どんとこ
 い・腰かけるハモデル・霧島
 茂樹・児玉幹也・御堂紀久・
 市川正二▽
 グラビア②Ⅱ(悦唐の肌くらべ)
 縄のデュエット・悦悶のポー
 ズ・寝巻き乱れて・タヌキし

画報風俗奇譚

4月臨時増刊号

伊藤晴雨追悼特集号として放つ
 迫真の緊縛フォト一五〇ポーズ
 と東西古今秘画の豪華集大成

定価 二八〇円

ばり・首をひっぱる・ある陶
 酔の境・岩の上で・魅縛3態・
 手ひもしぼり・木馬は痛い・
 野の縛姿・静かなる仕置き・
 裸身恥ずかし・女のレスリン
 グ・T字型に……………
 画集Ⅱ男の世界ハビル・ヤック
 レーンほか▽
 緊縛写真が生んだ幻想 女を責
 める画集Ⅱしぶき責め・海に
 つける・木馬責め・エイヤコ
 ラ・追いつめられて・階段の
 責め・野原の杭に……………

画報風俗奇譚・第13集

六月号 (一八〇円)

ルイス・アピラとその作品……
 踏んでちょうだい春子さん……
 処刑無頼……………
 美少年はオレがいたたくぜ……
 緊縛協会の奇妙なフアッション
 ショウ……………
 ムチをふるう売春婦……………
 諸国責めばなし④……………
 江戸城大奥の無残地獄……………
 スートリクス・フォト・ギヤラ
 リ……………
 表紙Ⅱ快楽の果てに……………
 色彩写真Ⅱ首を責める……………ハモ
 デル▽高月まゆみ・児玉幹也
 色刷口絵Ⅱ乳房突き・ハシゴ責
 めハ田上恵子・え▽
 グラビアⅡ木馬責めの少女・入
 り組んだポーズ・おびえてい
 る・艶美なる切腹・細い紐の
 模様・受縛の置き物・つい立
 て責め・ハシゴしぼり・長々
 と縛られて・艶縛のひと・恥
 ずかしい姿態・緊縛の背面・
 緊縛の正面・木馬に乗る女①
 木馬に乗る女②・ころがされ
 て・半裸のゴム紐縛り・白い
 縛魚・青い愁いびと・縛悦の

画報風俗奇譚・第12集

五月号 (一八〇円)

時間・縄が呼ぶ陶醉・次は水
 責め……………
 ルイス・アピラシリーズⅡ鞭を
 もつ女・縛られた女3態……………
 男性緊縛悦唐のポーズ集ハグラ
 ビア▽Ⅱのしかかる・あたし
 の犬・縄と足の加虐・二つの
 性向・我はマゾヒスト・男の
 魅力・縛られ男・足引きの責
 め……………
 凄艶責め絵4人集Ⅱクサリをま
 とってハ田上恵子▽・谷川づ
 け・カマ抱きハ古正英生▽・美
 しき人間椅子・人魚責めハ江
 馬美久▽・背中を焼くローソ
 クハ小田利美▽……………
 妖美な展覧会Ⅱ便器のそばの少
 女・うがいする男・女の夢ほか
 サド女性に縛られた女装男……………
 諸国責めばなし③……………
 復讐される女たち……………
 お仕置きされる美少女……………
 表紙Ⅱバイロス秘画……………
 色彩写真Ⅱ自己陶醉・ふたり愉
 悦・ひとり燃えてハモデル・
 真咲みどり・なぎさ純子▽……………
 グラビアⅡ緊縛二重奏・セーラ

服乱れて・制服落花・長火鉢
の側で・草はらで・スタンド
の上に・魅縛の白魚・碁盤い
じめ……………ほか
妖美の花園に咲く姿態Ⅱ縄の妖
美・柱しほり2態・柵に置か
れて・靴のまま……………ほか

女装紳士録②……………ほか
ヌートリクス画廊……………ほか

特選絵物語Ⅱ驕れる美少女ドラ
・黒眼鏡の野獣……………ほか

グエンドリンの降服と冒険……………ほか
諸国責めばなし②……………ほか

バラダイス・イン・スパンキング
風変わりな展覧会Ⅱ秘密の申し
込み・レスボスの花園・奴隷
市場・ムチを持つ女・男たち
を支配する女・サディストの
夢・淫楽殺人ハアルベエル・
モロオ、藤田嗣治、ルネ・サン
メルシ、ジョン・ウイリー、
F・セケス、K・ヴァンゲン、
デックマンV……………ほか

画報風俗奇譚・第11集

四月号（一八〇円）

表紙Ⅱバイロス秘画……………ほか
色彩写真Ⅱ林の中で・祠の前で・
崖の上で・稲叢の前でハモデ
ル・島崎ユカ・村上ユキ・牧



アンナ・ほかV……………ほか
グラビアⅡ石どうろう縛り・静
かなる受縛・縛られた寝姿・
格子に縛られて・エビまがい・
機械の側でほか……………ほか
ヌートリクス画廊……………ほか
アゾンの会の男性征服……………谷貴太
諸国責めばなし……………芦立鋭吉
もう一つの世界……………ほか

画報風俗奇譚・第10集

三月号（一八〇円）

表紙Ⅱハレムのサルタン……………ほか
色彩写真Ⅱ艶縛クワルテット……………ほか
グラビアⅡコタツに乗せる・雪
中縛女・戸外は雪と氷……………ほか
尻打ち天国・男の尻打ちに興ず
る女・ボクサーと女トレーナ
ー・スパンキング……………ほか

画報風俗奇譚・第9集

二月号（一八〇円）

表紙Ⅱボタン止めの長靴の女……………ほか
色彩口絵Ⅱ肌もあらわに、ほか
グラビアⅡなまめかしき縛女・
全裸のいけにえ……………ほか
女性刑罰史絵巻・海老責め無残
かきなわとりしめ……………ほか

画報風俗奇譚・第8集

一月号（一八〇円）

表紙Ⅱモルヒネ……………ステファン
グラビアⅡ盛装無残・妖美のベ
ッド・古風な花・腹切り悶悦

35年分

画報風俗奇譚・第7集

十二月号（売れ切れ）

表紙Ⅱステンドグラス……………ほか

画報風俗奇譚・第6集

十一月号（一八〇円）

多色口絵Ⅱ石橋の上にほか……………ほか

画報風俗奇譚

1月臨時増刊号

アブチンク名画を特集とし、ほ
か読者垂涎の女性緊縛写真多数
をグラビアに収載する迫力版

定価 二八〇円



第1グラビアⅡ壁上の呪縛ほか
第2グラビアⅡはなやかな縛虐
第3グラビアⅡ華麗なりハリツ
ケ・受縛の表裏ほか……………ほか
責め絵集Ⅱ吊ってくすぐる・ア
リ責め・丸太流し……………ほか

画報風俗奇譚・第5集

十月号（一八〇円）

多色写真とグラビアフォト多数
奇妙な絵画展覧会……………ほか

画報風俗奇譚・第4集

九月号（売れ切れ）

画報風俗奇譚・秘蔵版

（二〇〇円）

多色刷り写真と多色刷り口絵……………ほか
責め絵画集と緊縛写真集……………ほか

画報風俗奇譚・第2集

（一八〇円）

多色口絵写真と口絵写真集……………ほか
グラビア鮮烈緊縛写真集……………ほか

『風俗奇譚』在庫のお知らせ

ご注文は現金書留か振替為替がご便利です！

△36年度V八月号(一五〇円)

多色口絵II白い肌をよごしてやるんだ……
グラビアII裸身痛まし・海辺のふたり緊縛・椅子の残虐・床の間も責め場・緊縛の表情・足を責めるほか……
特集IIフェチズムの人たち……
珍奇収集館主人……
わが愛するお尻……
ふんどし・マニアの女……
レザ・フェチの女たち……
写真・残虐なるサディストン……
ハンブルグの血に狂うインゲボ……
あたしはレスボスに命を賭ける……
ムチに生きる令嬢……
ほも禁秘帖⑩男色者の異性関係……
女装者の告白手記……
浣腸とお灸と縛り……
中世紀の拷問諸刑具のいろいろ……
田上恵子・女体責め絵画集……
全裸美女の凄艶切腹図絵……
連載小説・炎帝廟・虐殺指令・悦虐の彷徨……
サロン・マソキスチカ・ホモの窓・女装愛好の部屋ほか……

七月号(一五〇円)

多色口絵II赤いハイヒール……
グラビアII縛悦の姿態・魅虐の世界・足責めのポーズ・受縛の白い人魚・女学生サディストン・うしろ方形縛り・木馬上の六尺姿・ポイント白禪……
特集II責めさいなまれる女と男……
お銀母娘しぼり……
乗馬服を着てのプレイ……
夫のお仕置きがうれしい……
女体を責める……
アブの世界のプライバシー……
サロン・マソキスチカ……
悦虐の果てに……
ホモの窓・女装愛好の部屋……
わがいとしき友に……
ほも禁秘帖⑨初会の生感……
マゾヒストの手紙から⑫……
浣腸ふたりプレイの記……
ノーマルとアブノーマル……
私の好きな被虐の見せ物……
ハイヒールのワンダ……
女装講座・女の肌をつくる……
続・ある完全女装……
イギリス近着フォト……
犬を連れた若奥さん……
白と黒の交感……
連載小説・炎帝廟③・虐殺指令……

悦虐の彷徨③(一五〇円)

多色口絵II美しきいけにえ……
グラビアII妍を競う艶縛姿態集……
しごきで縛られて・寝乱れ縛姿・全裸に縄が・縄の悶悦・縛られたポリウム・男の縛りプレイ・踏んづけ海老責め……
六尺と縄の魅惑……
特集II女装に陶醉する男たち……
ああ女装の夜はふけて……
男性の心の底に眠る女装願望……
女装する男たち……
女装のあたしを誘惑した男……
女装花ひらくとき……
限らない女装へのあこがれ……
私の女装のお師匠さん……
ある完全女装……
マゾヒストの手紙から⑪……
ふたりのマゾヒストの女……
サロン・マソキスチカ……
ホモの窓・女装愛好の部屋……
ほも禁秘帖⑧……
フアンタジック・ショート……
夜行動物……
女性の残虐なる責め場集……
怪奇人形館の秘密と恐怖……
浣腸のある風景……
豊満な白いお尻の魅力……
女体に加えるウナギ責め……
連載小説・虐殺指令・炎帝廟②……
悦虐の彷徨②……
五月号(一五〇円)……
多色口絵IIムチをふるう女……

グラビアIIふたり縛り、制服は嘆く・狼藉の一瞬前・荒縄が肌を噛む・どうされるのかしら？・悦虐の時が来る・羞恥のなかから・首輪につながれて・縛られた男・ムチ打つ女……

特集II鞭に憑かれた男と女……

鞭打の魅惑……
鞭は生きて……
だれも持っていない鞭の関心……
ムチで鍛えられた女……
あたしの鞭打の獲物……
ムチと皮紐の一夜……
ふくよかな処女の尻に……
愛と復讐と鞭と……
6人の受難の女……
灼熱地獄・冷水地獄・生きて……
いる的・ふたりさらし……
ほも禁秘帖⑦狂崇の対象……
同性マゾヒストとの会話……
ヌートリクス画廊……
乗馬マニア9人の女たち……
ヌートリクス・コーナー……
女騎手強制調教所……
サロン・マソキスチカ……
ホモの窓・女装愛好の部屋……
あたしは肉体まで女になった……
猫責め地獄……
連載小説・炎帝廟・悦虐の彷徨……
四月号(一四〇円)……
多色口絵II赤い靴のドミナ……
グラビアII太鼓しぼり・木にく……

★迫るローソクの炎(略P3) 三枚三〇〇円
★全裸責めの魅惑(略P4) 三枚三〇〇円
★晴れ着もあらわに(略P5) 三枚三〇〇円
★股裂き三人選(略P6) 三枚三〇〇円
★肌くらべ全裸縛り(略Q1) 三枚三〇〇円
★花ひらく受縛天国(略Q2) 三枚三〇〇円
★血みどろのリンチ(略X8) 五枚五〇〇円
★悦 虐の表情(略X9) 三枚三〇〇円
★本格吊るし責め(略X10) 三枚三〇〇円

[illegible]

▼鼻責め嗜虐(略N6)三枚三〇〇円
▼哀花受難(略N7)三枚三〇〇円
▼制服の少女虐め(略N8)三枚三〇〇円
▼悦虐の園の女(略N9)三枚三〇〇円
▼棒責め立ち姿(略N10)三枚三〇〇円
▼棒責めの伏姿(略N11)三枚三〇〇円

▼乳房地獄責め(略S1)三枚三〇〇円
▼腹部への嗜虐(略S2)三枚三〇〇円
▼悶姿の祭壇(略S3)三枚三〇〇円
▼ゴムひもの責め(略S4)三枚三〇〇円

▼砂浜荒縄しばり(略T5)三枚三〇〇円
▼あばらやの恋縄(略T6)三枚三〇〇円
▼碁盤責め三態(略T7)三枚三〇〇円
▼野外十字架縛り(略T8)三枚三〇〇円
▼犬になった女(略T9)三枚三〇〇円
▼車中の拘束(略T10)三枚三〇〇円

▼裸身は嘆く(略U1)三枚三〇〇円

△サデイスチンのポーズ▽

☆女王様としもべ(略W1)三枚三〇〇円
☆ドミナのムチ(略W2)三枚三〇〇円

いずれも三枚一組です

サド・マゾ・フェチシストにひそかに贈る 泰西出版資料の2大コレクターズ・システム



第1類 ヌートリクス社版出版物の中から
最上の選択で毎月定期的にお手元に
最低の費用で資料をおとどけます。
全30回 30カ月にわたる月ぎめ
コレクション

初回 5000円, 以後毎月 2000円

第2類 ヨーロッパの同好者が贈る個人作品の
分割20カ月にわたる大集成
初回 5000円, 以後毎月 2000円

○ゴルドン社版短期収集会

5カ月で各種の収集全部がそろふ。
初回 10,000円, 以後毎月 2000円

○夏 期 特 別 予 約

ヌートリクス社小冊子3冊1組の廉価集
(いずれもくわしくは返信料添付のう
えで本社あてお申し出てください)

泰西出版資料会社 横浜市中区北方町 1-67
Sitten-Bild-Verlag KG. TEL (2) 9313

ニューフォトのセクシードレス

お待ちかねの新製品発表!

ビキニパンティと対のブラジャー4種, バタフライ
アミタイツ, コルセット, 花ガーター等

(サービスとして1,000円以上お買上げの方に幸運のマスコットハンカチーフ進呈)

(例一) 左写真

No. 4 マンハント型

和服とチャイナ服との良さを
取り入れたデザイン。
ウエストまである裾割れから
パンティがのぞく。
生地…サテン花模様

ナイロンパンティ付

¥ 2,300 円 100

(例二) 右写真

ビキニ A

グットくるデザイン。前面三
角形にカットされたレース付
パンティと対のブラジャー。
生地…サテン赤水玉模様

¥ 1,000 円 60



(30円切手同封, 雑誌名記入, 申込みあれば直ちに各種ドレス, 下着類のカラー写真入りカタログ送呈します)

東京都杉並区大宮前 6-412 ニューフォト社洋品部